取扱説明書

マイクロコンポーネントMDシステム

型 名 UX-A10DVD

デモ表示について

本機にはデモ表示機能が用意されています。
電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に働きます。
解除するときは、COLOR/DEMO ボタンを押します。
詳しくは、「デモ表示機能について」(➡ 20 ページ) をご覧ください。

お買いあげいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 4 ～ 7 ページの「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

省エネ設計

省エネ回路により本体部は、
電源 待機(表示窓「消灯」)時 消費電力1W

目　次

はじめに　ページ

準備　ページ

ラジオを聞く　ページ

ディスクの再生　ページ

MDを聞く　ページ

テープを聞く　ページ

他の機器の音声を聞く　ページ

録音する　ページ

MDを編集する　ページ

オートパワーオフを使う　ページ

タイマーを使う　ページ

知っておいてほしいこと　ページ

安全上のご注意　ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠ 注意

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

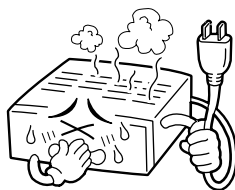
行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠ 警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

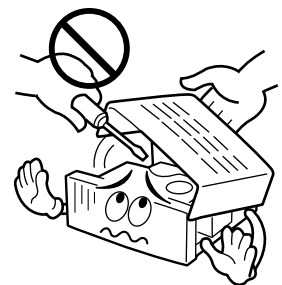
- 煙が出ていたり、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

すぐに電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

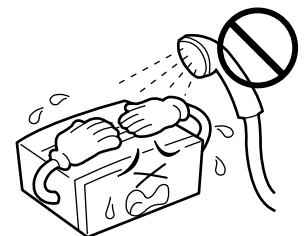
異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠ 警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。

特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは、根元まで確実に差し込む。

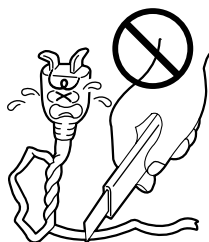
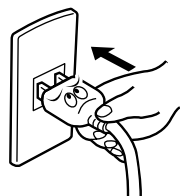
差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。

また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

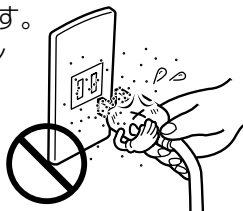
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水の入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用する。

火災の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

濡れ手禁止

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

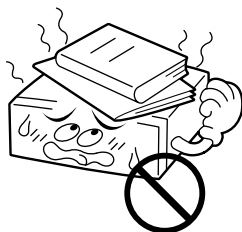
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10 cm以上離す

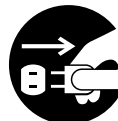
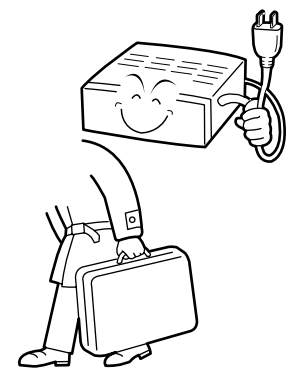
置き場所に注意する。

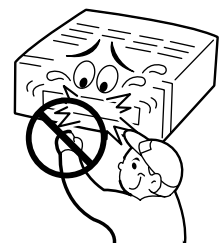
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

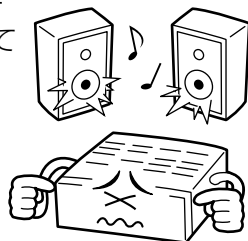
移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

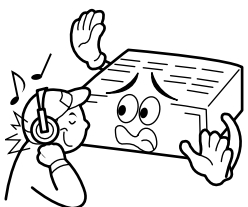
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない。

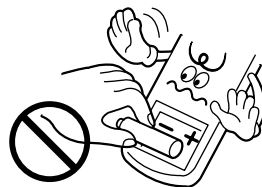
けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

手を挟まれないよう注意

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

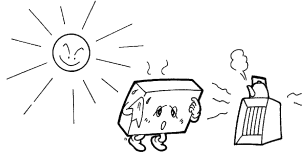
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖を間違えない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

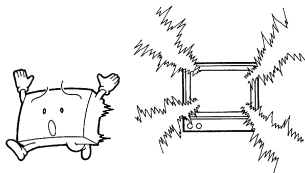
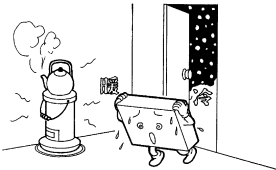
使用上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

本機やディスク、MD、テープの置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

本機の使用環境温度は、3 ～ 35°C です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所
- 風通しの悪い狭い場所

- 直射日光の当たる所
- 熱器具の近く

- 極端に寒い所

- テレビや他のアンプ、チューナーなどのすぐそば
- バランスの悪い不安定な所

- 寒い所から急に暖かい部屋へ移動した後しばらくの間

- 磁気を発生する所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 振動の激しい所

商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
  非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ社。不許複製。
- 本機はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。
  dts 、DTSおよびDTS Digital Surroundは、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
  著作権1996年デジタルシアターシステムズ社。不許複製。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVDビデオのロゴは商標です。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

露がついたら

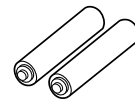
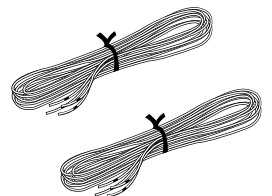
次のようなとき、本機のレンズに露（水滴）が付いて正しく演奏できない場合があります。

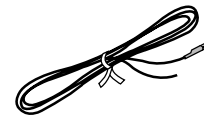
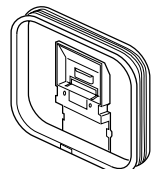
- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

付属品の確認

お使いになる前に、付属品をお確かめください。
不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコン
RM-SUXA10DVD-S
（1個）

リモコン用
単3形乾電池
（動作確認用、2 本）

スピーカーコード
（2本）

ビデオコード
（1本）

FM簡易型アンテナ
（1本）

AMループアンテナ
（1個）

● この製品には付属品の他に、取扱説明書(本書)や保証書が添付されています。

ディスクの予備知識

再生できるディスク

再生できるディスク	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ DVD VIDEO	音声＋映像	12センチ
		8センチ
ビデオCD Video CD COMPACT disc DIGITAL VIDEO	音声＋映像	12センチ
		8センチ
オーディオCD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12センチ
		8センチ

- DVDビデオ、およびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

● 次のディスクは音声のみ再生できます。

・MIX-MODE CD　・CD-G
・CD-EXTRA　・CD TEXT

● 次のディスクも再生できます。

ただし、記録状態やディスクの特性により再生できない場合や読み取りに時間がかかることがあります。

- 音楽用CDフォーマットで記録され、ファイナライズ処理されている**CD-R/RWディスク**
- ビデオCDフォーマットで記録され、ファイナライズ処理されている**CD-R/RWディスク**
- MP3フォーマットで記録され、ファイナライズ処理されている**CD-R/RWディスク**

お知らせ

- DVDビデオの2層ディスクの場合、1層目から2層目に切り換えるとき、映像や音声が乱れることがありますが、これは故障ではありません。
- 本機は、マクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、このようなディスクをVTRで録画しても正常に再生できません。

はじめに

再生できないディスク

次のディスクは再生できません。
誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。

・DVD-ROM　・DVD-RAM　・DVD-R
・DVD-RW　・DVD オーディオ　・CD-ROM
・フォトCD　・SACD

ご注意

- いずれのディスクでも、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク(シェイプCDなど)は再生できません。

リージョン番号(ローカル番号)について

本機のリージョン番号は「2」です。DVDビデオのディスク上に「ALL」または「2」のリージョン番号が表示されているディスクに限り再生することができます。

- 本機で再生できるDVDビデオの表示例

リージョン番号とは…

DVDビデオにはリージョン番号と呼ばれる、国や地域ごとに割り当てられている番号がついています。この番号がDVDビデオプレーヤーのリージョン番号と合致しないと再生できません。

テレビ方式について

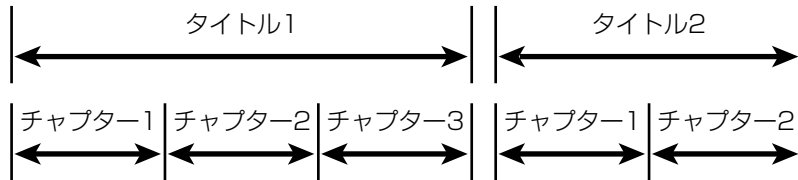
本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。NTSC以外のTV方式(PAL(パル)等)用のビデオCDは、NTSC方式に変換して再生します。

ディスクについて

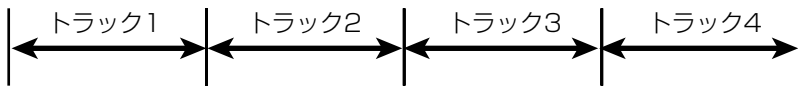
ディスクの構成

DVDビデオ

一般的にＤＶＤビデオは、タイトルと呼ばれる大きな単位で構成されています。それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付いていて、希望のタイトルが選べるようになっています。またタイトルはさらにチャプター（章）という小さな単位で構成されています。それぞれのチャプターには番号（チャプター番号）が付いていて、希望のチャプターが選べるようになっています。ただし、ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。

• DVDビデオの構成の例

オーディオCD／ビデオCD

一般的にオーディオＣＤやビデオＣＤは、トラックという呼び名で１曲ごとに区切られ、番号（トラック番号）が付けられています。たとえば2曲目を指す場合には、「トラック２」となります。ビデオＣＤのカラオケなども同様です。ただし、ディスクによってはトラックに分割されていないものもあります。

• オーディオCDの例

ビデオCDのプレイバックコントロール（PBC）機能

ビデオCDのプレイバックコントロール機能（以下PBC）には、「**高精細静止画機能**」と「**メニュー再生機能**」があります。

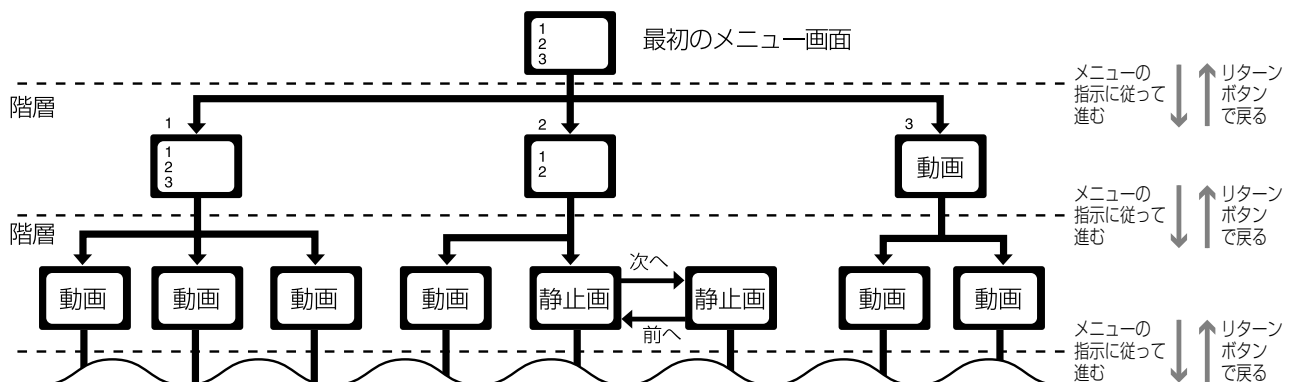
高精細静止画機能

ディスクの中に高精細な静止画が収録されている場合、動画の4倍以上の解像度で静止画像を再生します。

メニュー再生機能

ディスクの内容をいくつかの階層に分けて収録し、画面の指示にしたがって階層を進みながら再生していきます。PBC対応のディスクを再生すると、通常の場合は最初にメニュー画面を表示します。画面に表示された項目や番号を選んで次の画面に進んでいきます。
PBC対応のディスクでも、PBCを機能させずに収録されているトラックを連続して再生することもできます。

メニュー再生機能の基本的な操作の流れを下図に示します。

リモコンの準備

音声記録方式

本機で再生できるディスクに記録されているデジタル音声には、次の3種類があります。

リニアPCM
アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全く行いません。

ドルビーデジタル
サラウンド方式の一つで、音質を損なうことなく音声データを圧縮し、最大フロント3 ch、リア2 chおよびサブウーハー0.1ch の5.1chまで対応しています。
ただし、全てのドルビーデジタルディスクが6(5.1)chで収録されているとは限りません。

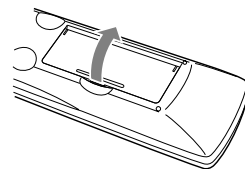
DTS (Digital Theater System)
サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じく最大で5.1chです。音声データの圧縮率を低くしフォーマットのため、音に厚みのある再生が可能です。
ただし、全てのDTS対応のディスクが6(5.1)chで収録されているとは限りません。

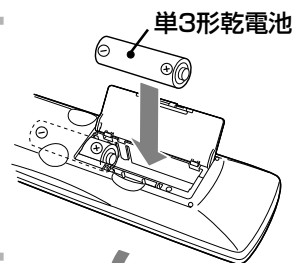
お知らせ

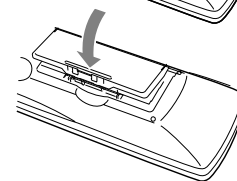
- **本機でDTSの音声は再生できません。**
  DTSの音声を再生するときは、本機背面のDVDデジタル出力端子を使ってDTSデコーダーまたはDTSデコーダー機能内蔵のAVアンプに接続してください。

乾電池を入れる

単３形の乾電池２本をリモコンに入れます。

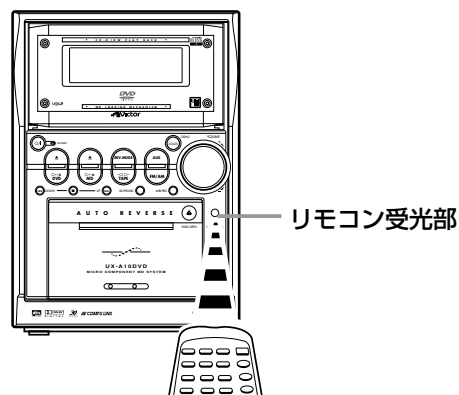
1 裏ぶたをあける

2 乾電池（単３形）２本を入れる

リモコン内部の表示に極性を合わせ、⊕/⊖を正しく入れてください。

3 裏ぶたをしめる

「カチッ」と音がしてしまります。

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 一度使用した電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池と混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れなどの原因となります。

リモコンの操作

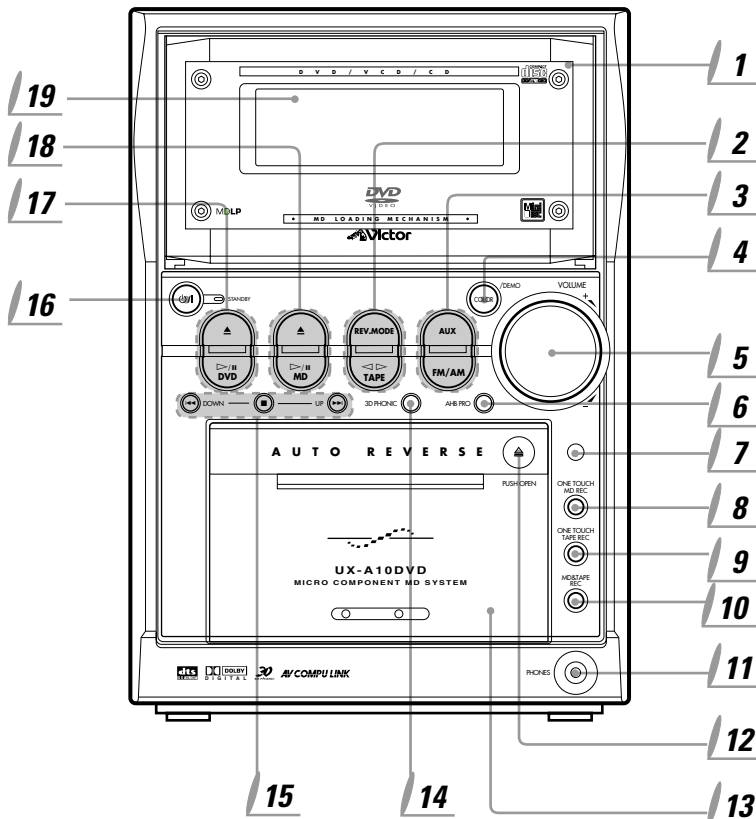
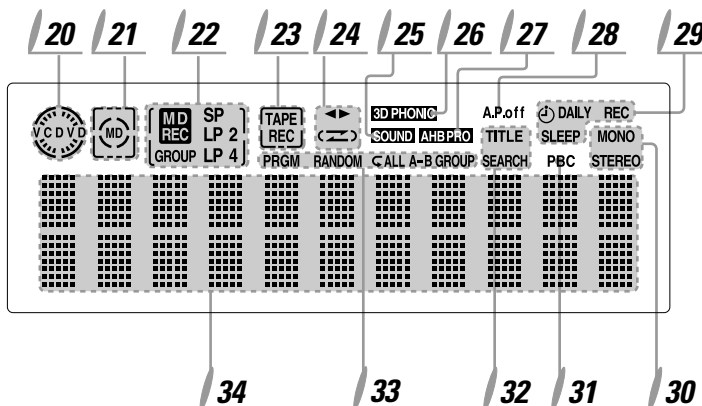
リモコンを使うときは、本体正面に向けて正しく操作してください。極端に斜めの方向から操作したり手前に障害物があると、信号が届かなくなります。

- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
  交換するときは、2本とも同じ種類の新しい単3形乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

はじめに

各部の名前と働き　ー□内の数字のページに説明がありますー

本体と表示窓

本　体

＊印のボタンを押すと電源も｢入｣になります(➡ [22]ページ参照)。

表示窓

本　体

1　電動パネル

ディスクやMDを出し入れするときに電動で回転します。
MDを入れると、自動的に閉まります。

2　REV.MODE（リバースモード） [56] [62]

テープのリバースモードを変えるとき使います。

TAPE（テープ） ◁ ▷ ＊ [22] [56] [62]

ソース(音源)をTAPEにするとき使います。
テープ再生中に押すと、テープの走行方向(順方向/逆方向)を変えることができます。

3　AUX＊ [22] [57] [62] [63]

ソース(音源)をAUXまたはAUX-DIGITALにするとき使います。
押すごとに｢AUX｣⟷｢AUX-DIGITAL｣に切り換わります。

FM/AM＊ [22] [26] [62] [63]

ソース(音源)をラジオ放送にするとき使います。
放送を受信中に押すと、受信バンド(FMまたはAM)が切り換わります。

4　COLOR（カラー）/DEMO（デモ） [20] [22] [24]

電動パネルの照明を切り換えるとき、デモ表示のオン／オフをするときに使います。

5　VOLUME（ボリューム） (音量調節) [25]

0(最小)〜40(最大)までの41段階に音量が調節できます。

6　AHB PRO [25]

重低音を強調するとき使います。

7　リモコン受光部

8　ONE（ワン） TOUCH（タッチ） MD REC（レック） [61] [62]

MD に録音するとき使います。

9　ONE（ワン） TOUCH（タッチ） TAPE（テープ） REC（レック） [63]

テープ に録音するとき使います。

10　MD&TAPE（テープ） REC（レック） [64]

MDとテープに同時録音するとき使います。

11　PHONES（ホーンズ） (ヘッドホン) 端子

ヘッドホン(別売り)をつなぎます。プラグを接続するとスピーカーから音は出なくなります。

表示窓

12 ≜(テープ取出し) 56

13 カセットホルダー 56

14 3D PHONIC(フォニック) 31

3Dフォニックのモードを選ぶとき使います。

15 ⏮ UP(アップ)、■、⏭ DOWN(ダウン)

ディスク、MD、テープの早送り、早戻し(巻戻し)、頭出し、停止、時刻やタイマーの設定、MDの編集などに使います。

16 ⏻/I (電源) 22

電源を「入/切」するとき使います。「切」のときSTANDBYランプが点灯します。

17 DVD≜ (ディスク取出し)* 28

ディスクを出し入れするとき使います。
電動パネルが下がりディスクトレイが出てきます。

DVD ▷/II* 22 28 32 47 61 64

ソース(音源)をDVDにするとき使います。ディスク再生中に押すと、一時停止になります。

18 MD≜ (MD取出し)* 50

MDを出し入れするとき使います。
電動パネルが上がりMD挿入口が現れます。
MDが入っているときは、MDが取り出せます。

MD ▷/II* 22 50 63 39

ソース(音源)をMDにするとき使います。MD演奏中に押すと、一時停止になります。

19 表示窓

再生中や録音中、操作中にさまざまな情報を表示します。

20 ディスク表示 29

ディスクを入れるとディスクの種類が表示され、再生中は、ディスクが回転しているイメージの点滅に変わります。

ディスクの種類

DVD :DVDビデオ

VCD :ビデオCD

CD :オーディオCD、CD-R/RW

21 MD表示 50

MDを入れると「MD」が表示されます。演奏中は、ディスクが回転しているイメージの点滅に変わります。

22 MD状態表示 60

MDの録音モード、編集モードが表示されます。
MDが録音状態のときは、
「MD REC」が点滅します。

23 TAPE(テープ) REC(レック)表示 63

テープを入れると「TAPE」が点灯します。56
テープが録音状態のときは、
「TAPE REC」が点滅します。

24 テープ表示 56

◀ ▶ :テープの走行方向を表示します。▶が順方向、◀が逆方向を表します。

(⇄) :リバースモードの設定を表示します。

(⇄ :片道の録音・再生
⇄) :往復の録音・再生
(⇄) :連続再生)

25 SOUND(サウンド)表示 25

サウンドモードがオンのとき点灯します。

26 3D PHONIC(フォニック)表示 31

3Dフォニックがオンのとき点灯します。

27 AHB PRO表示 25

重低音を強調するAHB PROがオンのとき点灯します。

28 A. P. off(オートパワーオフ)表示 77

オートパワーオフ機能がオンのとき点灯します。

29 タイマー表示 79 81

⏲ REC(レック) :録音タイマー表示
⏲ DAILY(デイリー) :目覚ましタイマー表示
⏲ SLEEP(スリープ) :スリープタイマー表示

30 FM放送受信モード表示 26

STEREO(ステレオ) :FMステレオ放送を受信すると、自動的に表示されます。
MONO(モノ) :モノラル受信を選んだとき表示されます。

31 PBC表示 36

ビデオCDをPBC(プレイバックコントロール)機能で再生しているとき点灯します。

32 TITLE(タイトル) SEARCH(サーチ)表示 55

MDのタイトルサーチをしているとき点灯します。

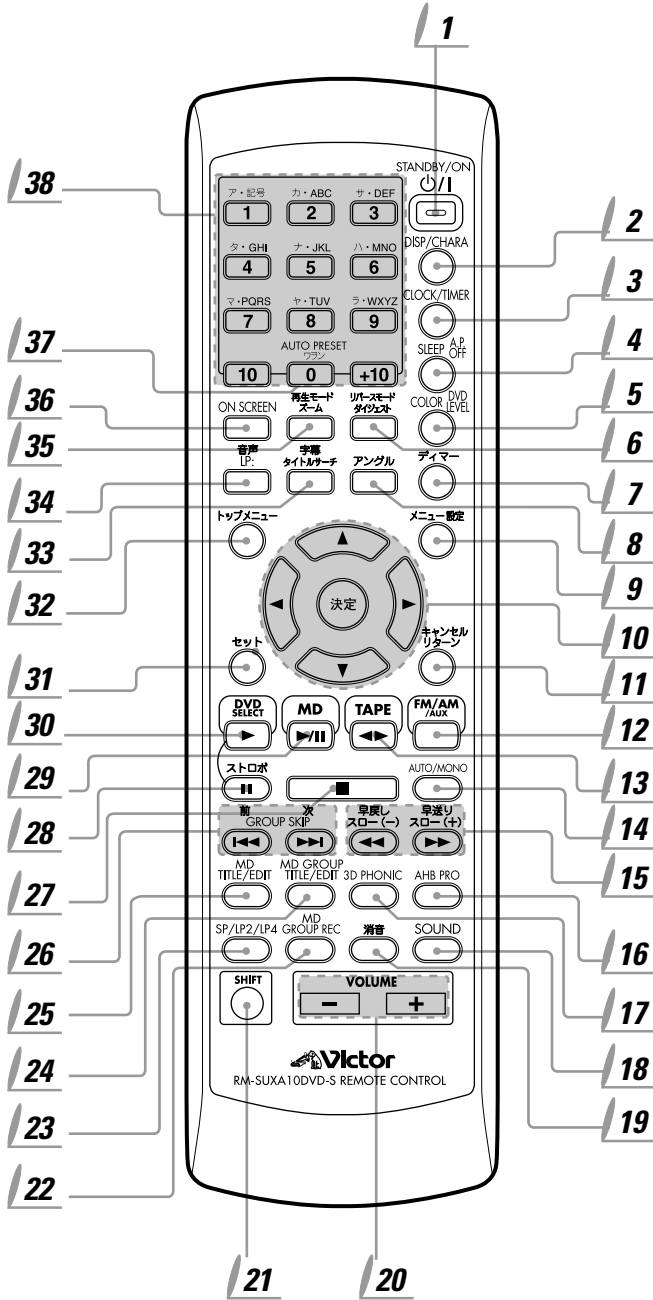
33 プレイモード表示 42 49 52

PRGM(プログラム) :ディスクまたはMDでプログラム再生するとき点灯します。
RANDOM(ランダム):ディスクまたはMDでランダム再生するとき点灯します。
↻ALL A-B :ディスクまたはMDのリピート再生のモードを表示します。
GROUP(グループ) :MDでグループ再生するとき点灯します。

34 情報表示部

タイトル名、グループ、曲(トラック)番号、録音・再生経過時間など、さまざまな情報を表示します。

リモコン (RM-SUXA10DVD-S)

＊印のボタンを押すと電源も「入」になります(➡ 22 ページ参照)。

• 本体と同じ名前(記号)のボタンは、本体と同じ働きをします。

1 ⏻/I (電源) 22

2 DISP/CHARA 22 26 30 48 49 55 61 62 64 66

表示窓の表示を切り換えたり、文字を入力するとき使います。MDが入っていると、録音残量の確認ができます。省エネモード(表示窓「消灯」)にすることもできます。

3 CLOCK/TIMER 23 78 80

時計、DAILYタイマー、RECタイマーを設定するとき使います。

4 SLEEP/A.P. OFF 77 81

おやすみタイマーを設定するとき使います。

SHIFTを押しながら操作して
オートパワーオフ機能を設定するとき使います。

5 COLOR/DVD LEVEL 20 22 24 31

電動パネルの照明を切り換えるとき使います。

SHIFTを押しながら操作して
DVDレベルのモードを設定するとき使います。

6 リバースモード/ダイジェスト 39 56

テープのリバースモードを変えるとき使います。

SHIFTを押しながら操作して
DVDビデオまたはビデオCDのダイジェスト画面を表示させるとき使います。

7 ディマー 24

電動パネルの照明と表示窓を暗くするとき使います。

8 アングル 41

マルチアングルで収録されているDVDビデオのアングルを切り換えるとき使います。

9 メニュー/設定 21 32 35 82

DVDビデオまたはビデオCDのメニュー画面を表示させるとき使います。

SHIFTを押しながら操作して
初期設定画面を表示させるとき使います。

10 カーソル(▲/▼/◀/▶)と決定

11 キャンセル/リターン 23 36 67 69～72 74～76 78

SHIFTを押しながら操作して
ビデオCDをPBC(プレイバックコントロール)機能で再生しているとき、リターンボタンとして働きます。

12 FM/AM/AUX* 22 26 27 57 62 63

ラジオ放送またはAUXを選択するとき使います。押すごとに、「FM」➡「AM」➡「AUX」➡「AUX-DIGITAL」➡「FM」…の順に切り換わります。

13 TAPE ◀ ▶ * 22 56 62

14 AUTO/MONO 26

FMステレオ放送をモノラル受信に切り換えるとき使います。

15 ◀◀、▶▶ [33] [51] [56]

ディスク、MD、テープの早送り、早戻しをするとき使います。
DVDビデオまたはビデオCDのときに、スロー再生することもできます。

16 AHB PRO [25]

17 3D PHONIC [31]

18 SOUND [25]

サウンドモードを設定するとき使います。

19 消音 [25]

すぐに音を消したいときに使います。

20 VOLUME (音量調節) ＋、－ [25]

21 SHIFT

22 MD GROUP REC [60]

MDのグループ録音をするとき使います。

23 SP/LP2/LP4 [60]

MDの録音モードを設定するとき使います。
ソース（音源）ごとに設定できます。

24 MD GROUP TITLE/EDIT [65] [69]～[72]

MDのグループを編集するとき使います。

25 MD TITLE/EDIT [65] [74]～[77]

MDを編集するとき使います。

26 I◀◀、▶▶I [33] [51] [56]

ディスク、MD、テープの頭出しをするとき使います。

SHIFTを押しながら操作して
MDまたはMP3ディスクのグループの最初の曲の頭出しをするとき、使います。

27 ■ [30] [50] [56] [61]

ディスク、MD、テープの再生または録音を停止するとき使います。

28 II/ストロボ [30] [33] [46]

ディスクを一時停止するとき使います。
スロー再生やストロボ再生するときも使います。

29 MD ▶/II* [22] [50]～[55] [63]

30 DVD SELECT ▶* [21] [22] [30]

ディスクを再生するとき使います。

31 セット [23] [27] [66] [69]～[72] [74]～[76] [78]～[81]

32 トップメニュー [35]

DVDビデオのメニュー画面を表示させるとき使います。

33 字幕/タイトルサーチ [40] [55]

字幕が収録されているDVDビデオの字幕を切り換えるとき使います。

SHIFTを押しながら操作して
MDのタイトルを検索するとき使います。

34 音声/LP: [40] [60]

複数の音声が収録されているDVDビデオまたはビデオCDの音声を切り換えるとき使います。

SHIFTを押しながら操作して
MDに録音するとき、曲タイトルの頭にLP: を「つける／つけない」の設定をすることができます。

35 再生モード/ズーム [37] [38] [42]～[45] [52]～[54]

ディスクやMDのプログラム再生、ランダム再生、グループ再生、リピート再生をするとき使います。

SHIFTを押しながら操作して
DVDビデオまたはビデオCDの画面を拡大/縮小（ズーム）するとき使います。

36 ON SCREEN [30]

DVDビデオまたはビデオCDのとき、オンスクリーン画面を表示させるとき使います。

37 AUTO PRESET [27]

ラジオの放送局を自動で記憶させるとき使います。

38 数字ボタン (0～10、＋10)

ディスクやMDのダイレクト選曲や、ラジオのプリセット選局、MDの編集などに使います。

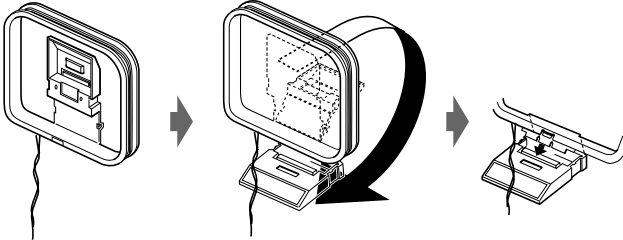
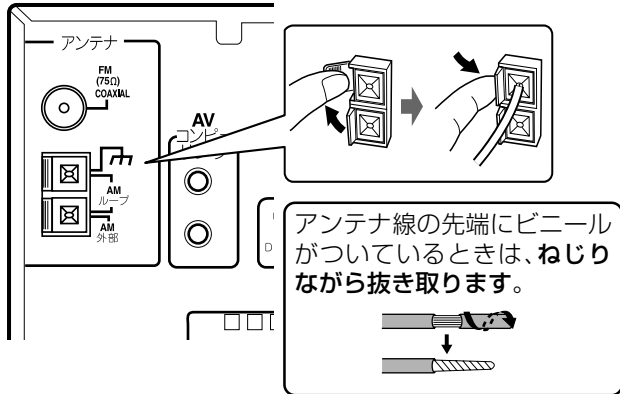
接　続　— 接続が終わるまで電源は入れないでください。—

アンテナの接続

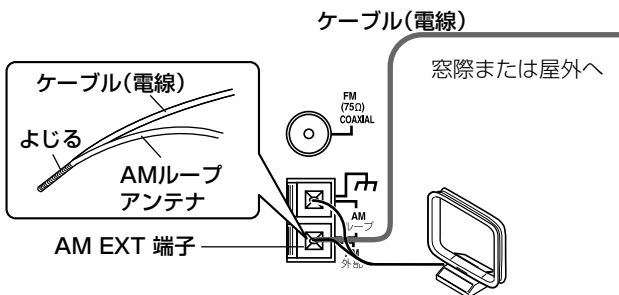
FM/AM放送を聞くために、アンテナを接続します。
アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行ってください。

AMアンテナを接続する

AMループアンテナ(付属品)を接続する

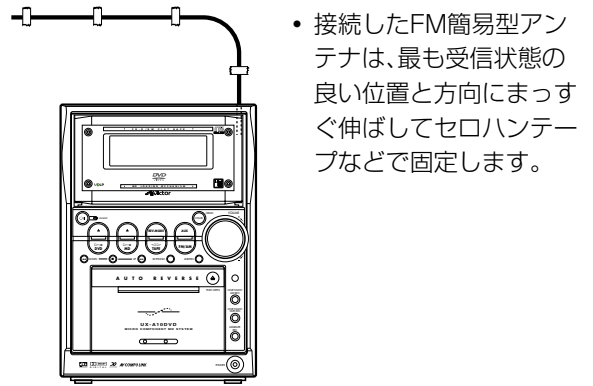
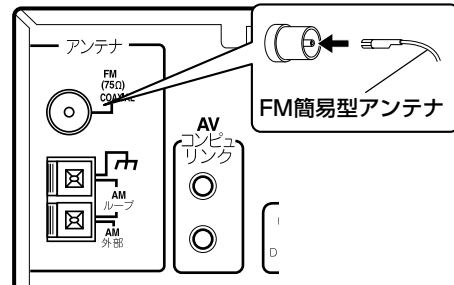
• まずAMループアンテナを組み立てます。
　台になる部分を回転させて差し込みます。

• 次に、組み立てたAMループアンテナを本体のAM LOOP端子に接続します。

• 接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。
　本体からできるだけ離して置いてください。
　- AMループアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

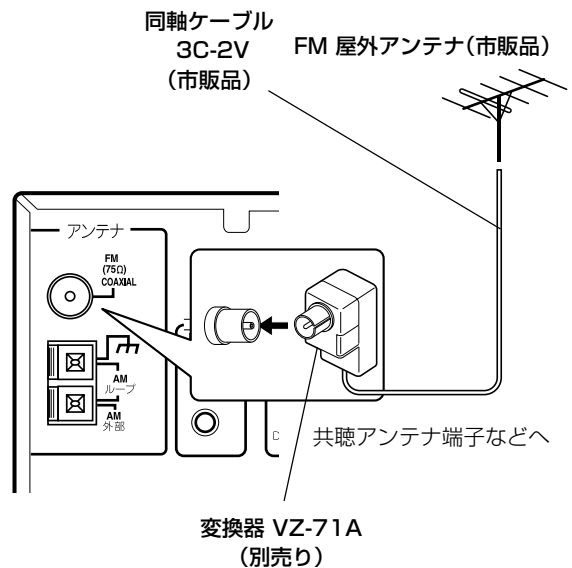
AMループアンテナではうまく受信できないとき

AM EXT端子に3〜5 mのケーブル(電線：市販品)を接続し、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。
このとき、AMループアンテナも一緒に接続しておいてください。

FMアンテナを接続する

FM簡易型アンテナ(付属品)を接続する

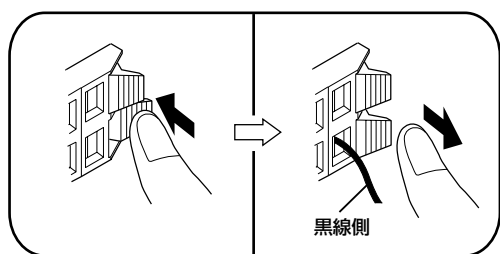
• FM簡易型アンテナを本体に接続します。

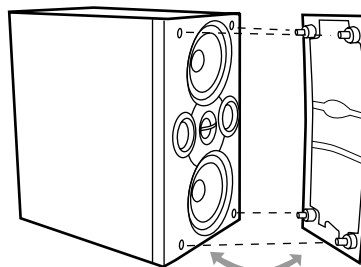
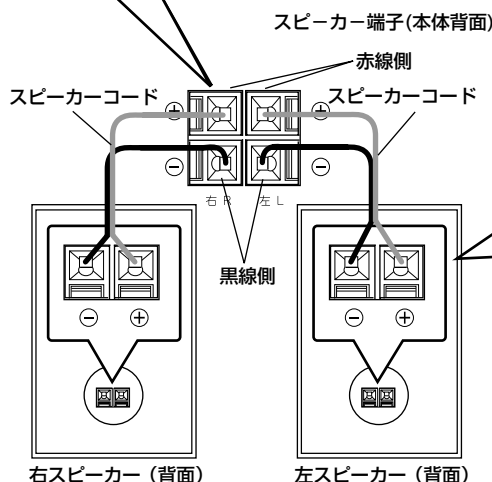
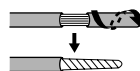
• 接続したFM簡易型アンテナは、最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

付属のアンテナでうまく受信できないときやマンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

市販の同軸ケーブルと変換器(別売り)を用意してください。

電波状態によっては、FMフィーダーアンテナ：CN-511A(別売り)がご利用になれます。

スピーカーの接続

付属のスピーカーコードを、本機とスピーカー本体のスピーカー端子に接続します。

- 正面向かって右スピーカーを右･R端子に接続します。
  正面向かって左スピーカーを左･L端子に接続します。
  スピーカーは、左右どちらでもお使いになれます（左右の区別はありません）。
- スピーカーコードの赤線側を⊕に、黒線側を⊖に接続します。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、6Ω～16Ωです。

サランネットの外しかた

お手入れのときなど、スピーカー保護用のサランネットを取り外すことができます。

- 左右上端を軽く押さえ、手前に引いて外してください。
  再び取り付けるときは、突起部を合わせて軽く押し込みます。

ご注意

- スピーカーコードの赤線と黒線を逆に接続すると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。
- スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。
- 他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。
  負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。
- 本機のスピーカーは、防磁設計(JEITA仕様)になっております。設置方法によっては、テレビに色ムラを生ずることがあります。次の点にご注意ください。
  1. **必ずテレビの主電源スイッチを｢切｣にしてから設置する。**
     また、テレビの主電源スイッチは、切ってから30分程度待って｢入｣にする。
  2. **テレビの種類によって万一、色ムラが生じたときはテレビとスピーカーを10 cm以上離す。**
  3. **防磁設計(JEITA仕様)になっていないスピーカーがテレビの近くにあると、色ムラを生じることがあります。**

設置上のご注意

本機は、省スペースでハイパワーを実現するため冷却用ファンが搭載されています。大音量動作や連続動作などで内部の温度が上がったときには、**冷却のため内部のファンが動作します。**

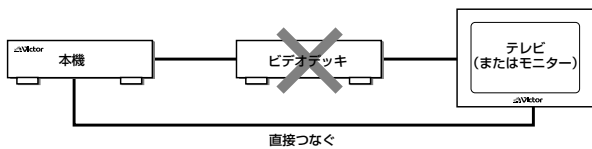
十分な冷却効果を得るために、本体両側にスピーカーを設置したり、物を置いたりするときは、**1cm以上間隔をあけてください。**

テレビの接続

本機とテレビは次の3つの接続のうち、いずれかの接続をします。

- **テレビの映像入力端子と接続する**
  付属のビデオコードを使います。
- **テレビのS映像入力端子と接続する**
  別売りのSビデオコード(VC-S100Eなど)を使います。
- **テレビのD端子と接続する**
  別売りのD端子用コンポーネントビデオコード(VX-DS110など)を使います。

ご注意

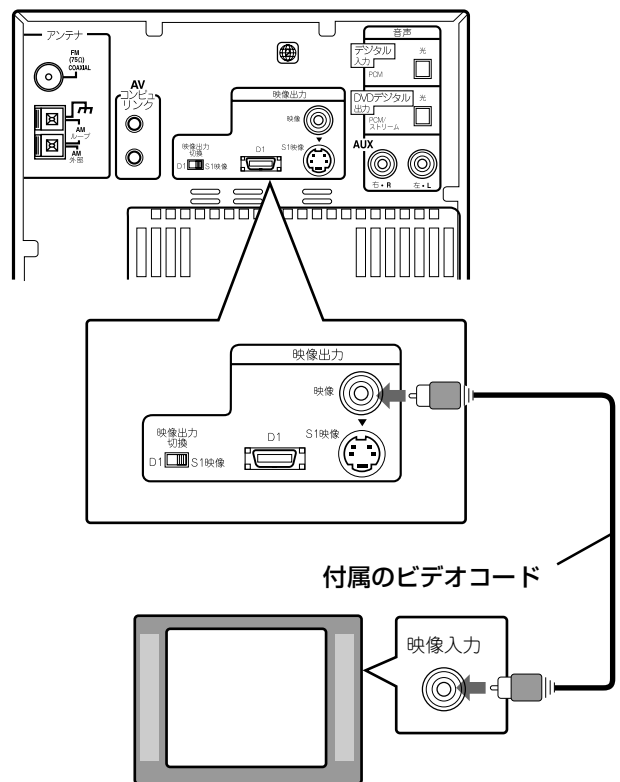
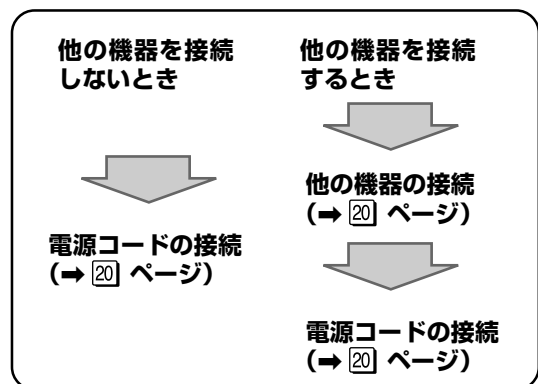
- **本機の映像出力は、テレビ(またはモニター)と直接つないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、本機のコピープロテクションシステムにより、再生中に画像が乱れることがあります。**

ビデオデッキ内蔵のテレビ(テレビデオ)につないだ場合も、再生中に画像が乱れる場合があります。

- **ワイドテレビに接続するときは、別売りのSビデオコードで接続してください。Sビデオコードで接続しないと、テレビの画面サイズの自動切換機能やテレビの2画面機能が正しく働かないことがあります。**

お知らせ

- 接続するテレビまたは機器がビクター製で、AVコンピュリンクIIまたはIII 端子があるときは、「AVコンピュリンクの活用」(➡ 89 ページ)をご覧ください。
- テレビやモニターの映像入力端子がBNCタイプのときは、別売りのアダプター:VZ-90を使用してください。

テレビの映像入力端子と接続する

付属のビデオコードを使います。

テレビのタイプを設定する
(➡ 21 ページ)

テレビのS映像入力端子と接続する

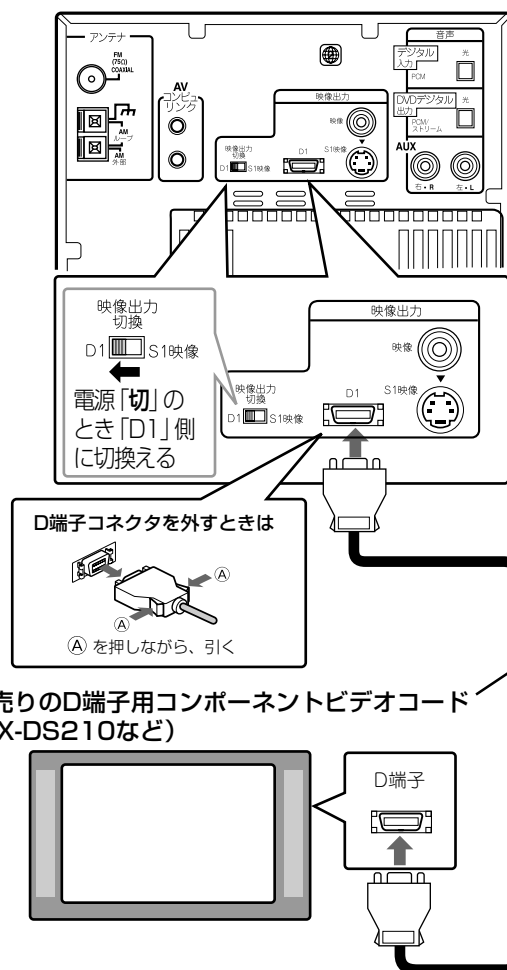
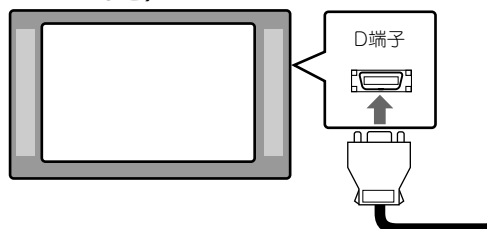
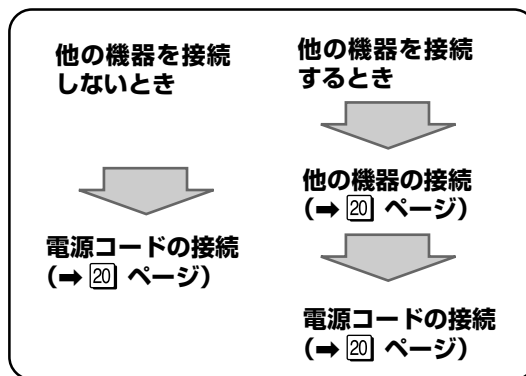
別売りのＳビデオコード（VC-S100E など）を使います。
より鮮明な映像がお楽しみいただけます。

お知らせ

- 映像出力を切換えた後は、いったんソース(音源)をDVDにして ■ を押します。「S1映像」側に切換えたときは、表示窓に「S-VIDEO」が表示されます。「D1」側に切換えたときは、表示窓に「COMPONENT」が表示されます。

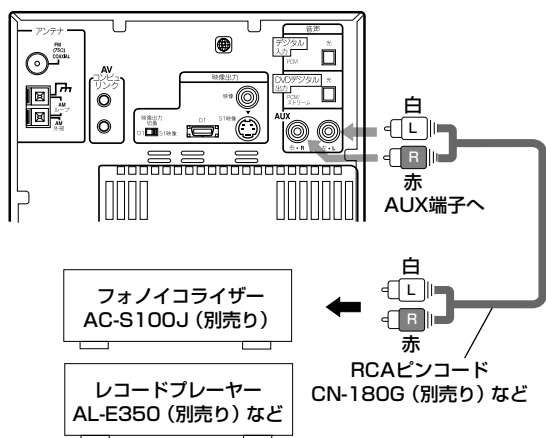
テレビのD端子と接続する

別売りのＤ端子用コンポーネントビデオコード（VX-DS110＊など）を使います。
より高画質な映像がお楽しみいただけます。

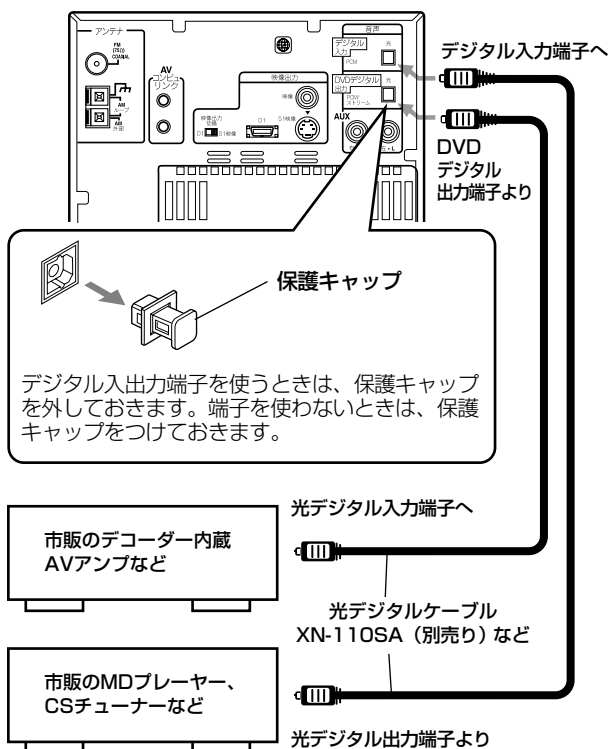
＊ テレビのコンポーネント映像入力端子（RCA ピン）と接続するときは、別売りコード：VX-DS210などをお使いください。

他の機器の接続

- ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

アナログ機器の接続

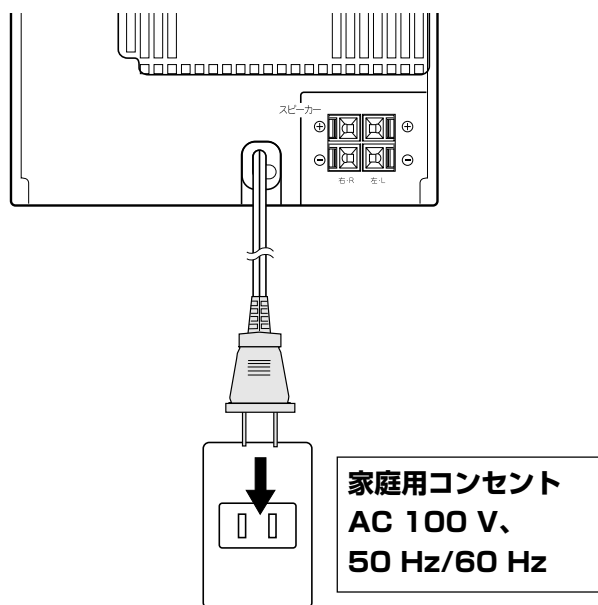
別売りのレコードプレーヤーなどのアナログ機器をAUX端子に接続します。

デジタル機器の接続

別売りのMDプレーヤーやCSチューナーなどのデジタル再生機器はデジタル入力端子に接続します。
別売りのデコーダー内蔵AVアンプなどは、DVDデジタル出力端子に接続します。ドルビーデジタルデコーダーまたはDTSデコーダー、デコーダー内蔵AVアンプと接続すると、高音質のサラウンド再生ができます。

- デジタル入力端子はPCM音声に対応しています。BSデジタル放送などのAAC音声には対応していません。
- DVDデジタル出力端子に接続した機器に応じて、出力するデジタル音声の種類を設定してください。（➡ 84 ページ参照）

電源コードの接続

すべての接続が終わったことを確認してから接続します。

1 電源プラグを家庭用コンセントへ接続する

STANDBYランプが点灯します。

デモ表示機能について

電源プラグを家庭用コンセントに接続すると、デモ表示が働き電動パネルの照明パターンの紹介が始まります。
電源を「入」にして操作を始めるとデモ表示は解除されます。電源「切」のときは本体のCOLOR/DEMOを押すと解除されます。

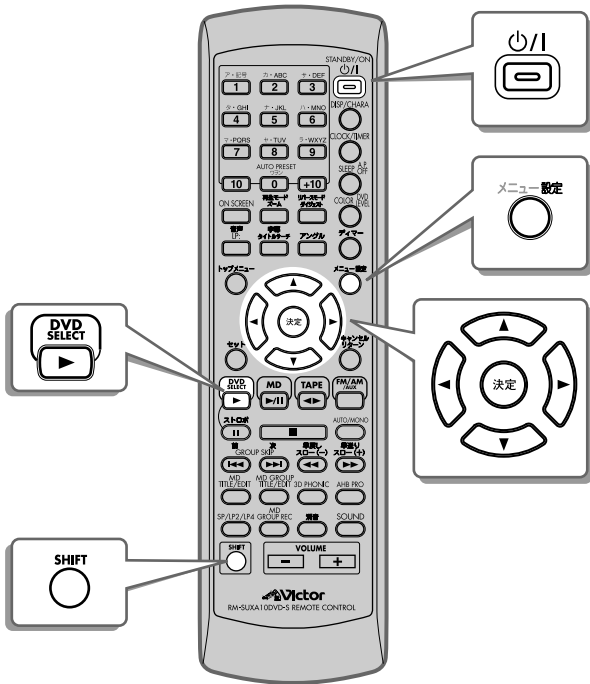
デモ表示を再開するには…
電源「切」のときに本体のCOLOR/DEMOを押します。

デモ表示を出なくするには…
本体のCOLOR/DEMOを「DEMO OFF」が表示されるまで押し続けます。電源プラグを抜き差ししても、デモ表示にはなりません。元に戻すときは、もう一度同じ操作をして「DEMO ON」を表示させます。

お知らせ

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。

テレビのタイプを設定する

ご使用になる前に、接続したテレビに応じてテレビのタイプを設定します。
• リモコンで操作します。

1 ⏻/I を押して電源を入れる

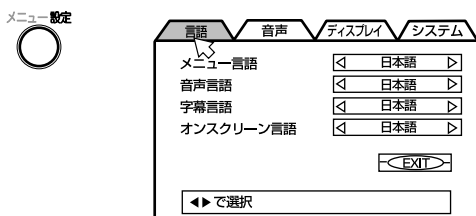
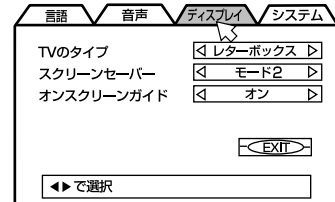
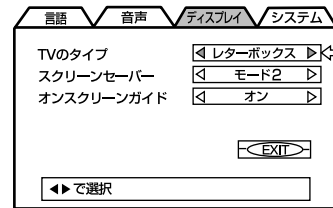
2 テレビの電源を入れ、本機からの映像が映るようにする

本機と接続したテレビの入力切換を、その端子名（ビクターのAVテレビの場合、通常は「ビデオ3」）に切換えます。

3 DVD SELECT ►を押す

ソース（音源）をDVDにします。
ディスクが入っていないときは、表示窓に「NO DISC」が表示されます。

4 SHIFTを押したまま メニュー/設定を押す

初期設定画面がテレビ画面に表示されます。

5 カーソル ►（または◄）を押して「ディスプレイ」を選ぶ

6 カーソル▼を押して「TVのタイプ」を選ぶ

7 カーソル ►（または◄）を押してテレビのタイプを選ぶ

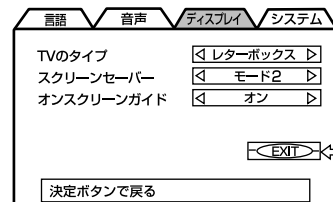
従来のテレビ（縦横比4:3）を接続しているとき：
通常は、「レターボックス」を選びます。
上下に黒い隙間がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。

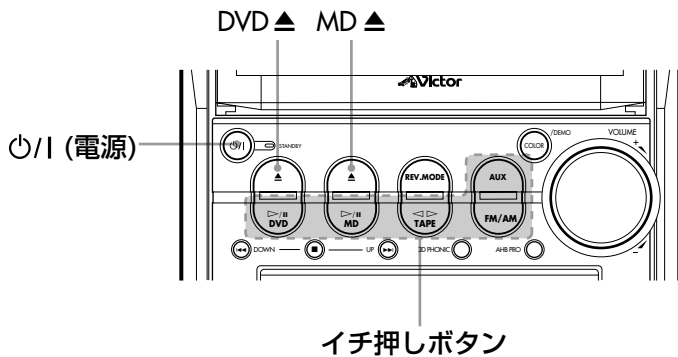
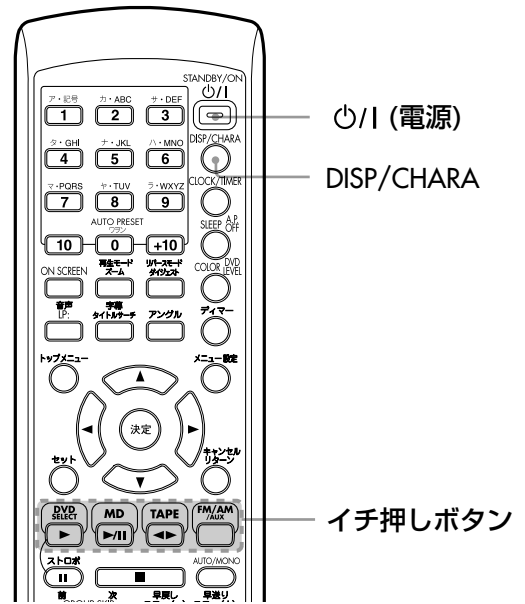
• 「パンスキャン」については、85 ページをご覧ください。

ワイドテレビ（縦横比16:9）を接続しているとき：
「ワイド（S1）」を選びます。

8 カーソル▼を押して「EXIT」を選び、決定を押す

オープニング画面に戻ります。

準備

電源の「入/切」について

本　体

リモコン

電源を「入」にするには

⏻/I (電源)を押します。
STANDBYランプが消灯します。

- 前回、電源を切ったときのソース(音源)で電源が「入」になります。
- イチ押しボタンを使うこともできます。

電源を「切」にするには

⏻/I (電源)を押します。
STANDBYランプが点灯します。
電動パネルと表示窓の照明も消え、現在時刻が表示されます。

- ディスクトレイまたはMD挿入口が見えているときは、トレイが中に入り電動パネルが自動的に閉まります。
- **省エネモード(表示窓「消灯」)にするには**
  電源「切」のときの時刻表示を消したいときは、電源「切」のままでリモコンのDISP/CHARAを押します。
  「DISPLAY OFF」が表示され、時刻が表示されなくなります。
  省エネモードを解除(表示窓「点灯」)するには
  電源「切」のままでリモコンのDISP/CHARAを押します。「DISPLAY ON」が表示されたあと、時刻が表示されます。

※ 以後、本書では主にリモコンを使った操作を説明します。
本体のボタンで、リモコンのボタンと同じ名前や似た記号のボタンは、同じ働きをします。
また、本体だけのボタンで操作するときは、本体で説明します。

お知らせ

- 電源が「切」のときに本体のCOLOR/DEMOを押すと、デモ表示機能が働きます。

イチ押しボタンを使う

電源が「切」のとき、下表のボタンを押すと電源が「入」になり、ソース(音源)も切り換わります。

本　体	リモコン	ソース(音源)	動　　作
▷/II DVD	DVD SELECT ▶	**DVD*** または **CD (VCD)**	ディスクが入っていると、再生が始まります。
▷/II MD	MD ▶/II	**MD***	MDが入っていると、再生が始まります。
◁ ▷ TAPE	TAPE ◀▶	**テープ*** **(TAPE)**	テープが入っていると、再生が始まります。
FM/AM	FM/AM /AUX	**ラジオ放送** **(FM/AM)**	電源を切る前の放送局を聞くことができます。
AUX		**AUX** **AUX-DIGITAL**	AUX端子やデジタル入力端子に接続した機器の音声を聞くことができます。

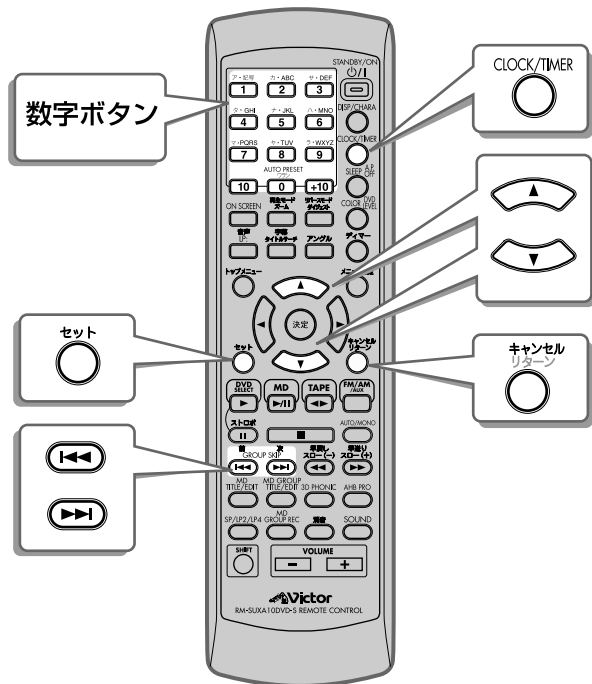
＊ ディスクが入っていないと「NO DISC」、テープが入っていないと「NO TAPE」が表示されます。

お知らせ

次の2つのボタンは本体のみで操作できます。ただし、ソース(音源)は切り換わりません。

- DVD ▲を押すと電源が入り、ディスクトレイが出てきます。
- MD ▲を押すと電源が入り、MD挿入口が現れます。

時計を合わせる

時計を現在時刻に合わせておきます(24時間表示方式)。正しく設定しないとタイマー機能を使うことができません。
• 電源が「入/切」どちらの状態でも設定できます。

ご注意

- この時計は、月に1分程度のズレを生じます。タイマー操作をするときは、事前に時刻を設定し直してください。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「0:00」表示に戻ります。もう一度正しい時刻に合わせ直してください。

例:午前10時10分に合わせるとき

1 CLOCK/TIMER

CLOCK/TIMERを押す

0:00

「時」表示が点滅します。

- 時計が設定されていないときは、「0:00」と表示され、「0」が点滅します。

2 ▶▶| または |◀◀

▶▶|(または |◀◀) をくり返し押して「時」を10に合わせる

- ▶▶| (または|◀◀)を押し続けると、連続して変わります。
- カーソル▲(または▼)を押しても同様の操作ができます。

3 セット

セットを押す

10:00

「時」が設定され、「分」表示の点滅に変わります。

- 「時」を修正するときは、**キャンセル**/リターンを押します。「時」の点滅表示に戻ります。

4 ▶▶| または |◀◀

▶▶|(または |◀◀) をくり返し押して「分」を10に合わせる

- カーソル▲(または▼)を押しても同様の操作ができます。

5 セット

セットを押す

10:10

「時刻」が設定されます。電源「入」で設定したときは、約2秒でソース(音源)の表示に戻ります。

- 設定した時刻を修正するときは、CLOCK/TIMERを3回押して、時計を表示させてから修正してください。

時刻を数字ボタンで合わせる

手順**2**と**4**のとき数字ボタンを使って「時」と「分」を合わせます。

午前12時にする　: +10 ➡ 2 (カ・ABC)

午後8時にする　: +10 ➡ 10

(または +10 を2回押したあと 0 (ワラン) を押す)

セットを押したあと

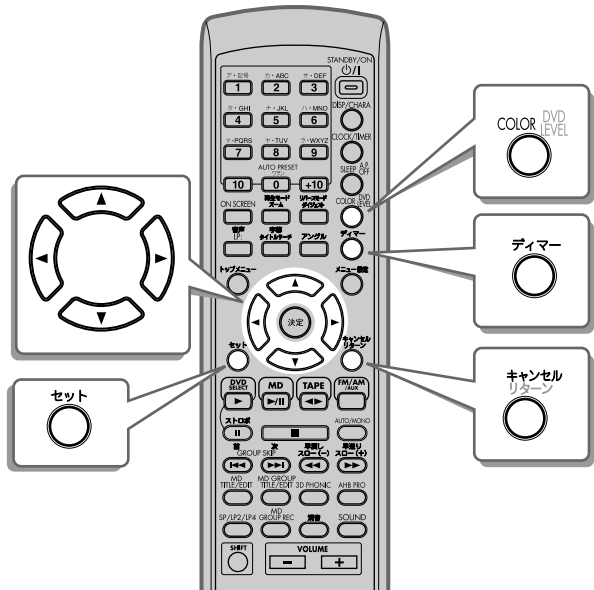
25分にする　: +10 ➡ +10 ➡ 5 (ナ・JKL)

30分にする　: +10 ➡ +10 ➡ 10

時刻を正確に合わせるには

テレビ放送の時刻表示や電話の時報案内などを利用してください。時報などに合わせて、手順**5**で**セット**を押すと、正確に合わせることができます。

照明を調節する

本機は、電動パネルの照明を調節することができます。また、お好みに合わせて色を調節することもできます。
・電源が「入」の状態で操作します。

ご注意

- 設定した照明の色は、いつも正確に同じ色になるとは限りません。本機の使用環境（室内温度など）や長期間の使用による変化などのため、色合いが異なって見えることがあります。
- ディマー機能と合わせて使う場合、同じ設定でも多少異なった色合いに見えることがあります。また使用中、電動パネルが暖かくなりますが、これは故障ではありません。

照明のパターンまたは色を選ぶ

1 COLOR/DVD LEVELを押す

現在設定している色のパターン名が表示されます。

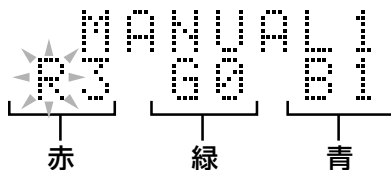
- ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
  パターン名を選ぶと、約4秒でもとのソース（音源）の表示に戻ります。

RAINBOW（レインボー）：虹の七色をイメージしたパターン
↓
GRADATION（グラデーション）：約10秒ごとに徐々に色が切り換わる
↓
WATER（ウォーター）：水面をイメージしたパターン
↓
FANTASY（ファンタジー）：幻想的なイメージのパターン
↓
CANDLE（キャンドル）：ろうそくの炎をイメージしたパターン
↓
FOREST（フォレスト）：森をイメージしたパターン
↓
SNOW（スノー）：雪をイメージしたパターン
↓
SKY（スカイ）：1日の時間経過に合わせて変化するパターン（時計を合わせていないときは「ADJUST CLOCK!」も点滅表示されます）
↓
MANUAL1（マニュアル）：あなたが登録した色
↓
MANUAL2（マニュアル）：あなたが登録した色

お好みの色を作る

光の三原色の赤（R：red）、緑（G：green）、青（B：blue）を組み合わせてお好みの色を作ります。

1 COLOR/DVD LEVELをくり返し押して「MANUAL1」または「MANUAL2」を選ぶ

例：MANUAL1のとき

2 カーソル ►(または◄)を押して調節する色を選ぶ

- 約8秒間ボタンを押さないでいると、もとのソース（音源）の表示に戻ります。

3 カーソル ▲(または▼)をくり返し押して選んだ色を調節する

↓ セット

- 各色は0～3の範囲で調節できます。
  調節をしたあとは、**セット**を押して確定します。もとのソース（音源）の表示に戻ります。
  セットを押さずに**キャンセル/リターン**を押すと、調節する前の色に戻ります。

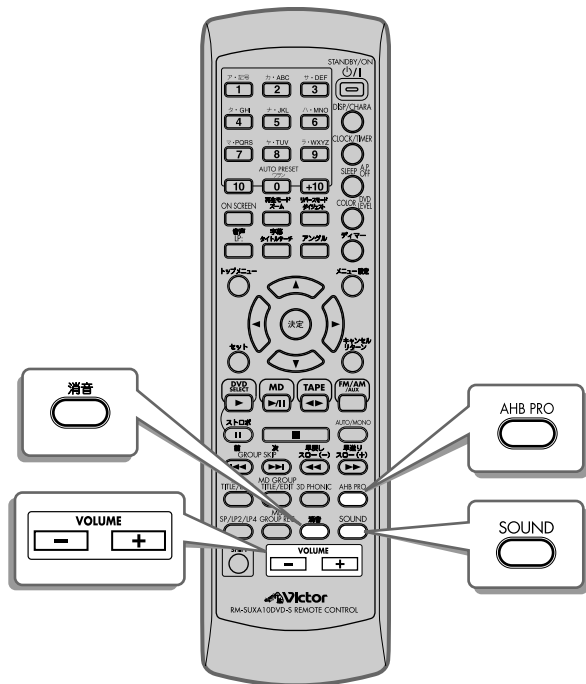
一時的に照明を暗くする（ディマー機能）

ディマーを押す

ボタンを押すごとに電動パネルの照明が次のように切り換わります。

DIMMER 1 ：照明が暗くなる
↓
DIMMER 2 ：照明が消える
↓
DIMMER OFF ：通常の明るさに戻る

音を調節する

ご使用になる環境やソース(音源)に応じて、音量の調節や音質の設定をします。
• 電源が「入」の状態で操作します。

お知らせ

• VOLUME ＋、－、AHB PRO、SOUNDの効果は、スピーカーやヘッドホンの音に効きます。録音される音には影響がありません。

音量を調節する

VOLUME ＋または－を押して音量を調節する

• VOLUME ＋または－を押すごとに、0～40の範囲で音量が調節できます。

例:音量を12に調節したとき

VOLUME 12

一時的に消音する

電話のときなど、ボタン一つで簡単に音を消すことができます。

消音を押す

「FADE MUTING」が点滅表示され、音量が徐々に「0」まで下がります。

再度音を出すときは、もう一度消音を押します。
徐々にもとの音量まで上がります。

• リモコンのVOLUME＋を押す、または本体のVOLUMEつまみを回して音量を上げることができます。

重低音を強調する

重低音を強調したいときや小さな音量で聞くときに使います。

AHB PRO*を押す

現在の設定が表示されます。

•ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

→ AHB PRO1 → AHB PRO2 → AHB PRO OFF →

「AHB PRO1」または「AHB PRO2」を選ぶと、AHB PRO表示が点灯します。

AHB PRO1 ：小さな音量で重低音を楽しむとき
AHB PRO2 ：よりクリアで迫力ある重低音を楽しむとき
AHB PRO OFF(解除)：AHB PRO表示は消えます。

***AHB PRO:**
Active（アクティブ） Hyper（ハイパー） Bass（バス） PRO（プロ）の略字で、クリアで迫力ある重低音が楽しめます。

サウンドモードを選ぶ

音楽のジャンルに合わせて音質を設定することができます。

SOUNDを押す

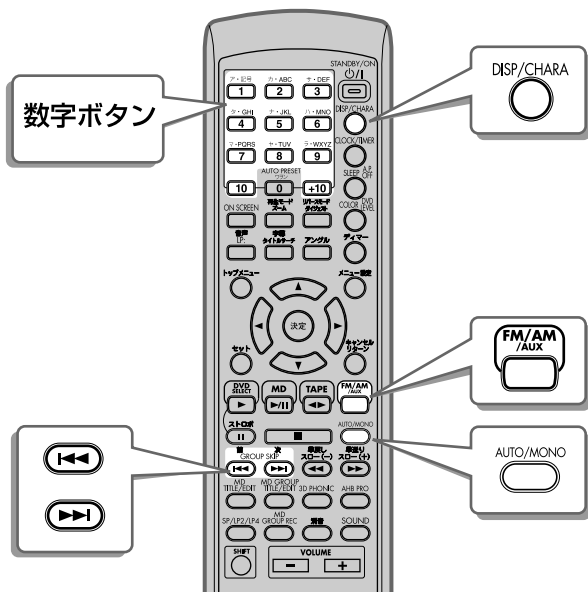
現在の設定が表示されます。

• ボタンを押すごとに次のようにサウンドモードが切り換わります。

「FLAT」を除くいずれかを選ぶとSOUND表示が点灯します。

ROCK ：低音と高音を強調した設定
POP ：ボーカルやナレーションに向いた設定
CLASSIC ：高音を強調した設定
JAZZ ：ライブの臨場感を強調した設定
FLAT(解除) ： SOUND表示は消えます。

ラジオ放送を聞く

FMまたはAMのラジオ番組を受信することができます。

オート選局/マニュアル選局

放送局を選ぶ方法には、オート選局とマニュアル選局があります。

1 **FM/AM/AUX(本体ではFM/AM)を押して FM または AM を選ぶ**

電源が「入」になります。

• 押すごとに上のように切り換わります(本体のFM/AMを押すと、FMまたはAMに切り換わります)。

2 **▶▶|(または |◀◀)を押して放送局を選ぶ**

2つの選局方法があります。

オート選局：▶▶|(または|◀◀)を押し続け、周波数が変わり始めたらボタンを離します。十分に電波の強い放送局を受信すると自動で止まります。

途中で止めるときは、▶▶|(または|◀◀)を「ポン」と押します。

マニュアル選局：▶▶|(または|◀◀)を押すごとに周波数が変わります。▶▶|を押すと周波数が上がり、|◀◀を押すと下がります。

• FMステレオ放送を受信すると、STEREO表示が点灯します。
• 電波が弱く、オート選局が自動で止まらないときはマニュアル選局に切り換えてください。

お知らせ

• マニュアル選局の場合、FM放送では0.05 MHzずつ、AM放送では9 kHzずつ周波数が変わります。
• 本機は、テレビ1ch：95.75 MHz、2ch：101.75 MHz、3ch：107.75 MHzの音声を受信することができます。
• 電源を「切」にしたり他のソース(音源)に切り換えたとき、最後に受信していた放送局が記憶されます。再びラジオ放送に切り換えると、同じ放送局が受信できます。

記憶(メモリー)した放送局を選局する

「放送局を記憶させる」(➡ 27 ページ参照)の操作で記憶(メモリー)させた放送局を呼び出します。
リモコンの数字ボタンを使います。

1 **FM/AM/AUX(本体ではFM/AM)を押して FM または AM を選ぶ**

2 **数字ボタン（1 ～ 10、+10）で放送局を選ぶ（プリセット選局）**

1～10のプリセット番号を選局するとき

数字ボタンの [1] ～ [10] のいずれかを押します。

11以上のプリセット番号を選局するとき

15を選局する：[+10] ➡ [5]
20を選局する：[+10] ➡ [10]
と押します。

21以上のプリセット番号を選局するとき

25を選局する：[+10] ➡ [+10] ➡ [5]
30を選局する：[+10] ➡ [+10] ➡ [10]
と押します。

受信中はプリセット番号と受信周波数が表示されます。

受信モードを切り換える

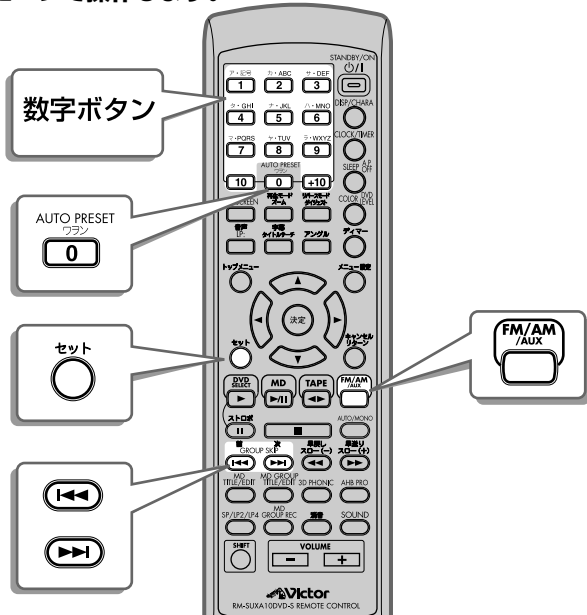
• FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、リモコンのAUTO/MONOを押します。MONO表示が点灯し、聞きやすくなることがあります(このとき音声はモノラルになります)。別の放送局を受信すると自動的にステレオ受信に変わり、STEREO表示が点灯します。
• 本機はAMステレオ放送には対応しておりません。

放送受信中に時計やMDの録音残量表示を見るには

DISP/CHARAを押します。時計表示に切り換わります。MDデッキにMDが入っているときは、DISP/CHARAを押すごとに、MDの録音残量表示➡時計表示と切り換わります。もう一度押すと、放送受信中の表示に戻ります。

放送局を記憶させる (プリセット)

選局した放送局を記憶(メモリー)しておくと、簡単に呼び出すことができます。
放送局を記憶させる方法には、選局から記憶までを自動で行う**オートプリセット**と、手動で選局と記憶を行う**マニュアルプリセット**があります。

- AM放送は最大15局、FM放送は最大30局まで記憶させることができます。
- **リモコンで操作します。**

ご注意

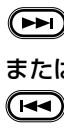
- 電源コードをコンセントから抜いたり停電があると、記憶(メモリー)した放送局が消去されることがあります。記憶(メモリー)は、約1日保持されます。

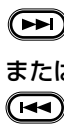
オートプリセット

1

FM/AM/AUX(本体ではFM/AM)を押してFMまたはAMを選ぶ

2 AUTO PRESET ワラン 0

AUTO PRESETを2秒以上押す

受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。

- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットの最大数(FMで30局、AMで15局)まで記憶されると、オートプリセットは終了します。
- 雑音の多い放送局もプリセットされることがあります。
- 前に記憶されていた放送局があっても、新しくプリセットされた放送局が上書きされます。

オートプリセットが終了すると、プリセット番号1に記憶した放送局が受信されます。

マニュアルプリセット

1

FM/AM/AUX(本体ではFM/AM)を押してFMまたはAMを選ぶ

2 ▶▶| または |◀◀

▶▶|(または |◀◀)を押して記憶させる放送局を選ぶ

➡ 26 ページ「オート選局/マニュアル選局」参照。

3 セット

セットを押す

プリセット番号1が点滅します。

- 約5秒間点滅します。その間に次の操作をしないときは、手順**2**に戻ります。

4 ▶▶| または |◀◀

▶▶|(または |◀◀)または数字ボタンを押してプリセット番号を選ぶ

- すでに記憶されていたプリセット番号を指定すると、新しく選んだ放送局が上書きされます。
- 数字ボタンの使いかたは、26ページの「記憶(メモリー)した放送局を選局する」を参照してください。

5 セット

セットを押す

約2秒間、「STORED」が表示されます。表示が消えると記憶(メモリー)されます。

ディスクを再生する

このページから 46 ページまでは、DVDビデオ、オーディオCD、ビデオCDの操作を説明します。
MP3ディスクの再生については 47 ページからの説明をご覧ください。

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD は、操作できるディスクの種類を表します。

ご注意

- キャッシュカードや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、CDトレイと形状が合わないため、故障の原因となります。絶対に使用しないでください。
- CDにセロハンテープが張ってあったり、レンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとのあるCDは使用しないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、CDが取り出せなくなるなど故障の原因となります。

マルチチャンネル音声について

本機では、ドルビーデジタルのマルチチャンネル音声はダウンミックスして本機の２本のスピーカーとヘッドホンで再生します。

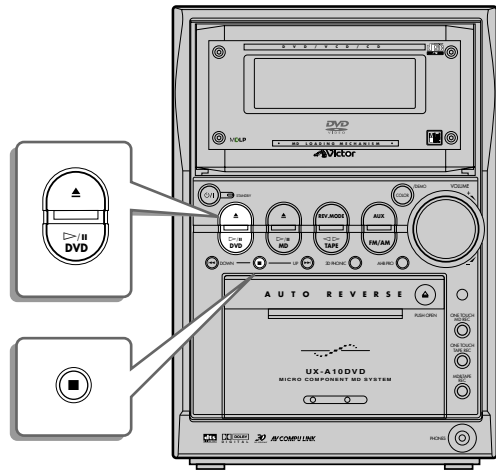
- DTSの音声は本機で再生できません。ドルビーデジタルとDTS音声が収録されているDVDビデオの場合、音声にDTSを選ぶと、本機では無音になります。音声はドルビーデジタルを選んでください。
- ドルビーデジタル音声を再生しているとき、本機の3Dフォニック機能を使うと、本機のスピーカーだけで迫力のあるサラウンドをお楽しみいただけます。(➡ 31 ページ 参照)

ディスクを入れて、すぐにメニューが表示されたときは･･･

ディスクによってはディスクを入れ、ディスクトレイを閉じると自動で再生が始まり、メニュー画面が表示されるものがあります。➡ 35 36 ページ

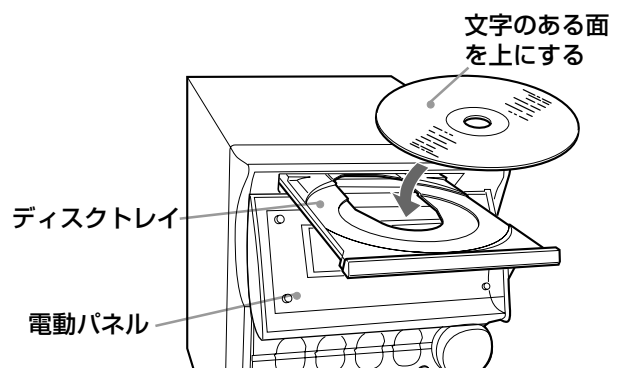
このようなディスクのときは、リモコンを使ってメニューから希望の項目を選んで再生します。ディスクによっては、操作方法がここでの説明と異なることがあります。

項目をカーソルで選ぶとき
カーソル(▲/▼/◀/▶)を使って、項目を選び、**決定**を押します。

項目を数字ボタンで選ぶとき
数字ボタンで項目を選び、**決定**を押します。

1 本体のDVD ▲を押す

電源が「**入**」になり電動パネルが下がってディスクトレイが出てきます。

2 ディスクトレイにディスクを置く

ディスクトレイの円形部分に沿うように正しく置きます。
- 8センチディスクは内側の凹部に置きます。

3 本体:DVD ▷/II を押す

リモコン:DVD SELECT ▶ を押す

ディスクトレイが本体内に収まり、電動パネルが自動で閉まり、再生が始まります。
手順**2**で入れたディスクのソース(音源)— **DVD、CDまたはVCD** —になります。
再生が終わると、ディスクによっては自動停止します。

- ディスクトレイだけ閉じるときは、本体の**DVD ▲**を押します。ディスクトレイが本体内に収まり電動パネルが自動的に閉まります。

オープニング画面について

電源を入れた直後や、ディスクを入れる前のテレビ画面にはオープニング画面が表示されます。

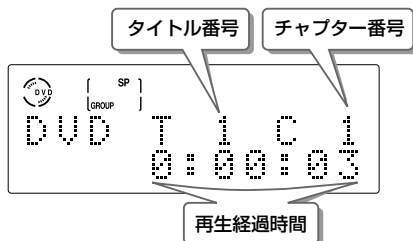
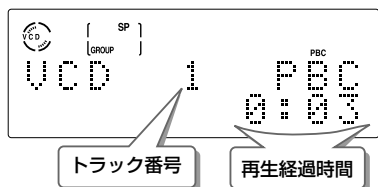
オープニング画面の下部には、本機の状態を示すメッセージが表示されます。

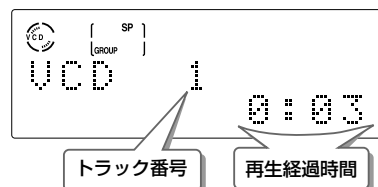
NOW READING（ナウ リーディング）	：ディスク情報を読み取り中です。しばらくお待ちください。
リージョン コード エラー!	：リージョンコードが違うため、このＤＶＤビデオを再生できません。
OPEN（オープン）	：ディスクトレイを開いています。
CLOSE（クローズ）	：ディスクトレイを閉じています。

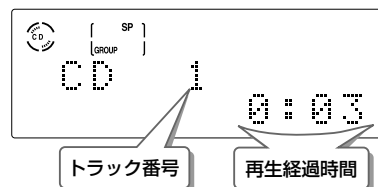
ディスクを再生中の本体表示窓の表示

DVD ビデオを再生中の表示：

停止中：
総タイトル数が表示されます。

ビデオ CD を PBC 機能で再生中の表示：

停止中：
総トラック数と総再生時間が表示されます。

ビデオ CD を PBC 機能を使わないで再生中の表示：

停止中：
総トラック数と総再生時間が表示されます。

オーディオ CD を再生中の表示：

停止中：
総トラック数と総再生時間が表示されます。

再生中に表示されるマークについて

再生条件に応じて、下のようなマークがテレビ画面に約数秒間表示されます。これらのマークはオンスクリーンガイドといいます。オンスクリーンガイドは表示しないようにすることができます。

- **マークを表示しないようにするには**
  「オンスクリーンガイド」(➡ 85 ページ)を参照してください。

- ：再生を開始すると表示されます。
- ：一時停止すると表示されます。
- ：選択したスピードで早送り／早戻し再生をすると表示されます。➡ 33 ページ
- ：選択したスピードでスロー再生をすると表示されます。➡ 33 ページ
- ：複数のアングルが収録されている場面で表示されます。➡ 41 ページ
- ：複数の音声言語が収録されている場面で表示されます。➡ 40 ページ
- ：複数の字幕言語が収録されている場面で表示されます。➡ 40 ページ
- ：本機、またはディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。⃠ が表示されなくても、状況によっては操作ができないことがあります。

スクリーンセーバーについて

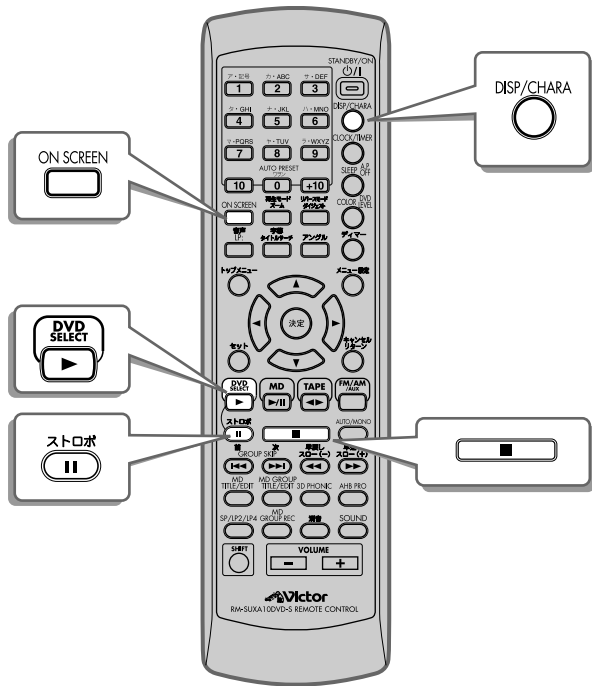
長い時間、静止画を映していると、テレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。

初期設定画面(➡ 82 ページ)を表示中や停止中、またはメニュー再生中など、静止画が表示されてから 5 分以上何も操作をしないと、画面が暗くなります。
スクリーンセーバー機能はいずれかの操作ボタンを押すと解除され、通常の明るい画面に戻ります。

（スクリーンセーバーが働いていないとき）

（スクリーンセーバーが働いているとき）

初期設定「映像設定画面」の［スクリーンセーバー］の設定で、スクリーンセーバー機能を働かせないようにすることもできます。➡ 85 ページ

ディスクの基本操作

再生を停止する

■を押します。

- DVDビデオまたはビデオCDのとき、初期設定画面の「システム」でリジュームを**オン**にしているときは、「あとで続きを再生する[リジューム]」(➡ 32 ページ)をご覧ください。

一時停止する

リモコン:
再生中に❚❚を押します。
再生を再開するときは、DVD SELECT ►を押します。

本体:
再生中にDVD ▷/❚❚を押します。
再生を再開するときは、もう一度DVD ▷/❚❚を押します。

ディスクを取り出す

本体のDVD ⏏を押します。
再生が停止し、電動パネルが下がってディスクトレイが出てきます。ディスクを取り出したら、もう一度DVD ⏏ を押して電動パネルを閉めます。

再生中に時計やMDの録音残量表示を見るには

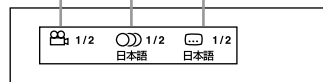
DISP/CHARAを押します。時計表示に切り換わります。
MDデッキにMDが入っているときは、DISP/CHARAを押すごとに、MDの録音残量表示➡時計表示と切り換わります。もう一度押すと、再生中の表示に戻ります。

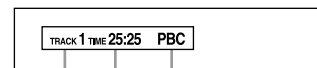
テレビ画面でディスクの状況や状態を見る

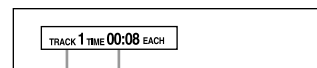
テレビ画面に再生中のディスクの状況や状態を表示させて確認することができます。

ON SCREENを押す

テレビ画面の上部にディスクの状況や状態が表示されます。

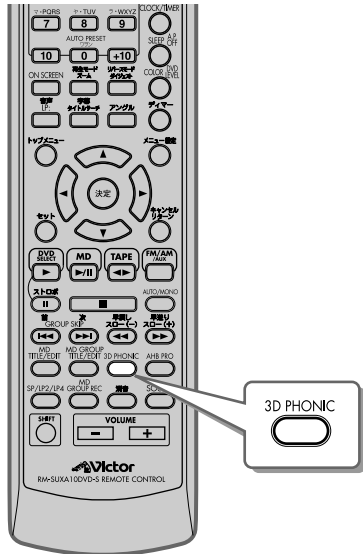
DVDビデオのとき:

テレビ画面の表示が消えます。

PBC再生中のビデオCDのとき:

テレビ画面の表示が消えます。

PBCオフで再生中のビデオCD/オーディオCDのとき:

テレビ画面の表示が消えます。

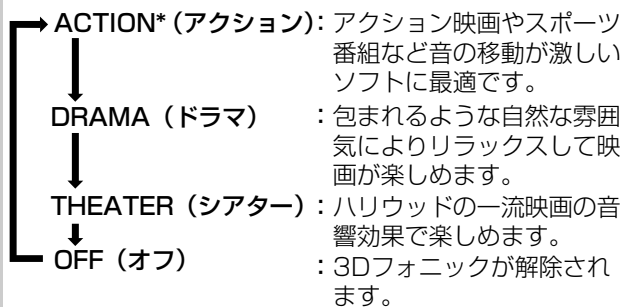
3Dフォニックを使う

3Dフォニックを使うと、本機の2本のスピーカーだけでサラウンドの効果を擬似的に演出することができます。
・**再生中に、リモコンで操作します。**

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD **で使える機能です。**

1 3D PHONIC

3D PHONICを押してモードを選ぶ

1回押すと現在のモードが表示されます。さらに押すごとに、3Dフォニックのモードが次のように変わります。
(　)内はテレビ画面に表示されるモードです。

ACTION* (アクション)：アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。
↓
DRAMA（ドラマ）：包まれるような自然な雰囲気によりリラックスして映画が楽しめます。
↓
THEATER（シアター）：ハリウッドの一流映画の音響効果で楽しめます。
↓
OFF（オフ）：3Dフォニックが解除されます。

* ドルビーデジタルの3ch以上で収録されているDVDビデオの音声を再生中のときは、「**ACTION (アクション)**」を設定することはできません。
• ACTION（アクション）、DRAMA（ドラマ）またはTHEATER（シアター）を選ぶと、本体表示窓の**3D PHONIC**が点灯します。
• 3Dフォニックの効果は、MDやテープへの録音時にも効果があります。

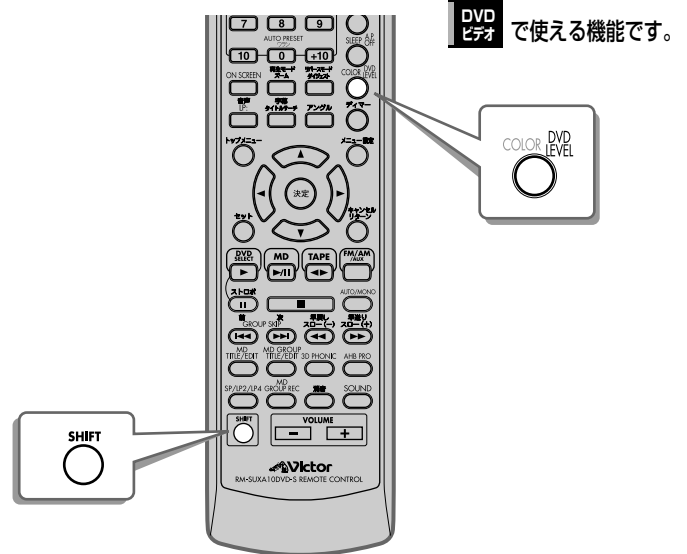
お知らせ

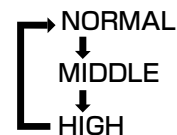
• 3Dフォニックの効果は、ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオの音声に限り正しい効果が得られます。その他のソース（音源）では3Dフォニックの効果が得られません。
• ドルビーデジタルでリアの音声成分が収録されていないDVDビデオの場合、正しい効果は得られません。
• DVDデジタル出力端子から出力されるDVDビデオのドルビーデジタルビットストリーム信号には、3Dフォニックの効果はかかりません。
• **リニアPCMのDVDビデオの場合、この操作を受け付けません。**

DVDレベルを調節する

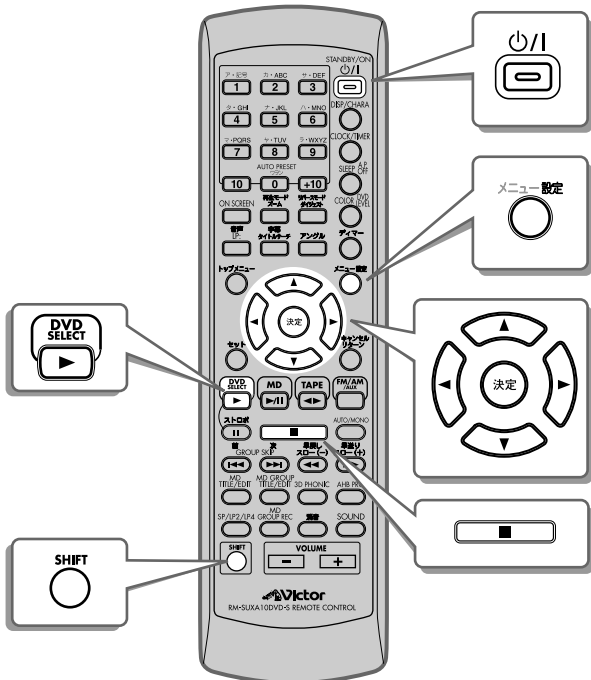
DVDビデオの音声は、他の種類のディスク（ビデオCDやオーディオCD）よりも低いレベルで収録されている場合があります。
DVDビデオを再生中、他の種類のディスクと比べて音が小さく聞こえるときは、DVDレベルを調節します。
・**DVDを再生中に、リモコンで操作します。**

DVDビデオ **で使える機能です。**

1 SHIFT ＋ COLOR DVD LEVEL

SHIFTを押したまま COLOR/DVD LEVELを押してモードを選ぶ

1回押すと現在のモードが表示されます。
さらに押すごとに、DVDレベルのモードが次のように変わります。
音を聞きながらモードを選んでください。
NORMAL ➡ MIDDLE ➡ HIGHの順に音声レベルが高くなります。

• 設定したDVDレベルは、DVDビデオの再生時のみ有効です。DVDビデオ以外のディスクのときには、働きません。なお、DVDレベルを変えても背面のDVDデジタル出力端子からの出力レベルは変化しません。

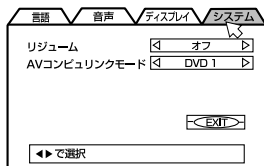
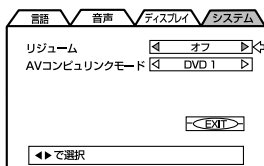
あとで続きを再生する[リジューム] DVDビデオ ビデオCD で使える機能です。

映画鑑賞を途中で中断するときなど、その位置を本機に記憶させ、あとでその位置から続きを再生することができます。
これを「リジューム」といいます。
リジュームを使うときは、あらかじめ初期設定画面のシステムでリジュームを**オン**に設定しておきます。

リジュームをオンにする

・ソース(音源)がDVDのとき、停止中に操作します。

1 **SHIFTを押したまま メニュー/設定を押す**

初期設定画面がテレビ画面に表示されます。

2 **カーソル ▶(または◀)を押して「システム」を選ぶ**

3 **カーソル▼を押して「リジューム」を選ぶ**

4 **カーソル ▶(または◀)を押して「オン」を選ぶ**

5 **カーソル▼を押して「EXIT」を選び、決定を押す**

オープニング画面に戻ります。

リジューム再生をする

■ 再生位置を記憶させるには

• リジューム設定が[オン]でディスク再生中に操作します。

1 **中断したいところで、■または ⏻/I(電源)を押す**

• 再生が中断し、押したときの再生位置が記憶されます。再生位置は、■または ⏻/I(電源)を押すごとに新しく記憶されます。
• ■ を押したときは、そのあと電源を切っても再生位置の記憶は消えません。
• 他のソース(音源)に切換えても記憶されています。
• ディスクを取り出すと、再生位置の記憶は消えます。

■ リジューム再生するには

・リジューム設定が[オン]で、前回再生を中断したディスクが入っているとき操作します。

1 **DVD SELECT ▶ を押す**

本体のときは、DVD▷/IIを押します。本体の表示窓に「RESUME」と表示され、中断した位置から再生が始まります。

• 電源が「切」のときは、電源が自動で入り、中断した位置からの再生が始まります。

• **位置の記憶を取り消し、ディスクの最初から再生するには**

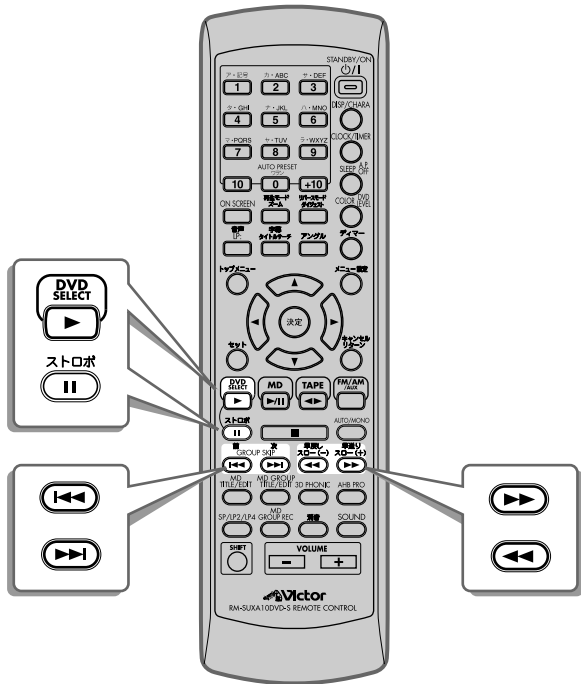
電源「入」のときは
停止中に■を押してからDVD SELECT▶ を押します。本体のときは、DVD▷/IIを押します。

電源「切」のときは
⏻/I(電源) を押して電源を入れてから DVD SELECT▶ を押します。
本体のときは、DVD▷/IIを押します。

お知らせ

• プログラム再生またはランダム再生のモードのときは、リジュームが働きません。
• PBC対応のビデオCDでは、記憶されている再生位置よりも手前、または後から再生されることがあります。
• 記憶された位置によっては、記憶されている再生位置よりも手前、または後から再生されることがあります。
• 再生位置と一緒に、そのとき設定している音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。➡ 40 41 ページ
• DVD ビデオのメニュー画面中やビデオ CD の PBC メニュー画面が表示されているときは、再生位置が記憶できないことがあります。

速さを変えて再生する

再生する速度を変えたり、画像をコマ送りで楽しむことができます。

画像を1コマずつ送る

DVD ビデオ　ビデオ CD　で使える機能です。

• 再生中に操作します。

1　ストロボ II

コマ送りしたいところでII を押す

画面が一時停止します。

2　ストロボ II

II を押す

IIを押すごとに静止画像が次のフレームに進みます。
• DVD SELECT► を押すと通常の再生に戻ります。

早送り/早戻し再生をする

DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD　で使える機能です。

• 再生中に操作します。

早送り/早戻し再生1 (リモコンのみ)

1　►► または ◄◄

►►または◄◄を押す

ボタンを押すごとに早送り／早戻しのスピードが速くなります（2 倍速〜 60 倍速)。
通常の再生に戻すときは、DVD SELECT► を押します。

早送り/早戻し再生2

1　►►I または I◄◄

►►Iまたは I◄◄を押し続ける

►►Iを押し続けると早送り再生（5倍速/20倍速)、I◄◄を押し続けると早戻し再生（5倍速/20 倍速）ができます。
ボタンから手を離すと通常の再生に戻ります。

スローモーション再生する［スロー］

DVD ビデオ　ビデオ CD　で使える機能です。

• 再生中に操作します。

1　ストロボ II → ►► または ◄◄

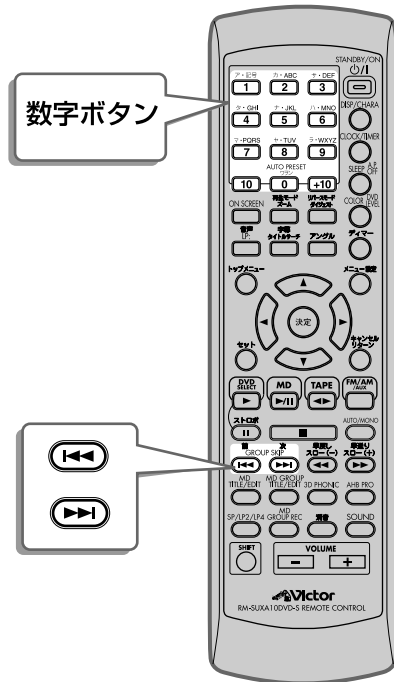
IIを押してから、►►または ◄◄ を押す

►► : 順方向のスロー再生 ... スロー（+）
◄◄ : 逆方向のスロー再生 ... スロー（−）（DVD ビデオのみ）
►►は押すごとに 1/32 倍速〜 1/2 倍速の範囲でスロー再生のスピードが変わります。
◄◄は押すごとに 1/16 倍速〜 1/3 倍速の範囲でスロー再生のスピードが変わります。
• スロー再生中、音声は再生されません。
• ビデオ CD では逆方向のスロー再生はできません。
• DVD SELECT► を押すと通常の再生に戻ります。

お知らせ

• DVD ビデオやビデオ CD を早送り / 早戻し再生しているとき、音声は出ません。
オーディオ CD を早送り / 早戻し再生しているときは、断続的に音声が出ます。

見たい場面や聞きたい曲を素早く選ぶ DVDビデオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です。

見たい場面や聞きたい曲を素早く選ぶことができます。

お知らせ

- DVDビデオによっては、この機能が使えないものもあります。
- ビデオCDをPBC再生（➡ 36 ページ）しているときや、ディスクによってはこの機能が使えません。

▶▶|または|◀◀を使って頭出しをする

前後のタイトルやチャプター(DVDビデオ)やトラック(オーディオCD/ビデオCD)の頭出しをすることができます。

- DVDビデオ　:再生中に操作します。
- オーディオCD :再生中または停止中に操作します。
- ビデオCD　:停止中、またはPBCオフで再生中に操作します。

1 ▶▶|または|◀◀を押す

(▶▶|) または (|◀◀)

次のタイトル / チャプター / トラックに進む
➡ 必要な回数だけ ▶▶| を押す

前のタイトル / チャプター / トラックに戻す
➡ 必要な回数だけ |◀◀ を押す

再生中のタイトル / チャプター / トラックの頭に戻る
➡ 1 回だけ |◀◀ を押す

選んだタイトル / チャプター / トラックが表示窓に表示され、再生が始まります。

- オーディオCDまたはビデオCDのとき、停止中に▶▶|または|◀◀を押してから▶**再生**を押すと、選んだトラックから再生が始まります。

数字ボタンを使って頭出しをする

DVDビデオのタイトルやチャプター、オーディオCD/ビデオCDのトラックを数字ボタンで指定して、再生を始めることができます。

- DVDビデオ　:再生中に操作します。
- オーディオCD :再生中または停止中に操作します。
- ビデオCD　:停止中、またはPBCオフで再生中に操作します。

1 数字ボタンを使って番号を指定する

ディスクの種類、および本機の動作状態によって、指定する項目が異なります。

動作状態	ディスクの種類	指定される項目
停止中	DVDビデオ	タイトル
	オーディオCD／ビデオCD	トラック
再生中	DVDビデオ	チャプター
	オーディオCD／ビデオCD	トラック

1〜10の番号を選ぶとき

数字ボタンの [1] 〜 [10] のいずれかを押します。

11以上の番号を選ぶとき

15番を選ぶ：[+10] ➡ [5]

20番を選ぶ：[+10] ➡ [10]

と押します。

21以上の番号を選ぶとき

25番を選ぶ：[+10] ➡ [+10] ➡ [5]

30番を選ぶ：[+10] ➡ [+10] ➡ [10]

または [+10] ➡ [+10] ➡ [+10] ➡ [0]

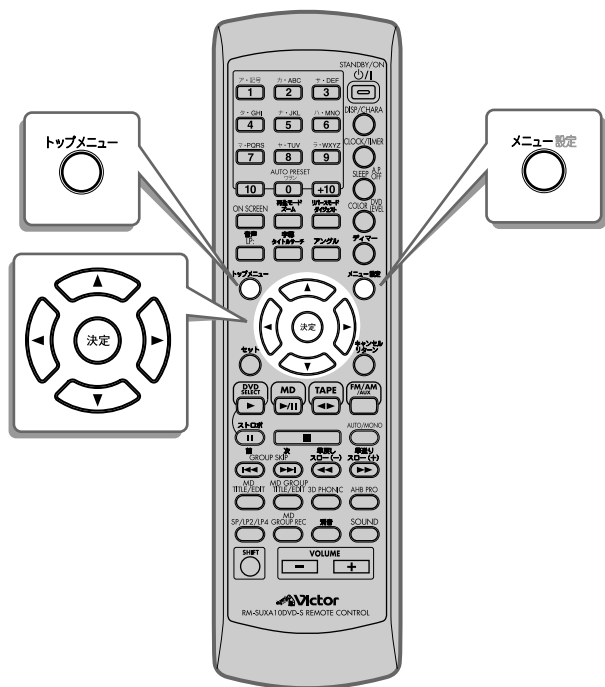
と押します。

指定した番号が本体の表示窓に表示され、再生が始まります（ダイレクト再生）。

- ⃠ が表示されたときは ...
押した番号のタイトル、あるいはトラックが収録されていません。

DVDメニューから選んで再生する DVDビデオ で使える機能です。

DVDビデオには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面では、映画のタイトルや曲目、アーティスト情報などが表示されます。このメニュー画面から見たい内容を選ぶことができます。

- **ソース（音源）がDVDで、DVDビデオがディスクトレイに入っているとき操作します。**

1 メニュー 設定 または トップメニュー

メニュー/設定または トップメニューを押す

メニュー画面が表示されます。

- 停止中は、**メニュー/設定**が働きません。

- ⃠ **が表示されたら…**
  ディスクにタイトル一覧のリストを表示するようなメニュー画面またはメニュー画面自体が収録されていません。

2

カーソル（▲/▼/◀/▶）を使って見たい映像や項目を選び、決定を押す

選んだところから再生されます。

メニューボタンとトップメニューボタンの使い分け

- 複数のタイトルが収録されていて、タイトル名のリストなど、目次のようなメニュー画面が収録されている場合は、**トップメニュー**を押します。
  タイトルが1つだけでも、何らかのメニュー画面が収録されている場合は、**メニュー/設定**を押します。収録されているメニュー画面が表示されます。
  メニュー構成については、ディスクの説明書をご覧ください。
- メニュー画面によっては、数字ボタンを押すだけで見たい映像や項目を選ぶことができます。

ビデオCDのメニューから選ぶ　ビデオCDで使える機能です。

PBC（プレイバックコントロール）で 収録されたビデオCDを再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてテレビ画面に表示されます。このメニュー画面から、見たい内容を選ぶことができます。

- **ソース（音源）がDVDで、PBC対応のビデオCDが停止中に操作します。**

1 DVD SELECT ▶ を押す

PBCのメニュー画面が表示され、本体の表示窓に **PBC** が表示されます。

2 数字ボタンを使って見たい映像や項目の番号を選ぶ

選んだ内容が再生されます。

1〜10の番号を選ぶとき

数字ボタンの [1] 〜 [10] のいずれかを押します。

11以上の番号を選ぶとき

15番を選ぶ：[+10] ➡ [5]

20番を選ぶ：[+10] ➡ [10]

と押します。

21以上の番号を選ぶとき

25番を選ぶ：[+10] ➡ [+10] ➡ [5]

30番を選ぶ：[+10] ➡ [+10] ➡ [10]

または [+10] ➡ [+10] ➡ [+10] ➡ [0]

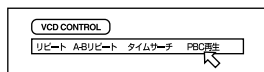
と押します。

- **メニュー画面に戻したいときは**
  SHIFTを押したままキャンセル/リターンを押します。
- **ディスプレイに［次］または［前］が表示されたときは**
  - ▶▶|を押すと、メニューの次のページへ進みます。
  - |◀◀を押すと、メニューの前のページへ戻ります。
  ※ 操作方法はディスクにより異なります。

PBC 機能を使わずに再生するには

停止中に見たいトラック番号を数字ボタンを使って指定します。選んだトラックから通常の順番で再生します。
（➡ 34 ページ）

PBC 機能を使わずに再生中、PBC を働かせたいときは

1. **再生モード / ズームを押す**
2. **カーソル ▶（または ◀）を押してテレビ画面上の「PBC 再生」を選ぶ**

・ 本体表示窓には「PBC CALL」と表示されます。

3. **決定を押す**
   本体表示窓に「PBC」が点灯し、PBC 機能を働かせた再生になります。

次の操作をしても PBC を働かせた再生にできます。
- ■を２回押してから、**DVD SELECT ▶** を押す。

チャプター番号を指定して再生する[チャプターサーチ]

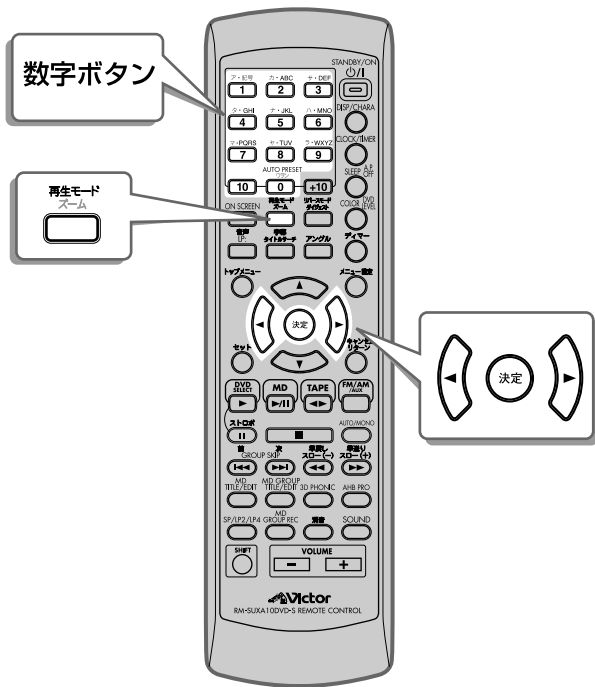
DVDビデオ で使える機能です。

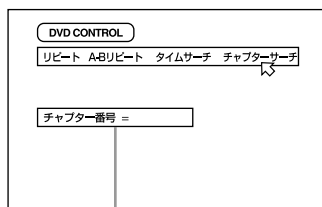
映画が収録されたDVDビデオでは、多くの場合タイトル内の場面をチャプターに分割しています。このチャプター番号を指定して、その場面から再生を始めることができます。

• 再生中に操作します。

1 再生モード/ズーム

再生モード/ズームを押す

2

カーソル▶(または◀)を押して「チャプターサーチ」を選び、決定を押す

[チャプター番号=]が表示されます。

[チャプター番号=]

• 本体表示窓には、CHAPTER SEARCHが表示されます。

3

数字ボタン(0〜10)を使ってチャプター番号を選ぶ

例:

チャプター番号5を選ぶ: [5] を押す

チャプター番号10を選ぶ: [1] ➡ [0] と押す

• チャプター番号を間違えたときは、正しい番号を選び上書きしてください。
• この機能では、[+10] は使いません。また [10] はこの操作では、[0] と同じ働きをします。

4 決定

決定を押す

選んだ番号のチャプターから再生が始まります。

• ⃠ が表示されたときは・・・
DVD ビデオに字幕が収録されていないか、その操作が禁止されています。

5 再生モード/ズーム

再生モード/ズームを押す

ディスクの再生

指定した時間から再生する[タイムサーチ]

DVDビデオ　オーディオCD　ビデオCD　で使える機能です。

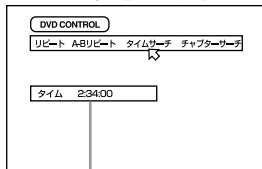
タイムサーチ機能を使うと、現在のタイトル（DVDビデオ）やトラックの頭（オーディオCD/ビデオCD）からの経過時間を指定して、希望の位置から再生を始めることができます。

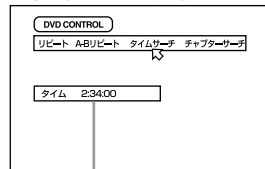
• DVD ビデオの中には時間情報が記録されていないものがあります。このようなディスクにはこの機能は使えません。
• PBC 再生中のビデオ CD では、タイムサーチ機能が働きません。
• **再生中に操作します。**

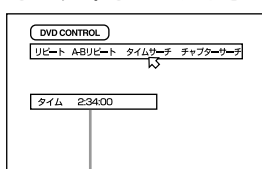
1 　**再生モード/ズームを押す**

2 　**カーソル►（または◄）を押して「タイムサーチ」を選び、決定を押す**

［タイム：］が表示されます。

DVDビデオのとき

［タイム：］

ビデオCDのとき

［タイム：］

オーディオCDのとき

［タイム：］

• 本体表示窓には、「TIME SEARCH」が表示されます。

3 　**数字ボタン(0〜10)を使って時間を入力する**

DVDビデオでは「時･分･秒」で、オーディオCDやビデオCDでは「分･秒」で指定します。

例：DVDビデオを2時間34分から再生するとき

• 時間を間違えたときは、**カーソル◄**を押し、数字ボタンで正しい時間を入力し直してください。
• この機能では、+10は使いません。また10はこの操作では、0と同じ働きをします。

4 　**決定を押す**

指定した時間から再生が始まります。

• **⃠ が表示されたときは･･･**
DVD ビデオに字幕が収録されていないか、その操作が禁止されています。

5 　**再生モード/ズームを押す**

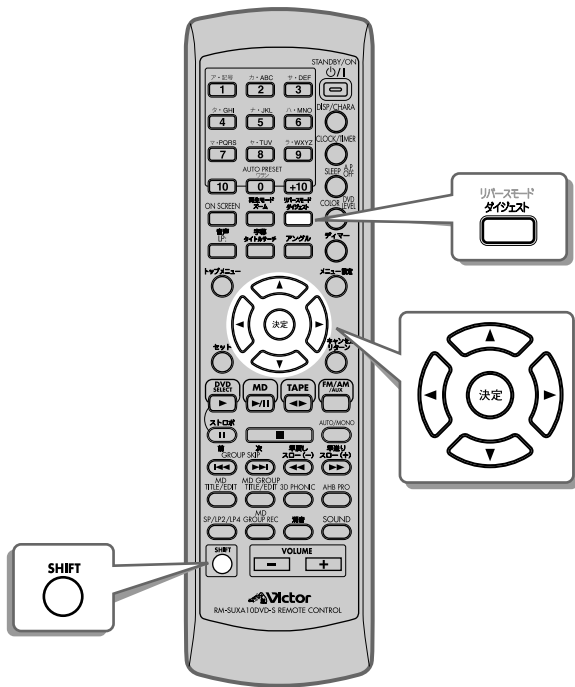
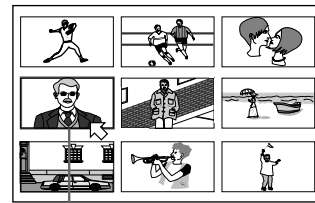
ダイジェスト画面から選んで再生する[ダイジェスト]

DVDビデオ ビデオCD で使える機能です。

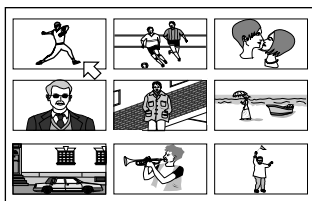
DVDビデオの各タイトル/チャプター、あるいはビデオCDの各トラックの最初の場面を一覧表示して、その中から見たい場面を選ぶことができます。

- DVDビデオ　:再生中に操作します。
- ビデオCD　:停止中、またはPBCオフで再生中に操作します。

1 SHIFTを押したまま リバースモード/ダイジェストを押す

DVDビデオ停止中	:	各タイトルの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。
DVDビデオ再生中	:	現タイトル内の各チャプターの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。
ビデオCD停止中、または再生中	:	各トラックの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。

2 カーソル(▲/▼/◀/▶)を使って見たい場面を選ぶ

選んでいる場面

収録されているタイトル、チャプター、あるいはトラックが9つ以上あるとき、ダイジェスト画面が2ページ以上になります。この場合、▶▶|を押すと次ページが表示されます。
前のページに戻りたいときは|◀◀を押します。

- ダイジェスト画面右下に表示された場面を選んでいるとき、**カーソル**（▶）を押すと次のページが表示されます。
- ダイジェスト画面左上に表示された場面を選んでいるとき、**カーソル**（◀）を押すと前のページが表示されます。
- ダイジェスト画面を止めるときは、もう一度SHIFTを押したまま**リバースモード/ダイジェスト**を押します。

3 決定を押す

選んだ場面から再生が始まります。

- ディスクによってはダイジェスト画面が表示されるのに時間がかかることがあります。

字幕／音声／アングルを切り換える

DVDビデオの中には複数の字幕言語や音声言語/サウンドや複数のカメラを使って異なる角度から撮影した映像(マルチアングル)が複数収録されているものがあります。それらの中から希望する言語/ サウンド/ アングルを選ぶことができます。ビデオCDの場合、音声チャンネルを切り換えて、カラオケの歌あり/なしなどを選ぶことができます。

字幕を切り換える[字幕言語]

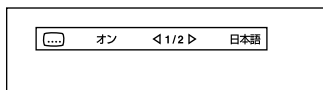
DVD ビデオ で使える機能です。

複数の字幕が収録されている箇所の冒頭で、画面に ▭ が表示されます(オンスクリーンガイドがオンのとき ➡ 85 ページ)。このとき字幕を選ぶことができます。

- **再生中に操作します。**

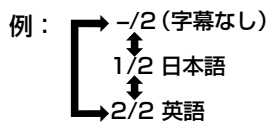
1 字幕/タイトルサーチを押す

テレビ画面に字幕選択表示が表れます。

オン ◁1/2▷ 日本語

- **⃠ が表示されたときは･･･**
  DVD ビデオに字幕が収録されていないか、その操作が禁止されています。

2 カーソル(◀/▶)を押して表示したい字幕を選ぶ

押すごとに字幕の言語が次のように変わります。

例：
- –/2 (字幕なし)
- 1/2 日本語
- 2/2 英語

選んだ字幕がテレビ画面に表示されます。

- そのまましばらく待つか、**決定**を押します。字幕選択表示が消えます。
- 字幕言語は、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語です。それ以外は言語コードで表示されます。(➡ 83 ページ)

字幕のオン／オフを切り換える

字幕/タイトルサーチをくり返し押すと、字幕のオン／オフを切り換えることができます。

音声を選ぶ[音声言語/音声]

DVD ビデオ　ビデオ CD で使える機能です。

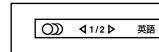
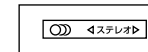
複数の音声が収録されている箇所の冒頭で、画面に ◯◯ が表示されます(オンスクリーンガイドがオンのとき(➡ 85 ページ)。このとき音声を選ぶことができます。

- **再生中に操作します。**

1 音声/LP:を押す

テレビ画面に音声選択表示が表れます。

DVD ビデオのとき：　◁1/2▷ 英語

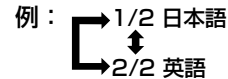
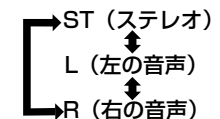
ビデオ CD のとき：　◁ステレオ▷

- **⃠ が表示されたときは･･･**
  ディスクに複数の音声言語が収録されていないか、その操作が禁止されています。

2 カーソル(◀/▶)または音声/LP:を押して音声を切り換える

または

押すごとに音声が切り換わります。

DVD ビデオのとき

例：
- 1/2 日本語
- 2/2 英語

ビデオ CD のとき
- ST (ステレオ)
- L (左の音声)
- R (右の音声)

選んだ音声で再生されます。

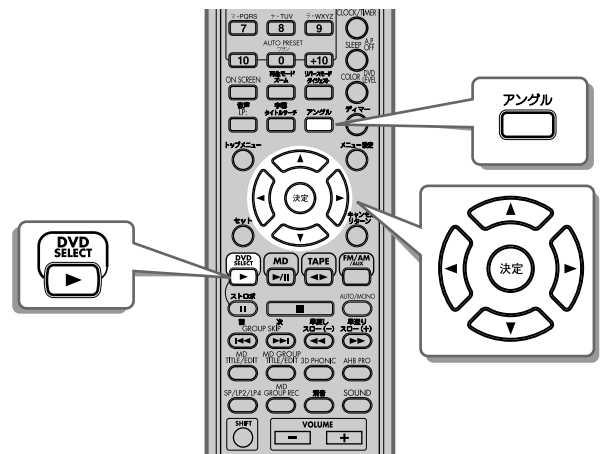
- そのまましばらく待つか、**決定**を押します。音声選択表示が消えます。
- 音声言語は、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語です。それ以外は言語コードで表示されます。(➡ 83 ページ)

カメラアングルを切り換える[アングル]

DVDビデオ で使える機能です。

マルチアングル収録された個所の冒頭で、テレビ画面に が表示されます(オンスクリーンガイドがオンのとき(➡ 85 ページ)。このときアングルを選んで再生することができます。

• 再生中に操作します。

■ アングル選択ウィンドウからアングルを選ぶ

1 アングル

アングルを押す

テレビ画面にアングル選択表示が表れます。

• ⊘ が表示されたときは･･･
再生しているところはマルチアングルで収録されていません。またディスクによっては、アングルの選択が禁止されています。

2

または アングル

カーソル(◀/▶)または アングルを押して 見たいアングルを選ぶ

押すごとにアングルが次のように変わります。

例： 1/3 ⇕ 2/3 ⇕ 3/3

選んだアングルで再生されます。

• そのまましばらく待つか、**決定**を押します。アングル選択表示が消えます。
• アングルを選んでいるときの音声は消えますが、再生は続いています。

■ アングルリストからアングルを選ぶ

1 アングル

アングルを1秒以上押し続ける

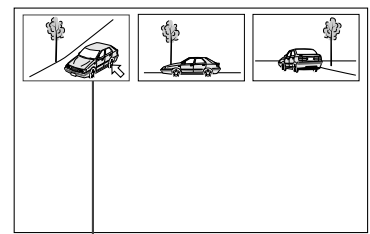
画面上にアングル一覧（最大9アングル）が表示されます。

• ⊘ が表示されたときは･･･
再生しているところはマルチアングルで収録されていません。またディスクによっては、アングルの選択が禁止されています。

2

カーソル(▲/▼/◀/▶)を使って見たいアングルを選ぶ

選んでいるアングル

3

または DVD SELECT

決定またはDVD SELECT▶を押す

選んだアングルで再生されます。

ディスクのプログラム再生／ランダム再生

プログラム再生

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です。

ディスクに収録されているのタイトルやトラックをお好みの順番に再生することができます。

・ソース（音源）がDVDで停止中のとき、リモコンを使って操作します。

1 再生モード/ズーム

再生モード/ズームを押す

本体表示窓：再生モードが表示されます。

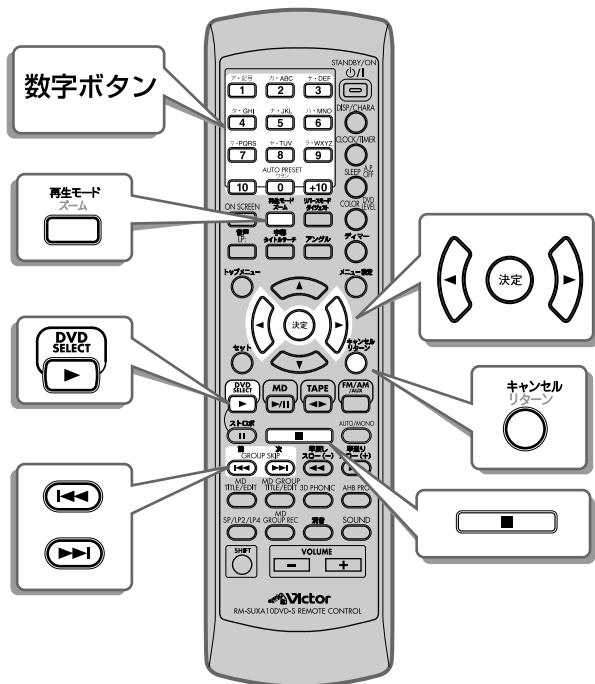
テレビ画面：再生モードが表示されます。

2 決定

カーソル►（または◄）を押して本体表示窓に「PROGRAM OFF」を表示させ、決定を押す

本体表示窓：（例：オーディオ CD のとき）

テレビ画面：プログラム設定画面が表示されます。

プログラム設定画面

3

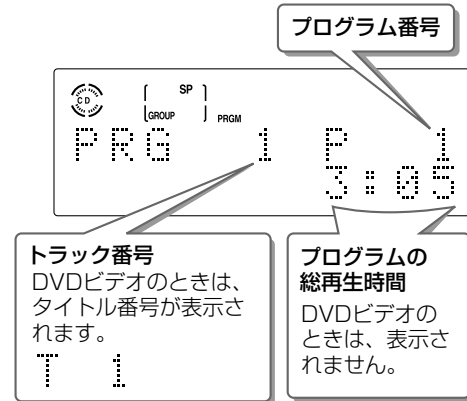
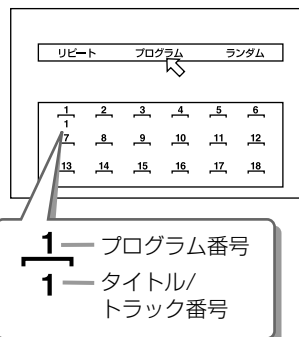
数字ボタンを使って再生したい順にタイトルまたはトラック番号を選ぶ

18タイトル/トラックまで選ぶことができます。

同じタイトル / トラックを何度も選ぶことができます。

本体表示窓：（例：オーディオ CD のとき）

トラック番号
DVDビデオのときは、タイトル番号が表示されます。
T 1

プログラムの総再生時間
DVDビデオのときは、表示されません。

テレビ画面：

- 数字ボタンの使いかたは、「数字ボタンを使って頭出しをする」（➡ 34 ページ）を参照してください。
- 番号を間違えたときは、**キャンセル/リターン**を押します。プログラムの最後の番号から順番に削除されます。**キャンセル / リターン**を押し続けると、プログラムの内容がすべて削除されます。
- ディスクに収録されていないタイトル / トラック番号は選べません。
- プログラムの総再生時間が 1 時間 40 分以上になると、本体表示窓の総再生時間は「－－：－－」と表示されます。
- プログラムの操作を途中で止めるときは、**決定**を押してから**再生モード / ズーム**を押します。

4 DVD SELECT ►を押す

プログラムした順番で再生が始まります。

- プログラムしたタイトル / トラックの再生がすべて終わると、自動停止します。
- 自動停止したあとプログラムを追加・修正するときは、**再生 / ズーム**を押して**カーソル ►** で「PROGRAM」を選んでから手順**3**に従って操作します。
- プログラムしたタイトル / トラックを録音するときは、**DVD SELECT ►** は押さないでください。オーディオ CD、ビデオ CD の場合、再生中のタイトル / トラックの 1 曲録音になってしまいます。

本体表示窓でプログラムの内容を確認する

停止中に ►►I(または I◄◄)を押すと、プログラムの曲順を確かめることができます。
プログラム再生中に I◄◄ を押したときは、再生中の曲の頭に限り戻ります。

プログラム再生を停止する

■ を押します。

オーディオCD/ビデオCDのとき:
プログラムの最後のトラック番号と総再生時間を表示して、再生が停止します。プログラム内容は変更されません。

DVDビデオのとき:
プログラムの最後のタイトル番号を表示して、再生が停止します。プログラム内容は変更されません。

プログラム再生のモードを解除する

停止中に操作します。

1. **再生モード/ズームを押す**
2. **カーソル►(または◄)を押して本体表示窓で「PROGRAM」を選ぶ**
3. **決定を押す**
   本体表示窓に「PROGRAM OFF」が表示されます。
4. **再生モード/ズームを押す**

プログラム内容は削除されません。再びプログラム再生に切り換えると、同じプログラム内容で楽しむことができます。

プログラム内容をすべて削除する

本体の**DVD ▲**を押してディスクを取り出す、または電源を「**切**」にします。

ランダム再生

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です。

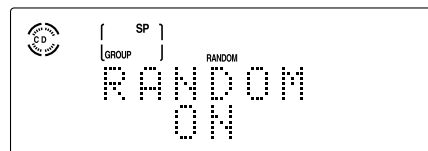
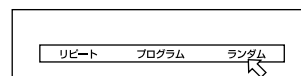
ディスクに収録されているトラックをランダム(無作為)に選び出して再生します。

- **ソース(音源)がDVDで停止中のとき、リモコンを使って操作します。**

1 再生モード/ズームを押す

本体表示窓:再生モードが表示されます。
テレビ画面:再生モードが表示されます。

2 カーソル►(または◄)を押して本体表示窓に「RANDOM OFF」を表示させ、決定を押す

本体表示窓:(例:オーディオ CD のとき)

テレビ画面:

3 DVD SELECT ►を押す

ランダムな順番で再生が始まります。

- すべてトラックの再生が終わると、自動停止します。
- 一度再生したトラックは、再び再生されません。
- DVD ビデオの場合、ディスクによってはランダム再生ができないことがあります。

ランダム再生を停止する

■ を押します。

ランダム再生のモードを解除する

停止中に操作します。

1. **再生モード/ズームを押す**
2. **カーソル►(または◄)を押して本体表示窓で「RANDOM ON」を選ぶ**
3. **決定を押す**
   本体表示窓に「RANDOM OFF」が表示されます。
4. **再生モード/ズームを押す**

次の操作をしてもランダム再生のモードが解除されます。

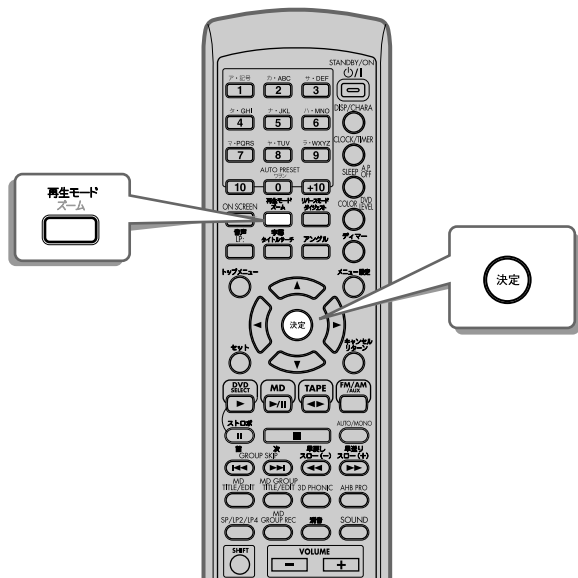
- 本体の**DVD ▲**を押してディスクを取り出す
- 電源を「**切**」にします。

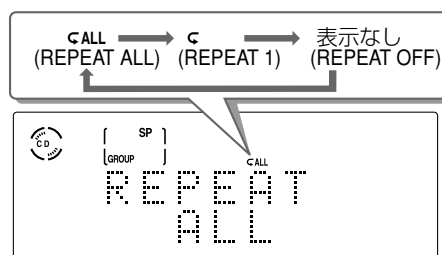
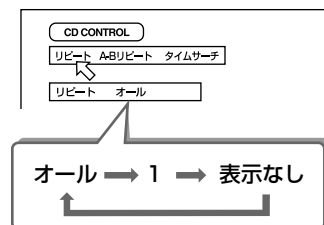
ディスクのリピート再生

DVDビデオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です。

再生中のチャプターやタイトル(DVDビデオ)、再生中のトラックや全トラック(オーディオCD/ビデオCD)をくり返して再生することができる[リピート]と、ある一部分をくり返し再生することができる[A-Bリピート]があります。

タイトル/チャプター/トラック/全トラックをくり返す[リピート]

- DVDビデオ　:再生中に操作します。
- オーディオCD　:再生中または停止中に操作します。
- ビデオCD　:停止中、またはPBCオフで再生中に操作します。

お知らせ

- DVDビデオの再生中に⃠が表示されたときはDVDビデオの内容によってはこの機能を受け付けないことがあります。
- プログラム再生中またはランダム再生中にリピートの操作をすると、プログラム再生またはランダム再生をくり返します。

1 再生モード ズーム

再生モード/ズームを押す

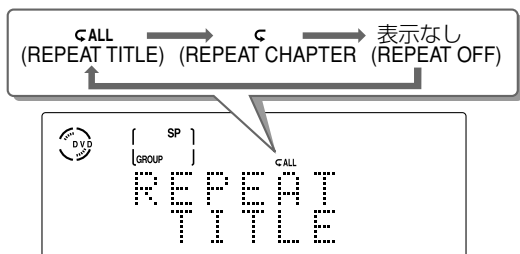
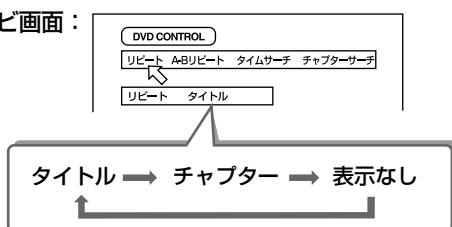
本体表示窓:「REPEAT」が表示されます。
テレビ画面:再生モードが表示されます。

2 決定

決定を押してリピートモードを選ぶ

決定を押すごとに次のように変わります。

DVDビデオのとき(再生中のみ)

本体表示窓:

ALL (REPEAT TITLE) → (REPEAT CHAPTER) → 表示なし (REPEAT OFF)

テレビ画面:

DVD CONTROL
リピート A-Bリピート タイムサーチ チャプターサーチ
リピート タイトル

タイトル → チャプター → 表示なし

REPEAT TITLE (タイトルリピート):再生中のタイトルをくり返します。
REPEAT CHAPTER (チャプターリピート):再生中のチャプターをくり返します。

オーディオCD/ビデオCDのとき:

本体表示窓:

ALL (REPEAT ALL) → (REPEAT 1) → 表示なし (REPEAT OFF)

テレビ画面:

オール → 1 → 表示なし

REPEAT ALL (全トラックリピート):ディスク全体をくり返します。
REPEAT 1 (1トラックリピート):現在のトラックをくり返します。

3 再生モード ズーム

再生モード/ズームを押す

リピート再生のモードを解除する

1. 再生モード/ズームを押す
2. 決定をくり返し押して「OFF」を選ぶ
3. 再生モード/ズームを押す

次の操作をしてもリピート再生のモードが解除されます。

- 本体のDVD ▲を押してディスクを取り出す
- 電源を「切」にします。

指定した範囲をくり返し再生する[A-Bリピート]

• 再生中に操作します。

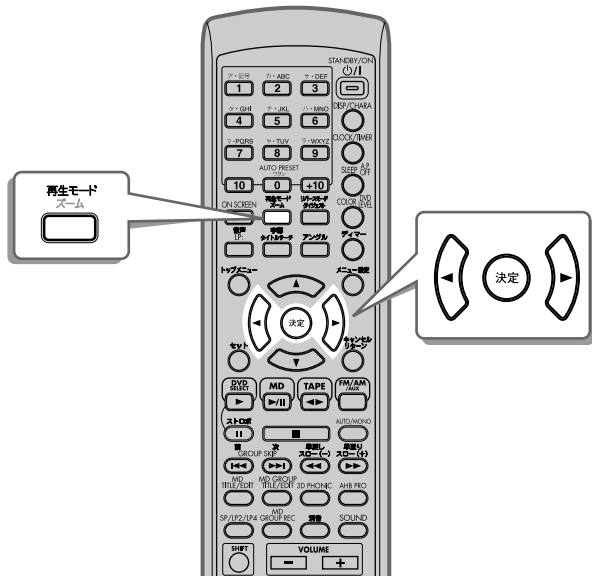
お知らせ

• ⃠ が表示されたときは・・・
そのディスクでは A-B リピート機能が使えません。
• タイトル、またはトラックをまたがるA-Bリピートはできません。
• プログラム再生中やランダム再生中、またはリピート再生中は、A-B リピートができません。

1 再生モード/ズーム

再生モード/ズームを押す

本体表示窓：再生モードが表示されます。
テレビ画面：再生モードが表示されます。

2

カーソル►(または◄)を押して本体表示窓に「A-B REPEAT OFF」を表示させる

例：DVD ビデオのとき
本体表示窓：

テレビ画面：

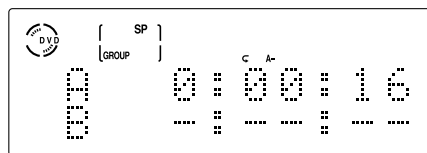
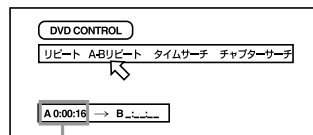
3 決定

くり返したい部分の頭で、決定を押す(Aポイント)

例：DVD ビデオのとき
本体表示窓：

テレビ画面：

Aポイント

4 決定

くり返したい部分の終わりで、決定を押す(Bポイント)

AポイントBポイント間のリピート再生が始まります。

5 再生モード/ズーム

再生モード/ズームを押す

A-Bリピート再生の設定を解除する

1. **再生モード/ズームを押す**
2. **決定を押す**
本体表示窓に「A-B REPEAT OFF」が表示され、解除されます。
3. **再生モード/ズームを押す**

次の操作をしてもA-Bリピート再生のモードが解除されます。
• ■を押して再生を停止する。
• I◄◄または►►Iを押す。
• 電源を「切」にします。

連続写真のように表示する[ストロボ]／画面の一部を拡大する[ズーム]

連続写真のように表示する[ストロボ]

DVDビデオ ビデオCD で使える機能です。

• 一時停止中に操作します。

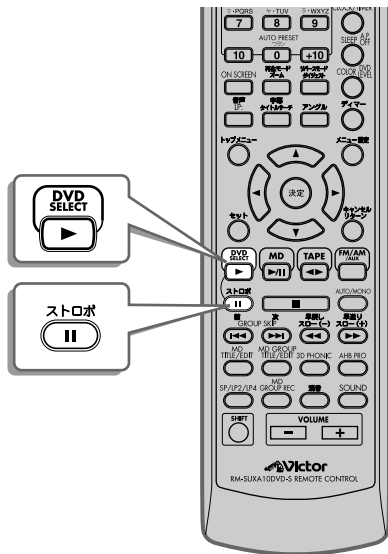
1 ❚❚/ストロボを1秒以上押し続ける

連続した９つの静止画像が表示されます。

2 ❚❚/ストロボを「ポン」と押す

次の９つの静止画像が表示されます。

• ストロボ画面を表示中にDVD SELECT ▶を押すと、連続してストロボ画面を送るストロボ再生になります（音声は消えます）。
• 再生中に ❚❚/**ストロボ**を１秒以上押し続けると、連続した9つの画面のストロボ再生になります（音声は消えます）。

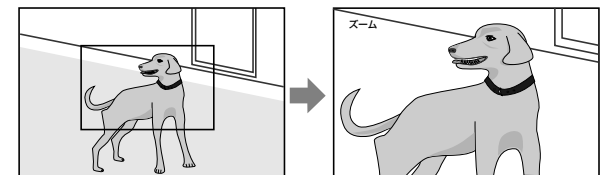
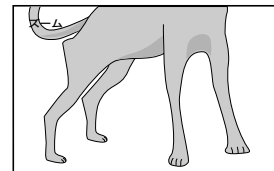
ストロボを解除するには

❚❚/**ストロボ**を1秒以上押し続けます。

画面の一部を拡大する[ズーム]

DVDビデオ ビデオCD で使える機能です。

• 再生中または一時停止中に操作します。

1 SHIFTを押したまま再生モード/ズームを押す

[ズーム] がテレビ画面左上に表示され、中央部が２倍に拡大されます。

2 カーソル(▲/▼/◀/▶)を押して、拡大したい部分を選ぶ

ズームを解除するには

SHIFTを押したまま再生モード/**ズーム**を押します。

お知らせ

• 拡大すると、画質が悪化したり、場面によってはブレることがあります。

MP3ディスクの操作

MP3ディスクとは

ＭＰ３は、少ないデータ容量で高音質のステレオ音声データを記録することができる記録方法です（用語集➡100 ページ）。本機はMP3フォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます（本取扱説明書ではこれらのディスクを「MP3ディスク」と呼びます）。
MP3ディスクでは、曲が「ファイル」として記録されています。複数のファイルをカテゴリーまたはアーティストなどの「フォルダ」にまとめて分類し、フォルダの中にフォルダを作って階層構造にすることができます。このフォルダ階層はパソコンのフォルダの階層構造と同じです。

- **本機ではファイルはトラックとして扱います。**
- **本機では1つ以上のファイル（トラック）を含むフォルダはグループとして扱います。**

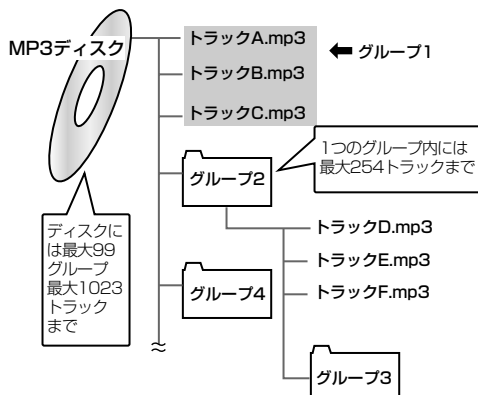
本機で再生できるMP3ディスク

本機では、次のファイル（トラック）およびＭＰ３ディスクを再生することができます。

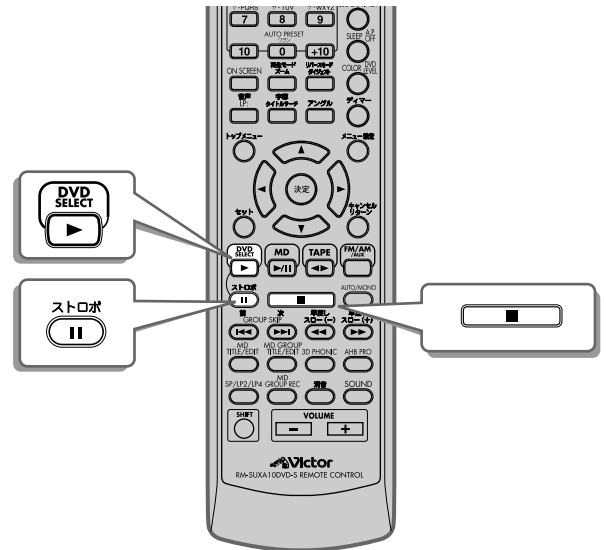
- **「.MP3」「.mP3」「.Mp3」「.mp3」の拡張子がついたMP3ファイル**
- **ISO9660フォーマットで記録され、ファイナライズされているMP3ディスク**
  （パケットライト方式で記録されたディスクは、再生できません。）
- マルチセッションで記録されたディスクの場合は、最初のセッションだけ再生することができます。

MP3ディスクのトラックとグループ

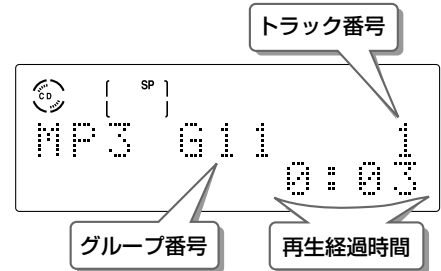
本機では、MP3ディスクのトラック（MP3ファイル）とグループ（フォルダ）は、次のように認識します。

- トラックが入っていないグループは認識されません。
- グループに属さないトラックはグループ１のトラックとして扱われます。
- 本機は各グループ内に最大254トラック、ディスク内に最大99グループまで認識できます。これらを超える場合、本機は超えた分を認識せず、再生を行いません。
  また、グループ（フォルダ）内にMP3以外のファイルが含まれているときは、本機が認識できるMP3トラックの数が254を下回ることがあります。

お知らせ

- 本機背面のDVDデジタル出力端子からは、MP3の音声信号は出力されません。

MP3ディスクを再生する

1 **MP3ディスクを本機に入れる**

2 **DVD SELECT ►を押す**

ディスク内容の読み取り後、最初のトラックから再生が始まります。

- ディスク内容の読み取りにかかる時間は、記録されているグループやフォルダの数によって異なります。
- ディスクの記録状態や特性により再生できない場合は、読み取りに時間がかかることがあります。

再生を停止する

■を押します。

再生を一時停止する

リモコン:
再生中にⅡを押します。
再生を再開するときは、DVD SELECT ►を押します。

本体:
再生中にDVD ▷/Ⅱを押します。
再生を再開するときは、もう一度DVD ▷/Ⅱを押します。

ディスクの再生

MP3ディスクの基本操作

トラックを選ぶ

再生中に▶▶I(またはI◀◀)を押します。
▶▶I を押すと次のトラックを選びます。
I◀◀ を押すと再生中のトラックの頭出しをします。さらに押すと前のトラックを選びます。
• グループをまたいだ前後のトラックを選ぶこともできます。

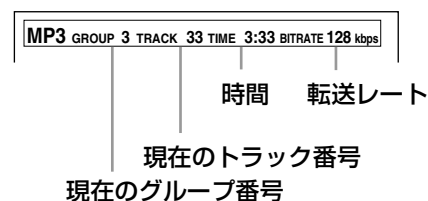
グループを選ぶ

再生中にSHIFTを押したまま▶▶I(またはI◀◀)を押します。
▶▶I を押すと次のグループを選びます。
I◀◀ を押すと前のグループを選びます。

テレビ画面でディスクの状態を見る

テレビ画面に再生中のディスクの状態を表示させて確認することができます。

ON SCREENを押す

テレビ画面の上部にディスクの状態が表示されます。

もう一度ON SCREENを押すと

テレビ画面の表示が消えます。

お知らせ

• MP3 ディスクでは、トラック単位のプログラム再生およびランダム再生はできません。（グループ単位のプログラム再生またはランダム再生ができます。）
• MP3 ディスクでは、早送り／早戻しできません。
• MP3 ディスクでは、A-B リピート再生はできません。
• 記録の状態によっては、転送レートの表示が変化することがありますが、故障ではありません。

数字ボタンを使ってグループ/トラックを指定する

グループを指定する

停止中に操作します。
数字ボタンを使ってグループ番号を指定して選びます。
グループ番号は99まで指定できます。
• 数字ボタンの使い方は、下の説明をご覧ください。

トラックを指定する

再生中に操作します。
数字ボタンを使ってトラック番号を指定して選びます。
トラック番号は254まで指定できます。
指定できるトラック番号は、同一グループ内のトラックに限られます。
• 数字ボタンの使い方は、下の説明をご覧ください。

数字ボタンの使い方

1〜10の番号を選ぶとき

数字ボタンの [1] 〜 [10] のいずれかを押します。

11以上の番号を選ぶとき

15番を選ぶ：[+10] ➡ [5]

20番を選ぶ：[+10] ➡ [10]

と押します。

21以上の番号を選ぶとき

25番を選ぶ：[+10] ➡ [+10] ➡ [5]

30番を選ぶ：[+10] ➡ [+10] ➡ [10]

または [+10] ➡ [+10] ➡ [+10] ➡ [0]

120番を選ぶ：[+10] ×12回 ➡ [0]

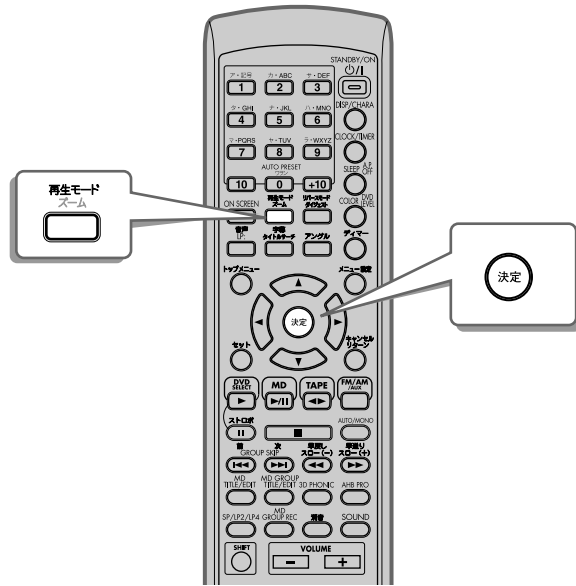
125番を選ぶ：[+10] ×12回 ➡ [5]

と押します。

再生中に時計やMDの録音残量表示を見るには

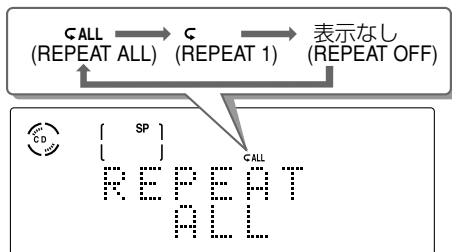
DISP/CHARAを押します。時計表示に切り換わります。
MDデッキにMDが入っているときは、DISP/CHARAを押すごとに、MDの録音残量表示➡時計表示と切り換わります。もう一度押すと、再生中の表示に戻ります。

MP3ディスクのリピート再生

MP3ディスクの全曲またはグループ内のトラックをくり返すことができます。
• **MP3ディスクを再生中または停止中に操作します。**

お知らせ

• 1トラックをくり返すことはできません。

1 再生モード/ズームを押す

「REPEAT」が表示されます。

2 決定を押してリピートモードを選ぶ

決定を押すごとに次のように変わります。

REPEAT ALL（全トラックリピート）：ディスク全体をくり返します。
REPEAT 1（グループリピート）：現在のグループ内のトラックをくり返します。

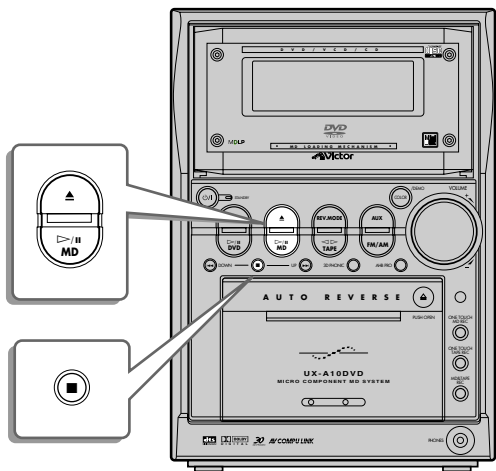
3 再生モード/ズームを押す

リピート再生のモードを解除する

1. 再生モード/ズームを押す
2. 決定をくり返し押して「OFF」を選ぶ
3. 再生モード/ズームを押す

次の操作をしてもリピート再生のモードが解除されます。
• 本体のDVD ▲を押してディスクを取り出す
• 電源を「切」にします。

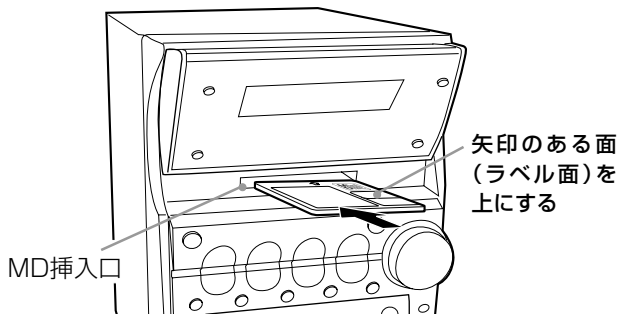
MDを聞く

本機のMDプレーヤーは、MD**LP**(「MD**LP**について」参照)で録音された曲の演奏に対応しています。

1 本体のMD ≜ を押す

電源が「入」になり電動パネルが上がってMD挿入口が現れます。

- MDが入っているときは、MDが出てきます。

2 MD挿入口にMDを入れる

矢印のある面を上にして、矢印の方向に向かって正しく差し込みます。**MDは途中から引き込まれ、電動パネルが自動で閉まります。**

ソース(音源)がMDの場合、「MD READING」と表示されたあと、曲数と総演奏時間が表示されます。ディスクにタイトルがあるときは、ディスクタイトルが表示されてから、総演奏時間が表示されます。長いタイトルはスクロール表示されます。

- ソース(音源)がMDの場合、未録音のMDを入れると「BLANK DISC」と表示されます。

3 本体:MD ▷/II を押す

リモコン:MD ▶/II を押す

演奏が始まります。
曲番号や演奏経過時間が表示されます。曲にタイトルがあるときは、曲タイトルが表示されてから、演奏経過時間が表示されます。長いタイトルはスクロール表示されます。

演奏が終わると自動停止します。

ご注意

- MDが引き込まれると、電動パネルは自動的に閉まります。途中で MD ≜ を押したり、電動パネルを無理に開閉しないでください。指先やMDが挟まれたり、故障の原因となります。

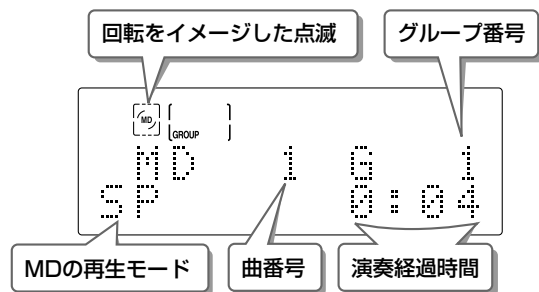
MDLPについて

MD**LP**はMD規格に適合し、従来の録音·再生モード(SP)に加えて、新しい音声圧縮技術方式**ATRAC3**を採用したステレオ2倍長時間録音·再生モード(LP2)またはステレオ4倍長時間録音·再生モード(LP4)の機能を持ったMDプレーヤー/レコーダー、または**ATRAC3**による音声録音されているMDメディア(レコーダブル·メディアを除く)に表示されています。

MDの再生モード

MDは録音したときの録音モード(SP、LP2、LP4)に従って演奏されます。演奏が始まると、その曲の再生モード(録音モードと一致します)が表示されます。

- **SP** :本機でステレオ録音したMDまたはMD**LP**に対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
- **LP2**:2倍長時間録音(ステレオ)したMDのとき
- **LP4**:4倍長時間録音(ステレオ)したMDのとき

MDを演奏中の表示

演奏を停止する

■ を押します。

- 総曲数と総演奏時間が表示されます。

MDを取り出す

MD ≜ を押します。
演奏が停止し、電動パネルが上がってMDが出てきます。
必ずMDを取り出してから、次の操作をしてください。

一時停止する

MD ▶/II を押します。
演奏経過時間が点滅します。
もう一度押すと、停止したところから演奏が始まります。

曲の頭出しをする(スキップ)

演奏中、▶▶I(または I◀◀)を押します。演奏中の曲(または後の曲)の頭出しができます。くり返し押すと、さらに前後の曲の頭出しができます。

- 停止中に押すと、1曲ごとの演奏時間が表示されます。途中の曲からテープに録音するときに便利です。

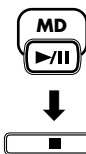
曲の早送り/早戻しをする(サーチ)

演奏中に▶▶(または ◀◀)を押します。
▶▶を押すと早送りします。
◀◀を押すと早戻しします。
演奏したいところでMD ▶/II を押します。

演奏中にタイトルなどを見るには

DISP/CHARAを押します。
グループタイトル、曲タイトル、現在時刻などが順番に表示されます。
停止中にDISP/CHARAを押すと、ディスクタイトルも見ることができます。

聞きたい曲を指定する(ダイレクト演奏)

リモコンの数字ボタンを使います。

1 **MD ▶/II を押してから ■ を押す**

ソース(音源)がMDになります。

2 **聞きたい曲を数字ボタン(1~10、+10)で選ぶ**

1~10の番号を選ぶとき

数字ボタンの [1] ~ [10] のいずれかを押します。

11以上の番号を選ぶとき

15番を選ぶ:[+10] ➡ [5]

20番を選ぶ:[+10] ➡ [10]

と押します。

21以上の番号を選ぶとき

25番を選ぶ:[+10] ➡ [+10] ➡ [5]

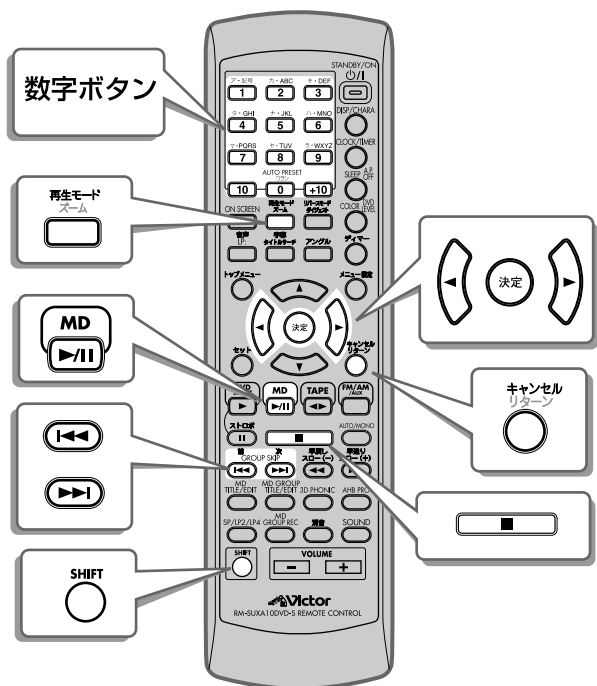
30番を選ぶ:[+10] ➡ [+10] ➡ [10]

と押します。

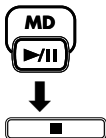
押した数字の曲番号が表示され、ダイレクト演奏が始まります。

- 演奏中も別の曲に変更できます。
  聞きたい曲番号を選んでください。

MDのプログラム演奏／ランダム演奏／グループ演奏

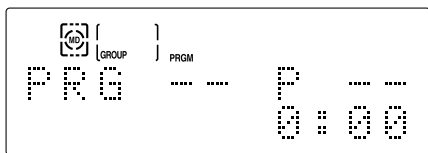
MDの演奏モードには、通常演奏の他に、プログラム演奏（PROGRAM）、ランダム演奏（RANDOM）、グループ演奏（GROUP）があります。
リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(➡ 54 ページ「MDのリピート演奏」参照)。
演奏を停止してから、リモコンを使って設定します。

プログラム演奏

MDに収録されている曲を好きな順番で最大32曲までプログラムして聞くことができます。

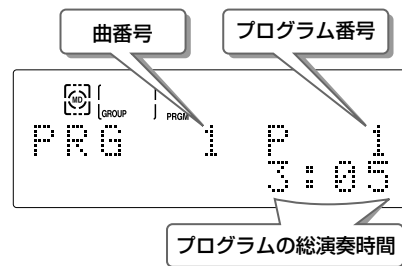
1 MD ▶/II を押してから■を押す

ソース（音源）がMDになります。

2 再生モード/ズームを押す

本体表示窓に「REPEAT」が表示されます。

3 カーソル▶（または◀）を押して「PROGRAM OFF」を表示させ、決定を押す

- すでにプログラムがされているときは、曲番号、プログラム番号が表示されます。

4 数字ボタンを押してプログラムする

最大 32 曲までプログラムすることができます。
同じ曲を何度も選ぶことができます。

- 数字ボタンの使いかたは、「ダイレクト演奏」（➡ 51 ページ）を参照してください。
- 番号を間違えたときは、**キャンセル/リターン**を押します。プログラムの最後の番号から順番に削除されます。
  キャンセル / リターンを押し続けると、プログラムの内容がすべて削除されます。
- 33 曲目をプログラムすると、「MEMORY FULL」と表示され、これ以上プログラムできません。
- MD に収録されていない曲番号は選べません。
- プログラムの総演奏時間が 2 時間 30 分以上になると、総演奏時間は「－－：－－」と表示されます。
- プログラムの操作を途中で止めるときは、**決定**を押してから**再生モード / ズーム**を押します。

5 MD ▶/II を押す

プログラムした曲の演奏が始まります。

- プログラムした曲の演奏がすべて終わると、自動停止します。
- 自動停止したあとプログラムを追加・修正するときは、**再生 / ズーム**を押して**カーソル ▶** で「PROGRAM」を選んでから手順 4 に従って操作します。
- プログラムした曲を録音するときは、**MD ▶/II** は押さないでください。演奏中の曲の 1 曲録音になってしまいます。

プログラムの内容を確認する

停止中に ▶▶I（または I◀◀）を押すと、プログラムの曲順を確かめることができます。

プログラム演奏を停止する

■ を押します。
プログラムの最後の曲番号と総演奏時間を表示して、演奏が停止します。プログラム内容は変更されません。

プログラム演奏のモードを解除する

停止中に操作します。

1. **再生モード/ズームを押す**
2. **カーソル▶（または◀）を押して本体表示窓で「PROGRAM」を選ぶ**
3. **決定を押す**
   本体表示窓に「PROGRAM OFF」が表示されます。
4. **再生モード/ズームを押す**
   プログラム内容は削除されません。再びプログラム演奏に切り換えると、同じプログラム内容で楽しむことができます。

プログラム内容をすべて削除する

本体の**MD ⏏**を押してMDを取り出す、または電源を「**切**」にします。

ランダム演奏

すべての曲を、ランダム(無作為)に選び出して演奏します。

1

MD ▶/II を押してから■を押す

ソース(音源)がMDになります。

2

再生モード/ズームを押す

本体表示窓に「REPEAT」が表示されます。

3

カーソル▶(または◀)を押して「RANDOM OFF」を表示させ、決定を押す

4

MD ▶/II を押す

最初の曲の曲番号が表示され、演奏が始まります。

- ▶▶I を押すと、現在演奏中の曲を飛ばして演奏します。
- I◀◀ を押すと、演奏中の曲の頭出しをします。前の曲には戻れません。
- 収録されている曲の演奏がすべて終わると自動停止します。
- 一度演奏した曲は、再び選曲されません。

ランダム演奏を停止する

■ を押します。

ランダム演奏のモードを解除する

停止中に操作します。

1. **再生モード/ズームを押す**
2. **カーソル▶(または◀)を押して本体表示窓で「RANDOM ON」を選ぶ**
3. **決定を押す**
   本体表示窓に「RANDOM OFF」が表示されます。
4. **再生モード/ズームを押す**

次の操作をしてもランダム演奏のモードが解除されます。

- 本体のMD ▲を押してディスクを取り出す
- 電源を「切」にします。

グループ演奏

本機のMDレコーダーには、新しい機能としてMDのグループ機能(➡ 68 ページ参照)があります。
登録したグループ単位で演奏できます。

1

MD ▶/II を押してから■を押す

ソース(音源)がMDになります。

2

再生モード/ズームを押す

本体表示窓に「REPEAT」が表示されます。

3

カーソル▶(または◀)を押して「GROUP OFF」を表示させ、決定を押す

4

MD ▶/II を押す

グループ1の最初の曲番号が表示され、演奏が始まります。

- グループが1つもないときは、通常演奏と同じになります。

グループ登録された曲の演奏がすべて終わると自動停止します。

グループ演奏を停止する

■ を押します。

同じグループ内の演奏曲を変える

▶▶I(またはI◀◀)を押します。
他のグループの曲や、グループ登録されていない曲を選ぶことはできません。

演奏グループを変える(グループスキップ)

グループ演奏中にSHIFTを押したまま▶▶I(またはI◀◀)を押します。

- 通常演奏中にグループスキップをすると、そのグループの最初の曲からMDの最後の曲まで演奏されます。

グループ演奏のモードを解除する

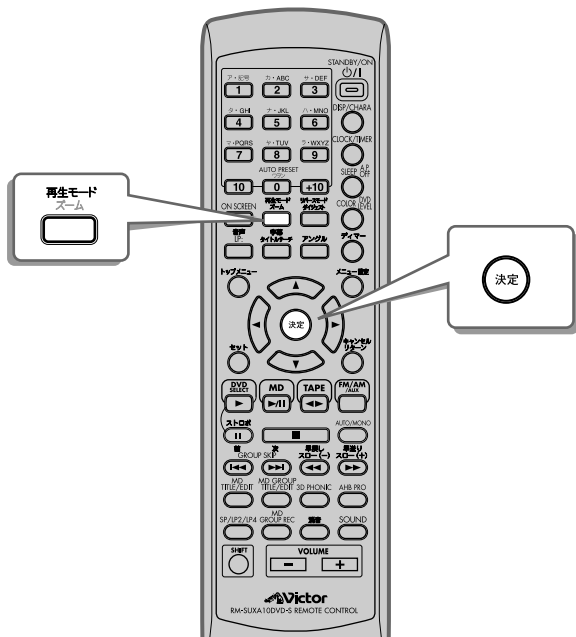
停止中に操作します。

1. **再生モード/ズームを押す**
2. **カーソル▶(または◀)を押して本体表示窓で「GROUP ON」を選ぶ**
3. **決定を押す**
   本体表示窓に「GROUP OFF」が表示されます。
4. **再生モード/ズームを押す**

次の操作をしてもグループ演奏のモードが解除されます。

- 本体のMD ▲を押してディスクを取り出す
- 電源を「切」にします。

MDのリピート演奏

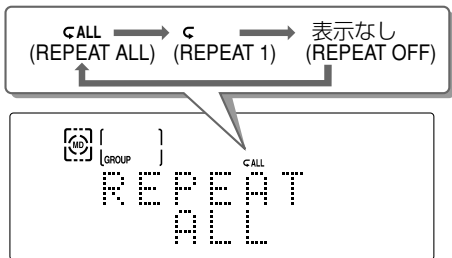
MDの演奏中や停止中に、聞きたい曲をくり返し演奏させることができます。
全曲リピート演奏(REPEAT ALL)と1曲リピート演奏(REPEAT 1)から選べます。
ソース(音源)がMDのとき、リモコンを使って設定します。

お知らせ

- リピート演奏中に、数字ボタンや ►►I (または I◄◄)で他の曲のリピート演奏に切り換えることができます。

1 再生モード/ズームを押す

本体表示窓に「REPEAT」が表示されます。

2 決定を押してリピートモードを選ぶ

決定を押すごとに次のように変わります。

REPEAT ALL（全曲リピート演奏）：MDの全曲をくり返し演奏します。演奏中に選ぶと、その曲から全曲演奏をくり返します。
プログラム演奏、ランダム演奏、グループ演奏と同時に使うことができます。

REPEAT 1（1曲リピート演奏）：現在演奏中の曲、またはこれから演奏する1曲をくり返します。

3 再生モード/ズームを押す

リピート演奏のモードを解除する

1. 再生モード/ズームを押す
   「REPEAT」が表示されます。
2. 決定をくり返し押して「OFF」を選ぶ
3. 再生モード/ズームを押す

次の操作をしてもリピート演奏のモードが解除されます。

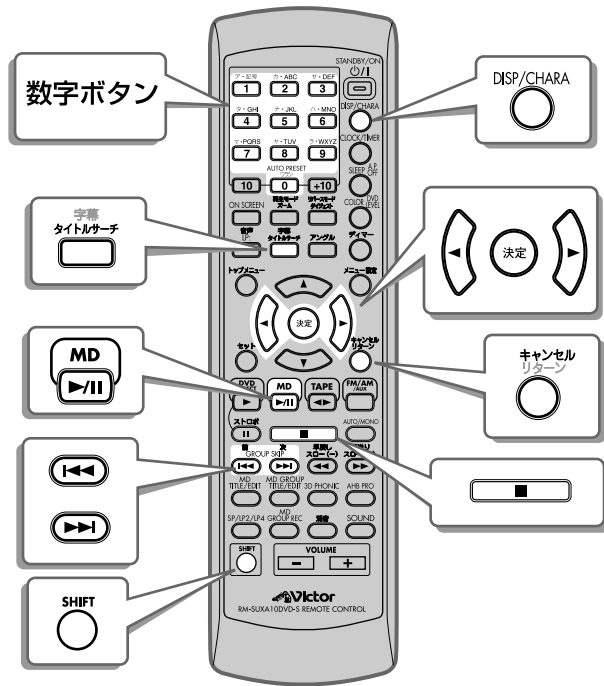
- 本体のMD ▲を押してディスクを取り出す
- 電源を「切」にします。

グループ演奏と組み合わせると

グループ演奏(➡ 53 ページ「グループ演奏」参照)と組み合わせると、下のようにくり返します。

REPEAT ALL：1つのグループ内の全曲をくり返します。
REPEAT 1：現在演奏中の曲またはこれから演奏する1曲をくり返します。

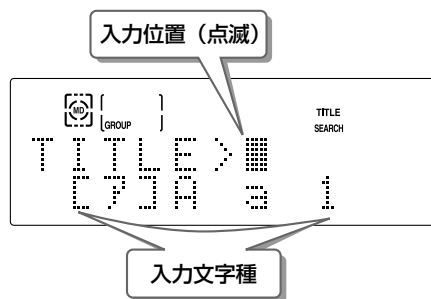
MDのタイトルサーチ

本機では、曲タイトルを探して(タイトルサーチ)演奏することができます。
タイトルを探したいMDを本機に入れておきます。

1 MD ▶/II を押してから■を押す

ソース(音源)がMDになります。

2 SHIFTを押したまま 字幕/タイトルサーチを押す

表示窓に入力表示が現れます。

- 演奏中のときは演奏が停止します。
- ソース(音源)がMD以外のときはタイトルサーチできません。

3 探したいタイトルを入力する

探したいタイトルの最初の1～5文字まで入力します。

例:「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルを曲番号順に探します。
「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを曲番号順に探します。

入力には次のボタンを使います。

DISP/CHARA	:文字の種類を切り換えます。
カーソル▶(または◀)	:入力位置を移動します。
数字ボタン(1～9、0)	:文字を入力します。
キャンセル/リターン	:入力位置の文字を消します。

- 詳しい入力方法は、「タイトルをつける」(➡ 66 ページ)を参照してください。
- 空白(スペース)も文字として扱われますが、空白(スペース)の後ろに文字がないときは、無視されます。
- 英大文字と英小文字は区別されます。
- タイトルが記録されていない曲(NO TITLE)を探すときは、何も入力しないで手順**4**に進みます。
- 途中でやめるときは、SHIFTを押したまま**字幕/タイトルサーチ**を押す、または ■ を押します。

4 決定を押す

「SEARCH」と表示され、タイトルサーチが始まります。
曲が見つかると演奏が始まります。
演奏が終わると再び次のタイトルサーチが始まります。

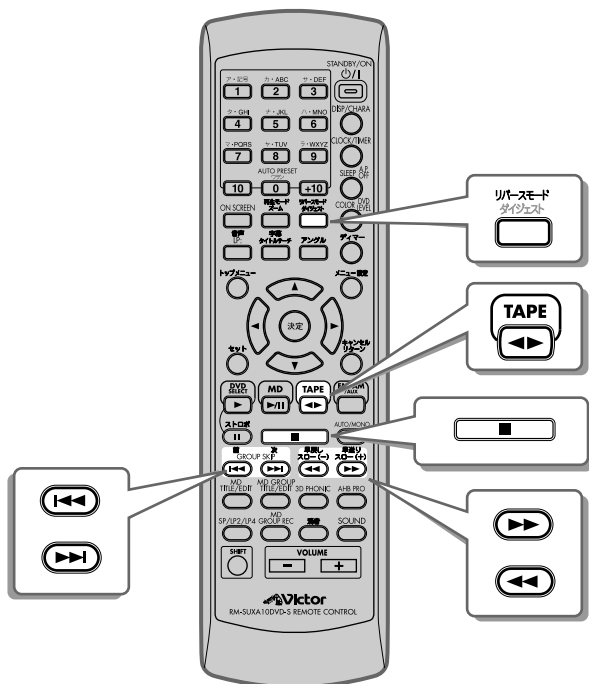
- 曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、自動停止します。

演奏を停止する

■ を押すと、タイトルサーチまたは演奏が停止します。

次の曲を探すには

▶▶I を押すと、「SEARCH」と表示され次の曲のタイトルサーチが始まります。曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、タイトルサーチが終了します。

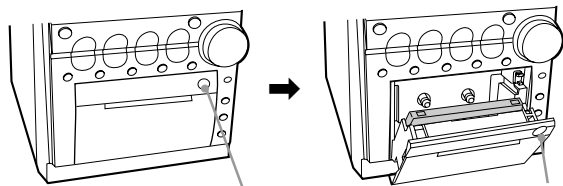
テープを聞く

ご注意

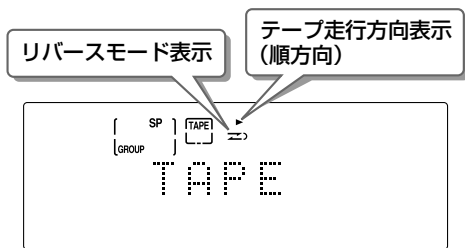
- テープにたるみがあると、機械内部に巻き込まれたり故障の原因となります。ご使用の前にたるみを取り除いてください(➡ 94 ページ参照)。
- **C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。**長い時間の録音または再生に便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。

お知らせ

- 本機は、ノーマルテープ(TYPE I)の再生に対応しています。ハイポジションテープ(TYPE II)やメタルテープ(TYPE IV)は、お勧めできません。再生すると音質が変わります。

1 カセットホルダーの⏏を押して開け、テープを入れる

A面を手前にし、テープの見える面を下にして入れます。

⏏ 表示部分を押して開ける　⏏ 表示部分を押して閉める

- C-90(90分)以下の長さのテープをご使用ください。
- カセットホルダーを閉めるときは、「カチッ」と音がするまで確実に押して閉めてください。

2 リバースモード/ダイジェストを押してリバースモードを選ぶ

押すごとに、表示窓のリバースモード表示は次のように切り換わります。

- ⇄ ：A面(おもて面)、またはB面(うら面)のみの**片道再生**
- ⇄) ：A面(おもて面)からB面(うら面)への**往復再生**
- (⇄) ：AB両面の**連続再生**(再生を停止するまでくり返し)

テープを取り出すとリバースモードは ⇄) に戻ります。

3 TAPE◄ ►を押す

テープの再生が始まります。

- TAPE ◄ ► を押すごとに、テープの走行方向が変わります。テープを入れた最初は、必ず**順方向(おもて面)から**走行します。
- テープのA面再生中は右向きのテープ走行方向表示(►)が、テープのB面再生中は左向きのテープ走行方向表示(◄)が表示されます。
- ⇄ または ⇄) で再生した場合、テープが巻き終わると自動停止します。

再生を停止する

■ を押します。
カセットホルダーを開けてテープを取り出すときは、必ず ■ を押してテープを止めてからカセットホルダーの ⏏ を押します。

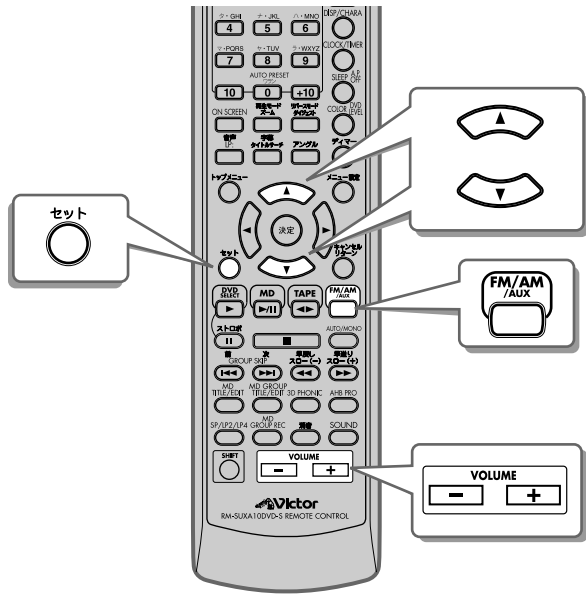
テープを早送り/巻き戻しする

►►(または◄◄)を押します。

- 順方向(►)の再生中は、►► が早送り、◄◄ が巻き戻しになります。
- 逆方向(◄)の再生中は、◄◄ が早送り、►► が巻き戻しになります。

※ ►►I(またはI◄◄)でも同様の操作ができます。

他の機器の音声を聞く

本機背面のAUX端子またはデジタル入力端子に接続した他のオーディオ機器の音声を楽しむことができます。
• ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

ご注意

• 接続するときは、接続する機器だけでなく、本体側も必ず電源を「切」にしてから接続してください。

1 本体背面のAUX端子またはデジタル入力端子に他の機器をつなぐ

(➡ 20 ページ「他の機器の接続」参照)

2 FM/AM/AUX(本体ではAUX)を押して、表示窓に「AUX」または「AUX-DIGITAL」と表示させる

ソース(音源)がAUXまたはAUX-DIGITALになります。

3 他の機器の演奏を始める

• 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

4 音量、音質などを調節する

(➡ 25 ページ「音を調節する」参照)

他の機器の音声入力レベルを調節する

AUX端子およびデジタル入力端子に接続した他の機器の音声入力レベルを調節することができます。

AUX端子からの音声入力レベルを調節する

ソース(音源)がAUXのとき操作します。

1 セット 入力レベルが表示されるまでセットを押し続け、レベルを選ぶ

セットを押し続けるごとに次のように切り換わります。

LEVEL1：他の機器からの音声入力レベルが大きいときに選びます。レベルが小さくなります。(お買い上げ時の設定)

↕

LEVEL2：他の機器からの音声入力レベルが小さいときに選びます。レベルが大きくなります。

• 表示された音声入力レベルは、約2秒で消えます。

デジタル入力端子からの音声入力レベルを調節する

ソース(音源)がAUX-DIGITALのとき操作します。

1 セット 入力レベルが表示されるまでセットを押し続ける

2 8秒以内にカーソル(▲/▼)を押してレベルを調節する

－12dB〜0dB〜＋12dBの範囲で調節できます。

録音する前に

本機では、MD への録音、テープへの録音、MD とテープへ同時録音の 3 種類の録音ができます。

MDに録音するとき

MDに録音できるソース(音源)

MD には、ディスク、ラジオ放送、テープ、接続した他の機器（AUX または AUX-DIGITAL）の音声が録音できます。

MDでできる録音

ステレオ長時間録音(MDLP)

全てのソース（音源）の音声を録音するときに使えます。
本機は、ステレオ長時間録音（**MDLP**）に対応しています。録音モード（SP：標準／LP2：2 倍長／LP4：4 倍長）の LP2 または LP4 を使うと、ステレオ音声のまま 2 倍長または 4 倍長の長時間で録音できます。(➡ 60 ページ「録音モードの設定」参照)

グループ録音

全てのソース（音源）の音声を録音するときに使えます。
録音開始から終わりまでを 1 つのグループとして録音することができます（お買い上げ時の設定)。
ステレオ長時間録音のとき、ディスクごとやアーティストごとに 1 つのグループにしておくと便利です。
- グループとして録音しない設定にすることもできます。(➡ 60 ページ「グループ録音の設定」参照)

オーディオCD/ビデオCDの1トラック録音

オーディオ CD/ ビデオ CD（PBC オフで再生中）の音声を録音するときに使えます。
再生中の 1 トラックだけを録音することができます。
(再生中に録音状態にすると、1 トラックのみ録音されます)

シンクロ録音

ディスクまたはテープの音声を録音するときに使えます。
ディスクまたはテープの再生開始と同時に MD の録音が開始します。
演奏が終了すると録音を終了します。

サウンドシンクロ録音

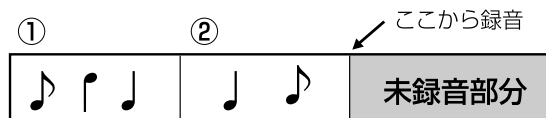
接続した他の機器（AUX または AUX-DIGITAL）の音声を録音するときに使えます。
接続した他の機器（AUX または AUX-DIGITAL）からの音声信号に反応して録音を開始します。30 秒以上音声が途切れると、録音を中止します。

トラックマークについて

MD には、曲ごとの頭の部分に曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間が「曲」としてみなされます。
- ディスクを録音するときは、曲の変わり目に自動でトラックマークがつきます。
- ラジオ放送、テープ、他の機器（AUX）のソース(音源)を録音中は、トラックマークをつけたいところでリモコンの**セット**を押してトラックマークをつけることができます。

お知らせ
- テープや他の機器（AUX）などアナログソースの録音中は、無音部分が 3 秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。また、30 秒以上の無音状態がつづくと、自動的に録音が停止します。

録音をする前に

- 大切な録音の場合は必ず試し録音をして、設定通りに録音できることをお確かめのうえ、ご利用ください。
- MD には最大 254 曲(トラック)まで録音することができます。
- オーディオ CD/ ビデオ CD の音は、デジタル信号のまま録音されます。
  CD-R/RW の音は、「SCMS CANNOT COPY」が表示された場合アナログ信号で録音されます。
  DVD ビデオ、MP3 ディスク、テープやラジオの音声はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。
- 途中まで録音してある MD のときは、その終わりを自動的に探して未録音部分の始まりから録音されます。

  テープのように上書きで録音することはできません。
  新たに録音し直すときは、**ALL ERASE** (➡ 76 ページ参照)で全部の曲を消してから録音してください。
- 録音をしながら MD に曲タイトルをつけることができます(➡ 65 ページ参照)。
- 録音中は、本機の音量・音質を変えても録音される音には影響ありません。

ご注意
- MD の録音 / 編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING」の表示中は注意してください。MD が演奏できなくなるおそれがあります。

MD カートリッジのラベルについて
- MD カートリッジのラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりもはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MD が取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

テープに録音するとき

録音に使うテープ

録音にはノーマルテープ（TYPE Ⅰ）を使います。他のテープは使えません。

テープに録音できるソース（音源）

テープには、ディスク、ラジオ放送、MD、接続した機器（AUX または AUX-DIGITAL）の音声が録音できます。

テープでできる録音

両面往復録音

全てのソース（音源）の音声を録音するときに使えます。
テープのリバースモードを往復（⊐⊃）に設定すると、テープのおもて面からうら面に続けて録音することができます。

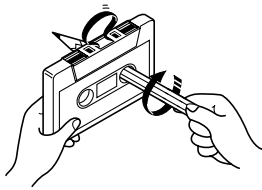
オーディオCD/ビデオCDまたはMDの1曲録音

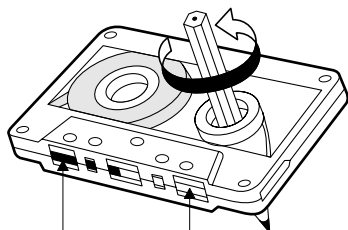
オーディオ CD/ ビデオ CD（PBC オフで再生中）または MD の音声を録音するときに使えます。
再生中の 1 トラックまたは 1 曲だけを録音することができます。（再生中に録音状態にすると、1 トラックまたは 1 曲のみ録音されます）

シンクロ録音

ディスクまたは MD の音声を録音するときに使えます。
ディスクまたは MD の演奏開始と同時にテープの録音が開始します。
演奏が終了すると録音を終了します。

録音をする前に

- テープに**たるみ**があると機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に図のようにして**たるみ**を取り除いてください。
  また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。

お知らせ

リーダーテープについて
テープの始まりと終わりには、録音できない部分(リーダーテープ)があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきます。

MDとテープに同時録音するとき

録音に使うテープ

録音にはノーマルテープ（TYPE Ⅰ）を使います。他のテープは使えません。

MDとテープに同時録音できるソース（音源）

ディスクの音声が録音できます。

MDとテープに同時録音でできる録音

MDのステレオ長時間録音（MDLP）

「MD でできる録音」（➡ 58 ページ）の「ステレオ長時間録音（MDLP）」をご覧ください。

MDのグループ録音

「MD でできる録音」（➡ 58 ページ）の「グループ録音」をご覧ください。

テープの両面往復録音

「テープでできる録音」（左の説明）の「両面往復録音」をご覧ください。

オーディオCD/ビデオCDの1トラック録音

オーディオ CD/ ビデオ CD（PBC オフで再生中）の音声を録音するときに使えます。
再生中の 1 トラックだけを録音することができます。
（再生中に録音状態にすると、1トラックのみ録音されます）

シンクロ録音

ディスクの音声を録音するときに使えます。
ディスクの再生開始と同時にテープおよび MD の録音が開始します。
再生が終了すると録音を終了します。

ご注意

- 3D フォニックの効果は、MD やテープに録音するときも有効です。必要ないときは、3D PHONIC を押して「OFF」にしてください。（➡ 31 ページ参照）
- 生演奏などで全体が 1 曲で録音されている MD をテープに往復録音するときは、あらかじめ DIVIDE 機能（➡ 74 ページ参照）を使ってテープ片面の長さに合わせて 2 曲に分けてください。

MDに録音する

ステレオ長時間録音（MDLP）について

本機はステレオ音声のまま2倍または4倍の長時間録音(**MDLP**)に対応しています。
1枚のMDに違うモード(SP: 標準/LP2: 2倍長時間/LP4: 4倍長時間)の曲を混在させて録音することもできます。
MDの録音残量表示は録音モードの設定に応じて変わります。

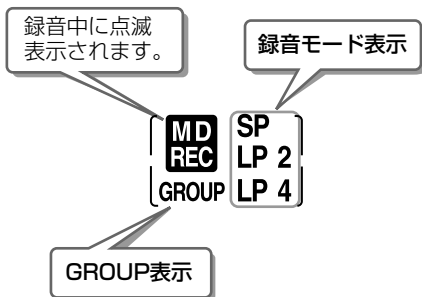
SP ：**標準のステレオ録音**
（MD80で最大80分の録音）
LP2 ：**2倍長時間録音(ステレオ)**
（MD80で最大160分の録音）
LP4 ：**4倍長時間録音(ステレオ)**
（MD80で最大320分の録音）
ラジオ放送の長時間録音などに使用すると便利です。

お知らせ

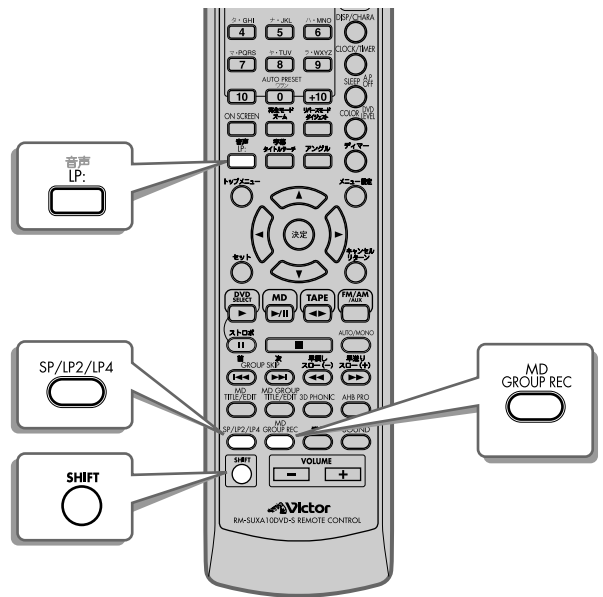
- 本機では、モノラル長時間録音はできません。
- 録音モードが長時間(SP→LP2→LP4)になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、SPモードにしてください。

ご注意

- 本機でステレオ長時間録音された曲は、「MD**LP**」の再生に対応した機器以外では演奏できません。曲タイトルの始めに**LP:** と表示され、無音状態になります。
「MD**LP**」に対応した機器で演奏すると、**LP:** は表示されません。
また、LP: をつけない設定にすることもできます。
- MDの編集をするとき、録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげる(JOIN)ことはできません。

MD状態表示について

DVDビデオ、CD-R/CD-RWディスクの録音

DVDビデオ、CD-RまたはCD-RWディスクの音声をMDに録音するとき、ONE TOUCH MD RECまたはMD&TAPE RECを押すと、表示窓に「SCMS CANNOT COPY」が表示されデジタル録音はできません。アナログ録音になります。

MDに録音する前の設定

録音モードの設定

事前に録音するソース（音源）を選んでから、ステレオ長時間録音（MDLP）のモードを設定します。

SP/LP2/LP4

SP/LP2/LP4を押して録音モードを設定する

ボタンを押すごとに録音モードが変わります。

LP:の設定

ステレオ長時間録音された曲の頭の部分にLP：をつける／つけないの設定をします。

SHIFT ＋ 音声 LP:

SHIFTを押したまま音声/LP:を押して設定する

(LP：) OFF：曲タイトルの頭にLP：がつきません。
(LP：) ON ：曲タイトルの頭にLP：がつきます。

グループ録音の設定

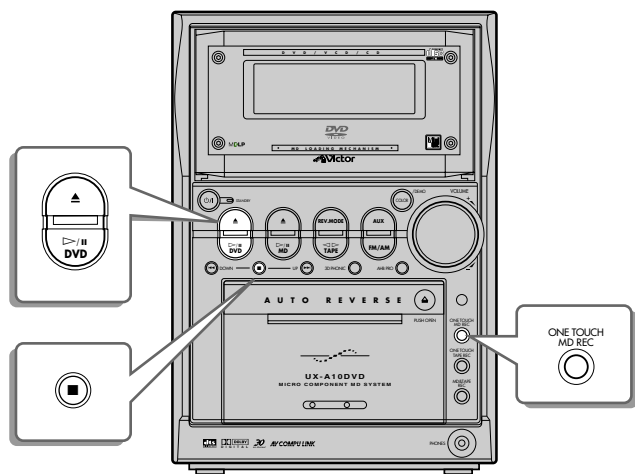
これから録音する曲や放送などを一つのグループとして登録するときMD GROUP ONに設定します。

MD GROUP REC

MD GROUP RECを押して設定する

MD GROUP ON ：グループとして録音します。MD状態表示のGROUP表示が点灯します。
MD GROUP OFF：グループとして録音しません。MD状態表示のGROUPは点灯しません。

ディスクの録音

ディスクのシンクロ録音やプログラムしたタイトル/トラックの録音、再生中のトラックだけを録音する1トラック録音などができます。
- 録音時の音量は自動的にコントロールされます。

1 DVD ▷/IIを押してから■を押す

ソース(音源)をDVDまたはCD(VCD)にします。
- ディスクのプログラム再生またはランダム再生を録音することもできます(➡ 42 ページ「ディスクのプログラム再生/ランダム再生」参照)。

2 録音用のMDを入れる

MDを入れると、電動パネルは自動的に閉まります。
録音モードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます(➡ 60 ページ「MDに録音する前の設定」参照)。
- 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡ 93 ページ参照)。

3 ONE TOUCH MD RECを押す

ディスクの再生とMDの録音が始まり、MD状態表示の 表示が点滅します。

表示窓の情報表示部には、録音中のディスクの種類と再生経過時間、MDの録音残量時間が表示されます。

録音が終わると、「WRITING」と表示して自動的に終了します。
- MDの録音残量時間がなくなると、自動停止します。

お知らせ

- DVDビデオを録音中は、字幕言語、音声言語、アングル、3Dフォニックの切り換え操作、再生モード/ズームを使った操作はできません。
- ビデオCDをPBC再生中の1トラック録音とMP3ディスクの1トラック録音はできません。

メニューが収録されているDVDビデオから録音するとき

- 「プログラム再生」(➡ 42 ページ参照)の操作をし、録音したいタイトルを選んでから手順3のONE TOUCH MD RECを押します。

または

- DVDビデオの録音を開始したいところでIIを押して一時停止してから、手順3のONE TOUCH MD RECを押します。

途中で録音をやめる

■ を押します。
- MDとディスクが同時に停止し、「WRITING」と表示して録音が終了します。

▶▶I または I◀◀ でトラック/グループ番号を指定する

オーディオCD/ビデオCDのとき:
指定したトラック番号以降のトラックを録音します。
- 手順3でONE TOUCH MD RECを押す前に操作してください。

MP3ディスクのとき:
指定したグループ番号の最初のトラック以降のトラックを録音します。
- 手順3でONE TOUCH MD RECを押す前に操作してください。

※ DVDビデオでは、この操作はできません。

再生中のトラックだけを録音をする(1トラック録音)

オーディオCD/ビデオCDのとき、1トラック録音ができます。
録音したいトラックの再生中(または一時停止中)に、ONE TOUCH MD RECを押します。
再生中のトラックの頭に戻り、そのトラックだけを録音して自動停止します。
- 1トラック録音が終わると、ディスクとMDが自動停止します。

※ DVDビデオ、MP3ディスクを再生中にONE TOUCH MD RECを押すと、その場所から録音が開始します。

表示窓の表示内容を切り換える

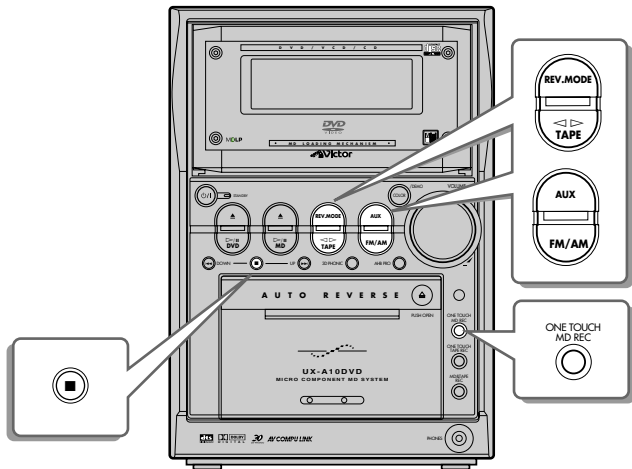
リモコンのDISP/CHARAを押すごとに、次のように切り換わります。

DVDビデオのとき:
録音中のディスクのタイトル番号・チャプター番号、MDの曲番号・グループ番号➡現在時刻➡録音中のディスクの種類と再生経過時間、MDの録音残量時間➡…と切り換わります。

オーディオCD/ビデオCDのとき:
録音中のディスクのトラック番号、MDの曲番号・グループ番号➡現在時刻➡録音中のディスクの種類と再生経過時間、MDの録音残量時間➡…と切り換わります。

MDに録音する (つづき)

ラジオ放送やテープ、他の機器の音声の録音

テープのシンクロ録音や他の機器からの録音はサウンドシンクロ録音ができます。
- 録音時の音量は自動的にコントロールされます。

ご注意

- 接続する外部機器や演奏する音量によっては、うまく録音できないことがあります。そのようなときは、外部機器側の出力レベル設定などをし直してください。
- 「WRITING」の表示中、本体やその設置場所に衝撃を与えないでください。MDの演奏ができなくなる原因となります。必ず「WRITING」の表示が消えてから、次の操作を行ってください。

お知らせ

- サウンドシンクロ録音では、ソース(音源)の音声信号に反応して自動的に録音が始まります。
  また、ソース(音源)の音が30秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。このとき、録音を終了したMDの空白時間は約2秒になります。
- 録音残量時間は、そのMDの録音に使われるMDモード(SP/LP2/LP4)に応じて異なります。
  例えば標準モードのSPで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP2)ではその2倍の約20分となります。

1 録音するソース(音源)を選ぶ

ソース(音源)	操作
ラジオ放送	**FM/AM**(リモコンでは**FM/AM/AUX**)を押してから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
テープ再生(TAPE)	再生するテープを入れ、**TAPE ◁ ▷**を押してから ■ を押す。そのあと**REV.MODE**を押してリバースモードを選ぶ。
他の機器の音声(AUXまたはAUX-DIGITAL)	**AUX**(リモコンでは**FM/AM/AUX**)を押して外部入力を選び、他の機器の演奏を準備する。 AUXまたはAUX-DIGITALのとき、あらかじめ他の機器の音声入力レベルを調節することもできます(➡ 57 ページ参照)。

2 録音用のMDを入れる

MDを入れると、電動パネルは自動的に閉まります。
録音モードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます(➡ 60 ページ「MDに録音する前の設定」参照)。
- 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡ 93 ページ参照)。

3 ONE TOUCH MD RECを押す

録音が始まり、MD状態表示の MD REC 表示が点滅します。
- テープ再生の場合、録音開始に合わせてテープ再生もスタートします(シンクロ録音)。
- 他の機器からの録音の場合、「AUX➡MD」と録音モードが表示されるのを待って、接続した機器の演奏を始めます。音声が入力されると、録音が自動的に始まります(サウンドシンクロ録音)。

トラックマーク(曲番号)をつける

ラジオ放送、テープまたは他の機器(AUX)の録音中に、曲の変わり目でリモコンの**セット**ボタンを押すとトラックマーク(曲番号)をつけることができます。録音が終わったあとでもMDの編集機能(➡ 74 ページ「曲を分ける(DIVIDE)」参照)でトラックマークをつけることができます。MD全体を1曲として録音したときなど、あとから「分ける・一部消去する」などの編集にお使いください。
なお、AUX-DIGITALの録音中は、手動でトラックマークをつけることはできません。

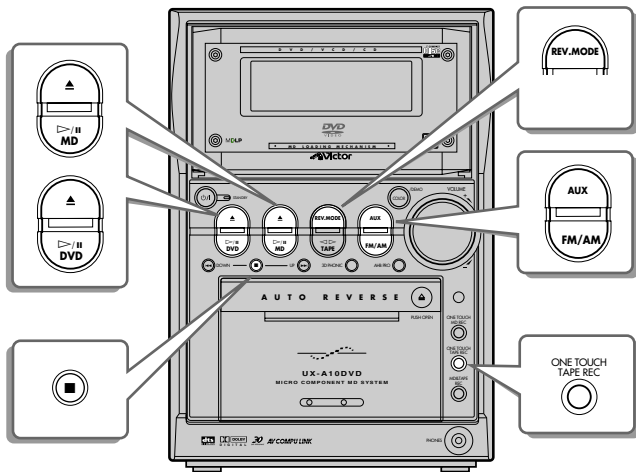
途中で録音をやめる

■ を押します。
- 「WRITING」と表示して録音が終了します。

表示窓の表示内容を切り換える

リモコンの**DISP/CHARA**を押すごとに、録音中のソース(音源)名とMDの録音残量時間、MDの曲番号・グループ番号、現在時刻などに切り換わります。

テープに録音する

ディスクまたはMDのシンクロ録音やプログラム録音、再生中の曲だけを録音する１曲録音ができます。
- オーディオCD/ビデオCD、MDのときは、曲間に4秒の**あき**(ブランク)を作って録音されます。録音時の音量は自動的にコントロールされます。
- 録音にはノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。他のテープは使えません。

1 録音用のテープを入れる

- ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。
- リーダーテープの部分は巻き取っておきます(➡ 59 ページ参照)。
- 途中まで録音した位置で止まっているテープを入れると、その位置から録音されます。

2 REV. MODEを押してリバースモードを選ぶ

- ⇄ ：片面のみ録音するとき
- ⇄⊃ ：A面(おもて面)からB面(うら面)へ往復録音するとき

3 録音するソース(音源)を選ぶ

ソース(音源)	操作
DVD または CD（VCD）	DVD ▷/IIを押してから ■ を押します。
MD	MD ▷/IIを押してから ■ を押します。
ラジオ放送	FM/AM(リモコンではFM/AM/AUX)を押してから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
他の機器の音声 (AUX または AUX-DIGITAL)	AUX(リモコンではFM/AM/AUX)を押して外部入力を選び、他の機器の演奏を準備する。 AUXまたはAUX-DIGITALのとき、あらかじめ他の機器の音声入力レベルを調節することもできます(➡ 57 ページ参照)。

4 ONE TOUCH TAPE RECを押す

録音が始まり、TAPE表示の下にREC表示が点滅します。
- ソース（音源）がCDまたはMDの場合、シンクロ録音機能によりディスクまたはMDの演奏が自動で始まり、終わるとテープも自動停止します。
- 録音中にCDまたはMDの一時停止や早送り/早戻しの操作はできません。
- ソース（音源）が他の機器の音声のときは、接続した機器の演奏を始めます。

途中で録音をやめる

■ を押します。
- 録音の一時停止はできません。もう一度、操作をやり直してください。

曲の途中でテープのうら面に反転する

ソース（音源）がオーディオCD/ビデオCDまたはMDのとき、録音中に曲の途中でA面(おもて面)からB面(うら面)に反転すると、その曲はもう一度頭からB面(うら面)に録音されます。ただし、A面への録音時間が**12秒以下**のときは、そのひとつ前の曲の頭からB面(うら面)に録音されます。

あき(ブランク)を作らずに録音する

DVD ▷/II またはMD ▷/II を2回押してから手順4の操作をします。

▶▶I または I◀◀でトラック/曲番号を指定する

ディスクの音声を録音するときは、「ディスクの録音」の「▶▶IまたはI◀◀でトラック/グループ番号を指定する」(➡ 61 ページ参照)をご覧ください。
ソース（音源）がMDのとき、指定した曲番号以降の曲を録音します。
- 手順4で ONE TOUCH TAPE RECを押す前に操作してください。

再生中のトラックまたは曲だけを録音をする(1トラック録音)

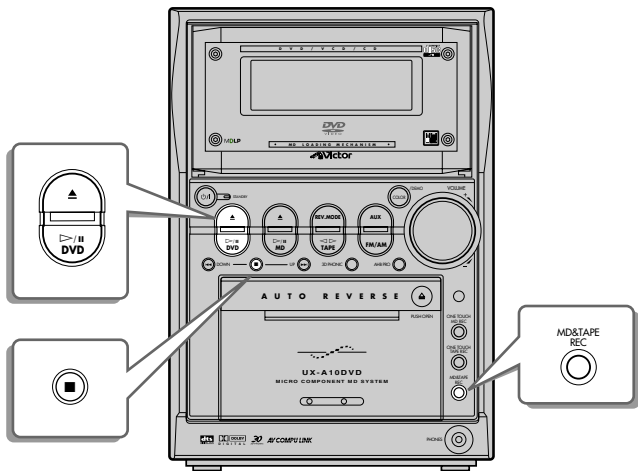
オーディオCD/ビデオCDまたはMDのとき、1トラック録音ができます。
録音したいトラック（曲）の再生中（または一時停止中）に、ONE TOUCH MD RECを押します。
再生中のトラック（曲）の頭に戻り、そのトラック（曲）だけを録音して自動停止します。
- 1トラック録音が終わると、ディスクまたはMDとテープが自動停止します。

※ DVDビデオを再生中にONE TOUCH MD RECを押すと、その場面から録音が開始します。

プログラム録音をする

はじめに録音したいトラック（曲）をプログラムしておきます(ディスクのプログラム再生 ➡ 42 ページ「プログラム再生」参照、MDのプログラム演奏➡ 52 ページ「プログラム演奏」参照)。DVD ►/II 、MD ►/II は押さないでおきます。次に、手順4の操作をします。

MDとテープに同時録音する

ディスクのシンクロ録音を、MDとテープへ同時に行ないます。
• 録音時の音量は自動的にコントロールされます。

お知らせ

• MDの録音残量時間に見合うよう、テープのリバースモードを選んでください。
• 録音の途中でテープが反転したときは、録音中の曲の一部が音切れになります。
• 録音残量時間は、そのMDの録音に使われる録音モード(SP/LP2/LP4)に応じて異なります。
例えばSPモードで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP2)ではその2倍の約20分となります。
• テープの録音には、曲間に4秒間のあき(ブランク)が作られません。

1 DVD ▷/II を押してから ■ を押す

ソース(音源)をDVDまたはCD(VCD)にします。

2 録音用のMDとテープを入れる

MDを入れると、電動パネルは自動的に閉まります。
録音モードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます(➡ 60 ページ「MDに録音する前の設定」参照)。
• 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡ 93 ページ参照)。
• ノーマルテープ(TYPE I)を使います。リーダーテープの部分は巻き取っておきます(➡ 59 ページ参照)。
• リバースモードを選ぶときは、REV. MODEを押して選びます。
• MDまたはテープのいずれかが入っていないときは、入っている方だけの録音になります。

3 MD&TAPE RECを押す

録音が始まり、MD録音表示のMD REC表示とTAPE表示の下のRECが点滅します。

録音が終わると、「WRITING」と表示して自動的に終了します。
• MDの録音残量時間がなくなると、MDへの録音は自動停止しますが、テープの録音はそのまま継続します。
• テープの録音残量時間がなくなると、テープへの録音は自動停止しますが、MDの録音はそのまま継続します。

途中で録音をやめる

■ を押します。
• MDとディスクが同時に停止し、「WRITING」と表示して録音が終了します。

▶▶I または I◀◀ でトラック/グループ番号を指定する

オーディオCD/ビデオCDのとき:
指定したトラック番号以降のトラックを録音します。
• 手順3でMD & TAPE RECを押す前に操作してください。

MP3ディスクのとき:
指定したグループ番号の最初のトラック以降のトラックを録音します。
• 手順3でMD & TAPE RECを押す前に操作してください。

※ DVDビデオでは、この操作はできません。

再生中のトラックだけを録音をする(1トラック録音)

オーディオCD/ビデオCDのとき、1トラック録音ができます。
録音したいトラックの再生中(または一時停止中)に、MD & TAPE RECを押します。
再生中のトラックの頭に戻り、そのトラックだけを録音して自動停止します。
• 1トラック録音が終わると、ディスクとMDが自動停止します。

※ DVDビデオを再生中にMD & TAPE RECを押すと、その場面から録音が開始します。

プログラム録音をする

はじめに録音したいトラックをプログラムしておきます(➡ 42 ページ「プログラム再生」参照)。DVD ►/II は押さないでおきます。次に、手順3の操作をします。

表示窓の表示内容を切り換える

リモコンのDISP/CHARAを押すごとに、録音中のディスクの種類と再生経過時間、録音残量時間、現在時刻などがくり返し表示されます。

タイトルをつける

リモコンを使って、MDにディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。

• **リモコンで操作します。**

タイトル編集について

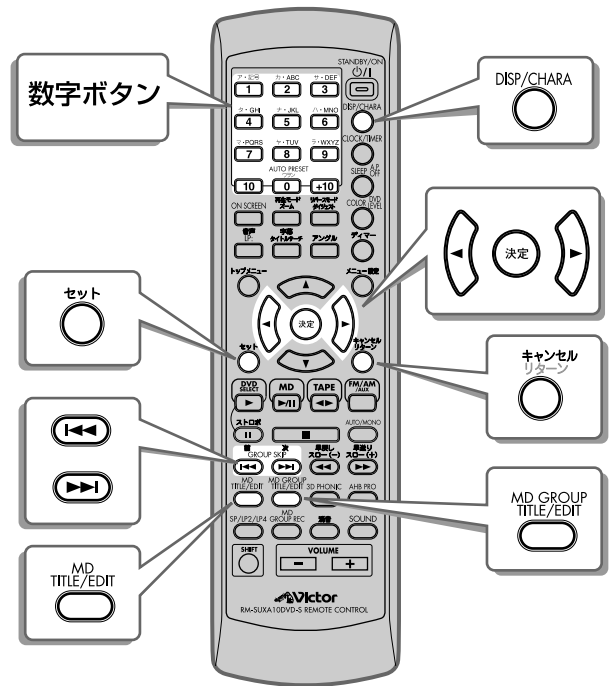
- タイトルは、**カタカナ**、**英大文字/英小文字**、**記号**、**数字**を使って**最大61文字まで**つけることができます。

  MDに入力できる文字数について

  1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字･記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。

  カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、スペース(空白)は文字と同じ量のデータを必要とします。

  ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭にLP: とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。

  例:
  - ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
  - ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。
- CDの録音中は、16曲分のタイトルを前もって入力できます(タイトルリザーブ機能)。
  ただし、録音する曲より多くのタイトルを入力すると、あまったタイトルは取り消されます。
- タイトル入力の操作をしたあとでMD ▲を押すと、MDが出てくる前に「WRITING」が点滅し、編集した内容がMDに記録されます。
  「WRITING」が点滅している間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でMD TITLE /EDITまたはMD GROUP TITLE/EDIT押すとタイトル入力はいつでも解除することができます。
- 再生専用MDにタイトルをつけることはできません。タイトルをつけようとすると「PLAYBACK DISC」と表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDにはタイトルをつけることができません。タイトルをつけようとすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏になっているとき、MD TITLE/EDITまたはMD GROUP TITLE/EDITを押してもタイトル入力はできません。
- 62文字以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。

1 MDを入れる

• 誤消去防止つまみを閉じておきます。

2 MD TITLE/EDITまたはMD GROUP TITLE/EDITを押してタイトル編集モードに切り換える

MD TITLE/EDIT
または
MD GROUP TITLE/EDIT

ディスクタイトル、曲タイトルを編集するとき

MD TITLE /EDITを押す

タイトル編集表示に切り換わります。

DISC TITLE?

グループタイトルを編集するとき

MD GROUP TITLE /EDITを押す

グループタイトル編集表示に切り換わります。

GR-- TITLE?

66 ページへ続く

3 カーソル▶（または◀）を押してタイトルをつけるディスク、曲またはグループを選ぶ

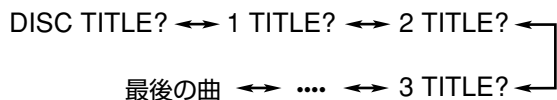
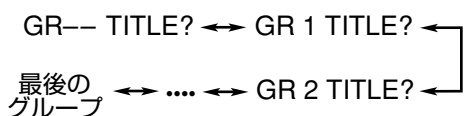
ディスクタイトル、曲タイトルを編集するとき

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

DISC TITLE? ↔ 1 TITLE? ↔ 2 TITLE? ↔ … ↔ 3 TITLE? ↔ 最後の曲

グループタイトルを編集するとき

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

GR–– TITLE? ↔ GR 1 TITLE? ↔ GR 2 TITLE? ↔ … ↔ 最後のグループ

MDの演奏中または特定の曲で停止中のときは、その曲の曲タイトル、またはその曲が含まれるグループのタイトル入力表示になります。
すでにタイトルが入力されているときは、そのタイトルの修正、追加、削除ができます。

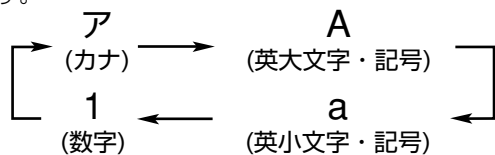
- ▶▶I（またはI◀◀）でも同様の操作ができます。

4 セットを押す

タイトル入力表示に切り換わります。

- タイトルが入力されているときは、入力位置にタイトルが表示されます。

5 DISP/CHARA*を押して入力文字を変更する

ボタンを押すごとに次のように文字の種類が切り換わります。

入力したい文字は 67 ページの「**文字配列表**」で確認してください。

* DISP/CHARA：DISPLAY（ディスプレイ）/CHARACTER（キャラクター）の略。

6 タイトルを入力する

数字ボタンを使って、1文字ずつ入力していきます。1つのボタンに複数の文字が割り当てられていますので、文字ごとに、そのボタンをくり返し押して表示させます。

例：「ス」と入力するとき

1）DISP/CHARAを押して、「ア」を反転表示させます。これで入力文字が「カナ」になります。
2）**数字ボタン「3」**を押すと、入力位置に「サ」と表示されます。
3）**数字ボタン「3」**をくり返し押すと、「**シ➡ス➡セ➡ソ➡サ**…」と順番に表示されます。合計3回押して入力位置に「ス」を表示させます。

手順5と手順6をくり返して好きなタイトルを入力してください。タイトルは61文字までつけられます。

文字の入力位置を移動させるには

カーソル▶（または◀）を押します。右（または左）に1文字分ずつ移動します。入力位置で文字を入力すると新しい文字が入力され、そこにあった文字は右に1文字分移動します。

文字を訂正するときは

訂正したい文字に入力位置を移動させて **キャンセル/リターン** を押します。入力位置の文字が消去されます。右側に文字があるときは左に1文字分つまります。

「空白」をつくるには

カーソル▶で入力位置を右に移動させるか、文字種「記号」からスペース(空白)を選びます。

- 「ウエ」「NO」のように、**同じボタンを使う入力が連続するときは**、**カーソル▶**を押して、文字の入力位置を右に1文字分移動させてから入力します。

途中でタイトル入力をやめるには

MD TITLE/EDITまたはMD GROUP TITLE/EDITを押します。入力途中のタイトルは変更されません。通常のモードに戻ります。

7 決定を押してタイトルを登録する

表示窓に「EDITING」が表示され、タイトルが登録されます。

- 次のタイトル入力表示が現われます。引き続き、タイトル入力を行うこともできます。演奏中は次の曲または次のグループの演奏になります。
- 最後の曲またはグループにタイトルをつけ終わると、MDの通常のモードに戻ります。
  演奏中は、ENTERを押すまで最後の曲またはグループがくり返し演奏されます。

8 キャンセル/リターンを押して タイトル入力を終了する

キャンセル/リターン

通常のモードに戻ります。

- MD TITLE/EDITまたはMD GROUP TITLE/EDITをくり返し押して、通常のモードに戻すこともできます。
- MDを取り出すときは、本体のMD ▲を押します。
  MDが出てくる前に「WRITING」表示が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

録音中のタイトル入力について

- MD TITLE/EDIT を押したときの曲、またはカーソル ►（または ◄）で選んだ曲にタイトルをつけます。
  GROUP TITLE/EDITを押したときのグループにタイトルをつけます。
- CD の録音中（1 曲録音は除く）は、16 曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することができます(タイトルリザーブ機能)。
- 録音が終了するまでに決定が押されなかったときは、その曲のタイトルは無効になります。

タイトル入力に使える文字・記号と数字

● 文字配列表

ボタン	カ　　ナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン 0	ワヲン ゛ー ゜			0

＊「記号」で表示できる内容

□スペース(空白)	!	”	#	$	%	&	’	(	)	＊	＋	
,	−	.	／	:	;	<	=	>	?	@	_	`

お知らせ

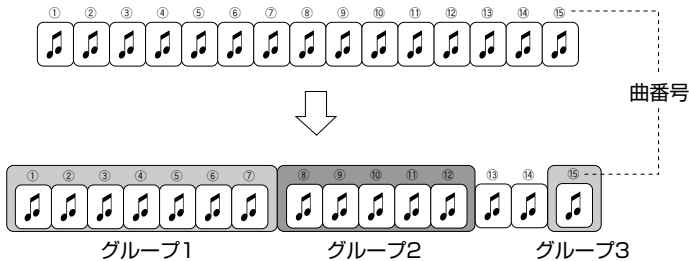
- 「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字以外には入れることができません。

MDを編集する

MDをグループ編集する

本機にはMDの新しい機能、グループ機能があります。ここでは、グループとその編集について説明します。

MDのグループ機能とは

ステレオ長時間録音（**MDLP**）によって１枚のMDに、今までよりも多くの曲（トラック）が録音できるようになりました。
MDのグループ機能は、曲（トラック）を最大99のグループに分けて登録することで、管理をより便利にするためのものです。

グループは、１曲（トラック）でも設定できます。また、連続する曲（トラック）をグループとして登録することができます。
MDのグループ機能には、次のものがあります。

- **グループ演奏**　：1つのグループの曲(トラック)だけを演奏します(➡ 53 ページ参照)。リピート演奏もできます。
- **グループ録音**　：録音と同時に、複数の曲(トラック)をまとめて1つのグループとして登録できます(➡ 58 ページ参照)。
- **グループタイトル**　：ディスクや曲(トラック)と同じように、グループにもタイトルをつけたり編集したりすることができます(➡ 65 ページ)。
- **グループ編集**　：右の項目をご覧ください。

MDのグループ編集

MDのグループ編集には次の８つの機能があります。これらの機能は、GROUP TITLE/EDITを押すごとに、「G TITLE？」に続いて呼び出されます。これらの機能を組み合わせて使うこともできます。

•「グループをつくる(FORM GR)」：
グループに属していない曲（トラック）から新しいグループを作ります。左の図で、13曲目と14曲目から４つめのグループを作ることです(➡ 69 ページ参照)。

•「グループに登録する(ENTRY GR)」：
曲をすでにあるグループに登録します。左の図で、13曲目をグループ２に登録することです(➡ 70 ページ参照)。

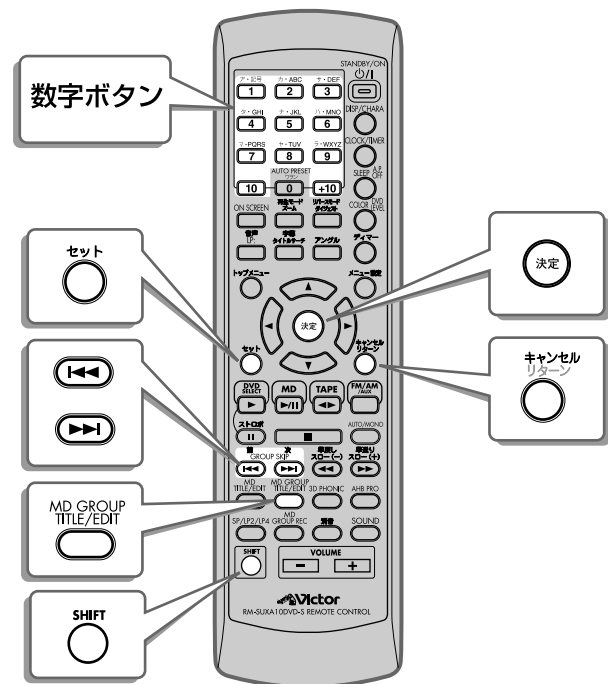
•「グループを分ける(DIVIDE GR)」：
１つのグループを２つに分けます。左の図で、グループ1を２つに分けてグループ総数を４にすることです(➡ 70 ページ参照)。

•「グループをつなげる(JOIN GR)」：
2つのグループをまとめて1つにします。左の図で、グループ1とグループ２を１つのグループにまとめることです(➡ 71 ページ参照)。

•「グループを移動する(MOVE GR)」：
グループの移動をします。左の図で、グループ２をグループ１の前に移動させることです(➡ 71 ページ参照)。

•「グループを解消する(UNGROUP)」：
１つのグループを解消します。曲（トラック）の削除はしません(➡ 72 ページ参照)。

•「全グループを解消する(UNGR ALL)」：
すべてのグループを解消して、グループのない状態にします。曲（トラック）の削除はしません(➡ 72 ページ参照)。

•「グループを削除する(ERASE GR)」：
グループと共にグループ内のすべての曲（トラック）を削除します。左の図で、グループ2を削除すると、8曲目から12曲目までが削除されます(➡ 72 ページ参照)。

お知らせ

- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏になっているときに、MD GROUP TITLE/EDITを押しても編集モードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でキャンセル/リターンまたはMD GROUP TITLE/EDITを押すと、編集操作を中止することができます。

グループをつくる(FORM GR)

どのグループにも登録されていない連続した曲から新しいグループをつくります。1曲でもグループにすることができます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD GROUP TITLE/EDITをくり返し押して「FORM GR?」を選ぶ

FORM GR?
YES?→SET

2 セットを押す

3 ▶▶|(または|◀◀)を押して新しいグループの先頭の曲を選び、セットを押す

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し演奏されます。
- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。

4 ▶▶|(または|◀◀)を押して新しいグループの最後の曲を選び、セットを押す

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し演奏されます。
- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは「CANNOT FORM!」と表示され、次の手順に進めません。
- やり直すときは、キャンセル/リターンを押します。
- 途中でやめるときは、MD GROUP TITLE/EDITを押します。

5 決定を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「グループを解消する」（➡ 72 ページ参照）の操作をします。

MDをグループ編集する (つづき)

グループに登録する(ENTRY GR)

曲を1つ選び、指定したグループの最後の曲として登録します。**登録したいグループにすでに登録されている曲は、登録できません。**
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD GROUP TITLE/EDIT
MD GROUP TITLE/EDITをくり返し押して「ENTRY GR?」を選ぶ

ENTRY GR?
YES?→SET

2 セット
セットを押す

3 または
►►I(またはI◄◄)を押してグループに登録する曲を選び、セット押す

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し演奏されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。

4 SHIFT ＋ または
SHIFTを押したまま►►I(またはI◄◄)を押して登録先のグループを選び、セットを押す

GROUP 1?
OK?→SET

- 演奏中は、選ばれた番号の曲がくり返し演奏されます。
- やり直すときは、**キャンセル/リターン**を押します。
- 途中でやめるときは、MD GROUOP TITLE/EDITを押します。

5 決定
決定を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- 登録ができないときは、「CANNOT ENTRY!」と表示され、手順4に戻ります。

もとに戻すときは

右の「グループを分ける（DIVIDE GR)」のあと「指定したグループを解消する（UNGROUP)（➡ 72 ページ参照）の操作をします。

グループを分ける(DIVIDE GR)

1つのグループを2つに分けます。新しくできる2つのグループのうち、後ろのグループの先頭の曲を指定します。グループ番号は付け直されます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD GROUP TITLE/EDIT
MD GROUP TITLE/EDITをくり返し押して「DIVIDE GR?」を選ぶ

DIVIDE GR?
YES?→SET

2 セット
セットを押す

3 SHIFT ＋ または
SHIFTを押したまま ►►I (または I◄◄) を押して分けるグループを選ぶ

4 または
►►I (または I◄◄)を押してどの曲から分けるかを選び、セットを押す

- 演奏中は、選ばれた番号の曲がくり返し演奏されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。
- 途中でやめるときは、**キャンセル/リターン**を押します。

5 決定
決定を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「グループをつなげる（JOIN GR)」(➡ 71 ページ参照）の操作をします。

グループをつなげる(JOIN GR)

となりあう2つのグループを1つのグループにします。タイトルがついているときは、番号が小さい方のグループタイトルが残ります。グループ番号は付け直されます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD GROUP TITLE/EDIT

MD GROUP TITLE/EDITをくり返し押して「JOIN GR?」を選ぶ

JOIN GR?
YES?→SET

2 セット

セットを押す

3 SHIFT ＋ ►►I または I◄◄

SHIFTを押したまま►►I(または I◄◄)を押してつなげるグループの組を選び、セットを押す

連続するグループ番号が、表示されます。グループがないときは「--」と表示されます。

- 2つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、つなげることはできません。
- 途中でやめるときは、**キャンセル**/リターンを押します。

4 決定

決定を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- グループの間に曲があったり、「--」と表示されたまま**決定**を押すと、「CANNOT JOIN」と表示され、手順3に戻ります。

もとに戻すときは

「グループを分ける(DIVIDE GR)」(➡ 70 ページ参照)の操作をします。

グループを移動する(MOVE GR)

1つのグループを指定したところへ移動させます。
グループ番号は付け直されます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD GROUP TITLE/EDIT

MD GROUP TITLE/EDITをくり返し押して「MOVE GR?」を選ぶ

MOVE GR?
YES?→SET

2 セット

セットを押す

3 SHIFT ＋ ►►I または I◄◄

SHIFTを押したまま►►I(または I◄◄)を押して移動させるグループを選び、セットを押す

例：グループ1のとき

G ←G 1?
OK?→SET

4 SHIFT ＋ ►►I または I◄◄

SHIFTを押したまま►►I(または I◄◄)を押して移動先を選び、セットを押す

例：グループ1をグループ3の前に移動

- やり直すときは、**キャンセル**/リターンを押します。
- 途中でやめるときは、MD GROUP TITLE/EDITを押します。

5 決定

決定を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

もう一度「グループを移動する(MOVE GR)」の操作をします。

MDをグループ編集する (つづき)

グループを解消する

指定したグループまたは全グループを解消して、曲のグループ登録をやめます。解消されたグループ内の曲は削除されません。グループ番号は、付け直されます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

指定したグループを解消する(UNGROUP)

1 MD GROUP TITLE/EDIT
MD GROUP TITLE/EDITをくり返し押して「UNGROUP?」を選ぶ

UNGROUP?
YES?→SET

2 セット
セットを押す

3 SHIFT ＋ ▶▶I または I◀◀
SHIFTを押したまま▶▶I(またはI◀◀)を押して解消するグループを選び、セットを押す

GROUP 1?
YES?→SET

• 途中でやめるときは、キャンセル/リターンを押します。

4 決定
決定を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全グループを解消する(UNGR ALL)

1 MD GROUP TITLE/EDIT
MD GROUP TITLE/EDITをくり返し押して「UNGR ALL?」を選ぶ

UNGR ALL ?
YES?→SET

2 セット
セットを押す

• 途中でやめるときは、キャンセル/リターンを押します。

3 決定
決定を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「グループをつくる（FORM GR)」（➡ 69 ページ参照）の操作をします。

グループを削除する(ERASE GR)

グループをMDから削除します。削除されたグループ内の曲も同時に削除されます。グループ番号と曲番号は、付け直されます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD GROUP TITLE/EDIT
MD GROUP TITLE/EDITをくり返し押して「ERASE GR?」を選ぶ

ERASE GR?
YES?→SET

2 セット
セットを押す

3 SHIFT ＋ ▶▶I または I◀◀
SHIFTを押したまま▶▶I(またはI◀◀)を押して削除するグループを選び、セットを押す

G 1 ERASE?
ERASE?→SET

• 途中でやめるときは、キャンセル/リターンを押します。

4 決定
決定を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

ご注意

• 一度削除した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください(➡ 93 ページ参照)。

曲を編集する

曲(トラック)編集とは

- MDの編集には「曲を分ける」、「曲をつなげる」、「曲を移動する」、「曲を削除する」、「全曲を削除する」があり、機能を組み合わせて使うこともできます。
- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏になっているときは、MD TITLE/EDITを押しても編集のモードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中で**キャンセル**/リターンまたは**MD TITLE/EDIT**を押すと、編集操作を中止することができます。

TITLE/EDIT を押すごとに、「DISC TITLE？」に続いて次の５つの機能が呼び出されます。

• 停止中または演奏中に、リモコンで操作します。

曲を分ける (DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。

曲をつなげる (JOIN)

トラックマークを削除して、1つ前の曲と1つにまとめます。

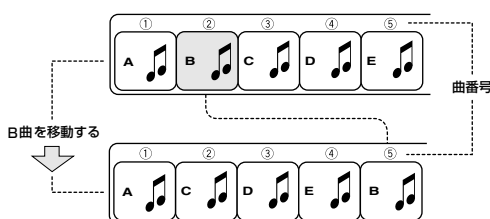
曲を移動する (MOVE)

好きな順番に曲を入れ換えます。

曲を削除する (ERASE)

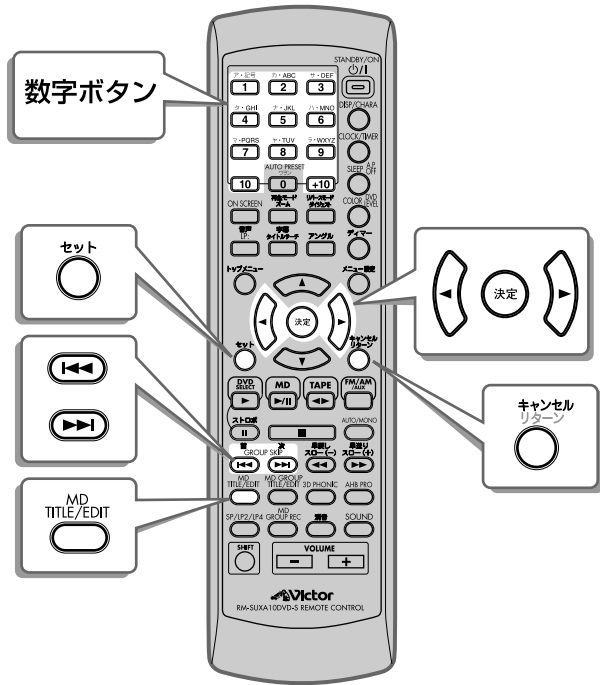
不要な曲やナレーションなど、削除したい曲を一度に15曲まで指定して削除することができます。曲番号があらたにふり直されます。

全曲を削除する (ALL ERASE)

全部の曲をすべて消去して、ブランクディスクにします。

お知らせ

トラックマークとは

曲ごとの頭の部分に頭出しのためについているマークのことです。トラックマークとトラックマークの間が曲としてみなされ、演奏順に番号表示されます。これが曲番号(**トラックナンバー**)です。

曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けることができます。
メドレーやFM放送などを録音したあとに曲番号を割り当てることができます。分けた曲以降の曲番号は自動的にふえます。

編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD TITLE/EDITをくり返し押して「DIVIDE?」を選ぶ

DIVIDE ?
YES?→SET

2 セットを押す

MDが停止中のときは、1曲目の演奏が始まります。
演奏中のときは、演奏が継続します。

3 ►►|(または|◄◄)を押して編集したい曲を選ぶ

• 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。

4 曲を分けたいところでセットを押す

セットを押したところから3秒間(SP:標準モード時)がくり返し演奏されます。

POSIT. 0
OK?→SET

• 希望どおりに分けられたときは、手順**6**に進みます。
• 分けたいところをやり直すときは、**キャンセル**/リターンを押します。
• 曲の頭やナレーションなどに食い込んでいるときは、手順**5**へ進みます。分ける場所が微調節できます。

5 カーソル►(または◄)を押して微調節する

±128ポジション(約±8秒)の範囲で分けるところが調節できます。
トラックマークが少しずつ移動し、移動したところから3秒後までがくり返し演奏されます。

• 分けたいところをやり直すときは、**キャンセル**/リターンを押します。

6 セットを押す

• 途中でやめるときは、MD TITLE /EDITを押します。

7 決定を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「曲をつなげる（JOIN）」（➡ 75 ページ参照）の操作をします。

曲を分けることができないMD

254曲録音してあるMDなどは、手順7で**決定**を押すと「DISC FULL」が表示されます。

曲をつなげる(JOIN)

不要なトラックマークを取り除いて、連続する2つの曲を1曲にまとめることができます。
JOINをすると曲番号はつけ直されます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD TITLE/EDIT

MD TITLE/EDITをくり返し押して「JOIN?」を選ぶ

2 セット

セットを押す

3 ▶▶| または |◀◀

▶▶|(または|◀◀)を押してつなげたい曲を選ぶ

1+ 2 ?
OK?→SET

表示は「1+2？」「2+3？」のように次々と変わっていきます。

- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。

4 セット

セットを押す

- つなげる曲を選び直すときは、**キャンセル**/リターンを押します。
- 途中でやめるときは、MD TITLE/EDITを押します。

5

決定を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「曲を分ける（DIVIDE）」（➡ 76 ページ参照）の操作をします。

つなげることがができない曲またはMD

- 録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげることはできません。つなげようとすると「CANNOT JOIN」が表示されます。
- 1曲しか録音されていないMDなどは、曲をつなげることができません。

曲を移動する(MOVE)

1つの曲を指定したところへ移動させます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD TITLE/EDIT

MD TITLE/EDITをくり返し押して「MOVE?」を選ぶ

MOVE ?
YES?→SET

2 セット

セットを押す

3 ▶▶| または |◀◀

▶▶|(または|◀◀)を押して移動したい曲を選び、セットを押す

表示は「 ← 2？」「 ← 3？」のように変わります。

- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 曲番号を選び直すときは、**キャンセル**/リターンを押します。

4 ▶▶| または |◀◀

▶▶|(または|◀◀)を押して移動先の曲を選び、セットを押す

例：2曲目を7番目に移動する

- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。
- 移動先の曲がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲がグループ登録されていないときは、移動後にグループ登録からはずれます。
- 移動先の曲を選び直すときは、**キャンセル**/リターンを押します。
- 途中でやめるときは、MD TITLE/EDITを押します。

5 決定

決定を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

曲の移動ができないMD

1曲しか録音されていないMDなどは、曲の移動ができません。

曲を編集する（つづき）

曲を削除する(ERASE)

指定した曲を削除します。最大15曲まで1回の操作で削除することができます。
曲番号は付け直されます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD TITLE/EDIT

MD TITLE/EDITをくり返し押して「ERASE?」を選ぶ

ERASE?
YES?→SET

2 セット

セットを押す

3 ▶▶| または |◀◀

▶▶|(または|◀◀)を押して消したい曲を選ぶ

表示窓に消したい曲の曲番号が表示されます。
- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲を直接選ぶこともできます。

4 セット

セットを押す

曲番号の前に「✓」がつきます。「✓」のついている曲が消えます。
- 間違えたときは、**キャンセル**/リターンを押して「✓」を消します。
- 手順**3**と手順**4**をくり返すと15曲まで選ぶことができます。
 16曲目を選ぶと「MEMORY FULL」が表示されます。

5 決定

決定を押す

- やりなおすときは、**キャンセル**/リターンを押します。
- 途中でやめるときは、MD TITLE/EDITを押します。

6 決定

決定を押す

指定した曲が削除されます。
「EDITING」が表示されたあと「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全曲を削除する(ALL ERASE)

MDに録音されている曲をすべて消去して**ブランクディスク**にします。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 MD TITLE/EDIT

MD TITLE/EDITをくり返し押して「ALL ERASE?」を選ぶ

ALL ERASE?
YES?→SET

2 セット

セットを押す

- 途中でやめるときは、**キャンセル**/リターンを押します。

3 決定

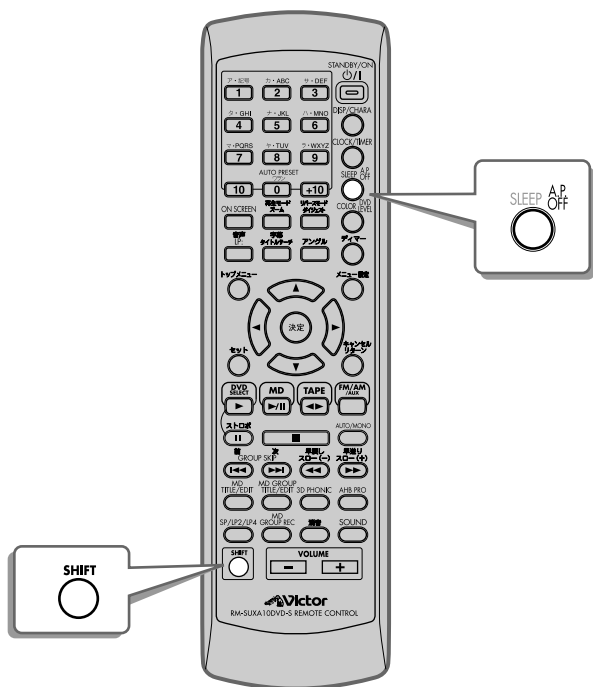
決定を押す

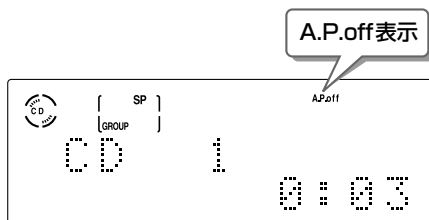
「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、その後、「BLANK DISC」が表示されます。

ご注意

- 一度消去した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください（➡ 93 ページ参照）。

オートパワーオフ機能を使う

本機にはラジオ放送以外のソース（音源）の無音状態が３分以上続くと、自動的に電源が「**切**」になるオートパワーオフ機能があります。

1 SHIFTを押したまま SLEEP/A.P.OFFを押す

A.P.off 表示が点灯します。

オートパワーオフを設定すると

オートパワーオフ機能を設定すると、表示窓の A.P. off 表示が点灯します。
オートパワーオフ機能が動作すると、表示窓の A.P. off 表示が点滅に変わります。

オートパワーオフの動作

ディスク、MD またはテープを再生しているとき：
録音しているとき：
再生または録音が終了すると、オートパワーオフ機能が動作し、何の操作もせずに３分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。
３分以内に再生または録音の操作をしたときは、再生または録音が終了してから再度オートパワーオフ機能が動作します。
再生または録音以外の操作をしたときは、最後に操作が行われてから何の操作もせずに３分間が経過すると、自動的に電源が「**切**」になります。

他の機器の音声を聞いているとき：
無音状態になるとオートパワーオフ機能が動作し、何の操作もせずに3分以上無音が続くと、自動的に電源が「**切**」になります。

電源が「**切**」になる 20 秒前になると表示窓の情報表示部に「AUTO POWER OFF」と点滅表示されます。

オートパワーオフを解除する

SHIFT を押したまま SLEEP/A.P. OFF をもう一度押します。
A.P. off 表示が消灯します。

タイマーを使う

本機では、「REC TIMER」「DAILY TIMER」「SLEEP TIMER」の3種類のタイマー機能を使うことができます。

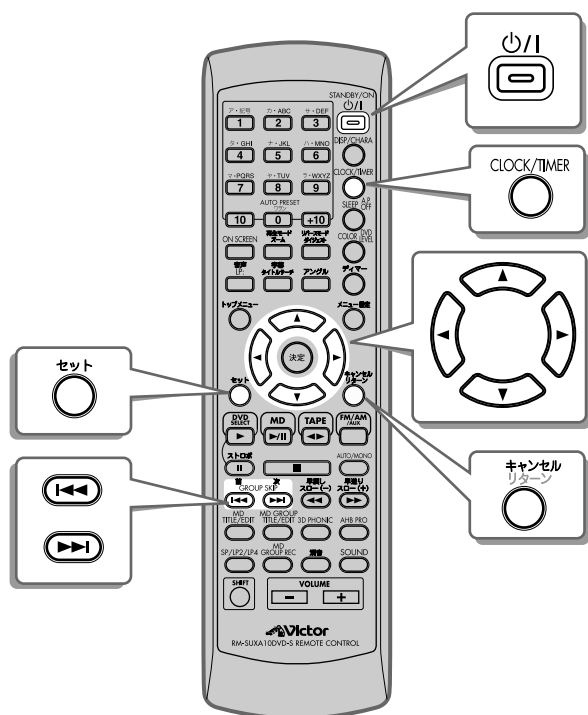
タイマー操作をする前に

タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください(➡ 23 ページ参照)。

- 時計合わせをしていないと、タイマーは働きません。

RECタイマー(録音タイマー)

留守中などにラジオ番組やAUX端子またはデジタル入力端子に接続した機器から留守録音をするときに使います。
開始時刻(電源が**「入」**になる時刻)、終了時刻(電源が**「切」**になる時刻)、録音する放送局または録音する機器を設定します。
設定後に1回だけ動作します。

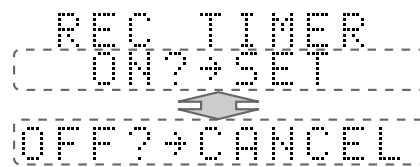
- リモコンで操作します。
- 電源**「入/切」**どちらの状態でも設定できます。

ご注意

- 他の機器を接続して留守録音をするときは、タイマー機能のついた機器をご使用ください。
- REC タイマーで FM または AM をソース(音源)に選ぶときは、あらかじめ放送局をプリセットしておく必要があります(➡ 27 ページ「放送局を記憶させる(プリセット)」参照)。
- 電源「**入**」の状態では REC タイマーが動作しません。

お知らせ

- 「RECタイマー」で設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「RECタイマー」の設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

1 CLOCK/TIMER

CLOCK/TIMERを押して「REC TIMER」と表示させる

2 セット

セットを押す

REC TIMER
FM

3 ▶▶I または I◀◀ と セット

▶▶I(または I◀◀)とセットを使ってタイマーの設定をする

設定をやり直すときは**キャンセル**/リターンを押します。一つ前の設定に戻ります。

MDに録音するとき : 録音用のMDを忘れずに入れておきます。
テープに録音するとき: 録音用のテープ(ノーマルテープ)を忘れずに入れておきます。

① 録音するソース(音源)を選ぶ

▶▶I または I◀◀ をくり返し押して、録音するソース(音源)を選んでからから**セット**を押します。
▶▶I または I◀◀ を押すごとに、ソース(音源)が次のように切り換わります。

- **カーソル▶**(または◀)を押しても同様の操作ができます。

FMまたはAMをソース(音源)に選んだとき:
放送局の設定に移ります。▶▶I または I◀◀ をくり返し押して、本機に記憶されているプリセット番号から録音する放送局を選び、**セット**を押します。
- **カーソル▲**(または▼)を押しても同様の操作ができます。

AUXまたはAUX-DIGITALを選んだとき:
手順 ② に進んでください。

② 録音先(MDまたはTAPE)を選ぶ

▶▶I または I◀◀を押して、録音先を選んでから**セット**を押します。
▶▶I または I◀◀を押すごとに、「MD REC」と「TAPE REC」に切り換わります。

MD RECを選んだとき:
セットを押すと、録音モードの設定に移ります。▶▶I または I◀◀ をくり返し押して、録音モード(SP:標準/LP2:2倍長/LP4倍長)を選び、**セット**を押します。

TAPE RECを選んだとき:
「TAPE REC」を選んだあと**セット**を押します。

- **カーソル▶**(または◀)を押しても同様の操作ができます。

③ 開始時刻の設定

▶▶I または I◀◀ をくり返し押して「時」を設定してから**セット**を押します。次に ▶▶I または I◀◀ をくり返し押して「分」を設定してから**セット**を押します。
- ▶▶I(または I◀◀)を押し続けると、連続して変わります。

例:開始時刻を午後 1 時 15 分にするとき

```
REC TIMER
  ON 13:15
```

④ 終了時刻の設定

▶▶I または I◀◀ をくり返し押して「時」を設定してから**セット**を押します。次に ▶▶I または I◀◀ をくり返し押して「分」を設定してから**セット**を押します。
- **カーソル▲**(または▼)を押しても同様の操作ができます。
- ボタンを押し続けると、連続して変わります。

例:終了時刻を午後 2 時 15 分にするとき

```
REC TIMER
  OFF14:15
```

終了時刻の設定が終わると、REC タイマーの設定は終わりです。

REC タイマーの設定が終わると
表示窓に設定内容が一通り表示されます。

電源「入」で REC タイマーの設定をしているとき

4 ⏻/I を押して電源を「切」にする

表示窓に ⏲ とREC表示が点灯してることを確認してください。

- タイマーの開始時刻になるとRECタイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「**切**」になり、RECタイマーが解除されます。
- タイマー動作中は、スピーカーから音は出ません。

RECタイマーを解除する

設定を解除するには、手順 **2** で**セット**を押さないで**キャンセル / リターン**を押します。
⏲と **REC** 表示が消えます。

RECタイマーを再設定する

REC タイマーの設定内容は記憶されています。
再設定をするには、手順 **2** で**セット**をくり返し押します。
⏲と **REC** 表示が点灯します。

MDのグループ録音の設定について

RECタイマーで MD に録音するとき、グループ録音の設定は、REC タイマーを設定する前または設定が終了してから行います。REC タイマー設定中は、**MD GROUP REC** を押しても設定を変えることはできません。
電源「切」で REC タイマーを設定したあと、グループ録音の設定を変更するときは、電源を「入」にしてから **MD GROUP REC** を押してください。

タイマーを使う（つづき）

DAILYタイマー（目覚ましタイマー）

目覚ましのように毎日同じ時刻に動作するタイマーです。
開始時刻（電源が「入」になる時刻）、終了時刻（電源が「切」になる時刻）、聞きたいソース（音源）、音量を設定します。
タイマーが動作を始めるとき、音量は徐々に大きくなります(ウェイクアップボリューム機能)。

- **目覚ましタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください**(➡ 23 ページ参照)。
- リモコンで操作します。
- 電源「**入/切**」どちらの状態でも設定できます。

1 CLOCK/TIMERを押して「DALY TIMER」と表示させる

CLOCK/TIMER

2 セットを押す

セット

DAILY TIMER
CD

3 ►►I（または I◄◄）とセットを使ってタイマーの設定をする

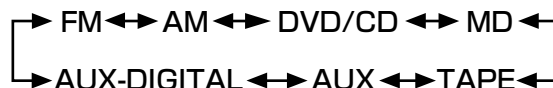
►►I または I◄◄ と セット

設定をやり直すときは**キャンセル**/リターンを押します。一つ前の設定に戻ります。

① 演奏するソース（音源）を選ぶ

►►I またはI◄◄をくり返し押して、演奏するするソース（音源）を選んでからから**セット**を押します。
►►I またはI◄◄を押すごとに、ソース（音源）が次のように切り換わります。

- **カーソル►**（または◄）を押しても同様の操作ができます。

→ FM ↔ AM ↔ DVD/CD ↔ MD ←
→ AUX-DIGITAL ↔ AUX ↔ TAPE ←

FMまたはAMをソース（音源）に選んだとき：
放送局の設定に移ります。►►I または I◄◄ をくり返し押して、本機に記憶されているプリセット番号から受信する放送局を選び、**セット**を押します。

- **カーソル▲**（または▼）を押しても同様の操作ができます。

ご注意

- 他の機器を接続して演奏するときは、タイマー機能のついた機器をご使用ください。
- DVDビデオやビデオCDの場合、メニュー画面が表示されると待機状態になるものがあります。このようなディスクをDAILYタイマーで使用すると、連続して音声や映像が再生されません。ご注意ください。
- 電源「**入**」の状態ではDAILYタイマーが動作しません。

お知らせ

- DVD/CDやMD、TAPEを選んだときは、それぞれ演奏用のディスクやMD、テープの準備をしておきます(➡ 28 50 56 ページ参照)。
- ソース（音源）にFMまたはAMを選んだときは、**セット**を押したあとに、►►I（または I◄◄）を押してプリセット番号を選びます。
- ディスクやMDの演奏は、収録されている1曲目から始まります。ダイレクト演奏、プログラム演奏、ランダム演奏はできません。
- 「DAILYタイマー」で設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「DAILYタイマー」の設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

② 開始時刻の設定

▶▶I または I◀◀ をくり返し押して「時」を設定してからセットを押します。次に ▶▶I または I◀◀ をくり返し押して「分」を設定してからセットを押します。
- カーソル▲(または▼)を押しても同様の操作ができます。
- ボタンを押し続けると、連続して変わります。

例：開始時刻を午前6時30分にするとき

③ 終了時刻の設定

▶▶I または I◀◀ をくり返し押して「時」を設定してからセットを押します。次に ▶▶I または I◀◀ をくり返し押して「分」を設定してからセットを押します。
- カーソル▲(または▼)を押しても同様の操作ができます。
- ボタンを押し続けると、連続して変わります。

例：終了時刻を午前7時45分にするとき

④ タイマー動作中の音量の設定

▶▶I または I◀◀ を押して、タイマー動作中の音量を設定してから、セットを押します。
- 「VOLUME－－」を選ぶと、電源を「切」にするときの音量で演奏されます。
- カーソル▲(または▼)を押しても同様の操作ができます。
- ボタンを押し続けると、連続して変わります。

音量の設定が終了するとタイマーの設定は終わりです。

DAILY タイマーの設定が終わると
表示窓に設定内容が一通り表示されます。

電源「入」でDAILYタイマーの設定をしているとき

4 ⏻/I を押して電源を「切」にする

表示窓に ⏲ とDAILY表示が点灯してることを確認してください。

- タイマーの開始時刻になるとDAILYタイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「切」になります。
- DAILYタイマーは、タイマーの設定を解除するまで毎日同じ時刻にスタートします。

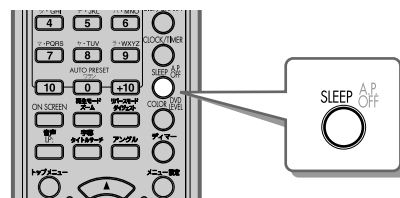
DAILYタイマーを解除する(休日前夜など)

DAILYタイマーの設定内容は記憶されています。
設定を解除するには、手順2でセットを押さないでキャンセル/リターンを押してください。⏲とDAILY表示が表示窓から消えます。

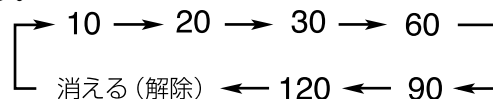
DAILYタイマーを再設定する(出勤・登校の前夜など)

DAILYタイマーの設定内容は記憶されています。DAILYタイマーを解除しても簡単に再設定することができます。
再設定をするには、手順2でセットをくり返し押してください。⏲とDAILY表示が点灯します。

SLEEPタイマー(おやすみタイマー)

音楽や放送を聞きながら眠りたいときに使います。
電源を「切」にするまでの時間を設定し、おやすみください。設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になります。
- **SLEEPタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください(➡ 23 ページ参照)。**
- リモコンで操作します。

1 SLEEP/A.P.OFFを押す

表示窓に ⏲ とSLEEP表示が点滅し「SLEEP 10」と表示されます。
- ボタンを押すごとに、スリープ時間は次のように選べます。

10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → 消える(解除) → 10

- およそ5秒間ボタンを押さないでいると、自動的に設定されます。表示窓がソース(音源)の表示に戻り、⏲ とSLEEP表示が点灯になります。
- SLEEPタイマーを設定すると、オートディマー機能が働いて表示窓が暗くなります。

設定したスリープ時間を変更する

- SLEEPタイマー設定後にSLEEP/A.P.OFFを1回押すと、電源が「切」になるまでの残り時間が表示されます。
- 設定を変更するときは、SLEEP/A.P.OFFをくり返し押して希望のスリープ時間を選びます。

SLEEPタイマーを取り消す

- スリープ時間の表示が消えるまで、SLEEP/A.P.OFFをくり返し押します。SLEEPタイマーが解除されます。
- 電源を「切」にしたときも、SLEEPタイマーは解除されます。

SLEEPタイマーでおやすみになり、DAILYタイマーで目覚めるには

1. DAILYタイマーを設定する(➡ 80 ～ 81 ページ参照)
2. 聞きたいソースを演奏する
3. SLEEP/A.P.OFFを押してスリープ時間を設定する
   - 設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になり、DAILYタイマーの開始時刻で電源が「入」になります。

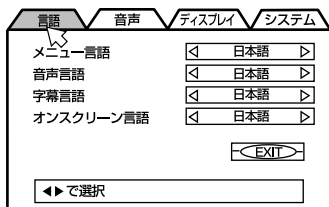
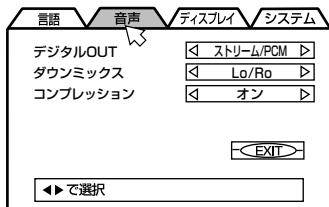
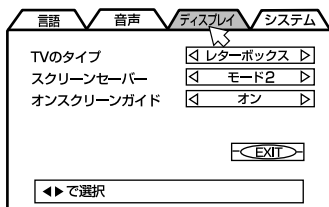
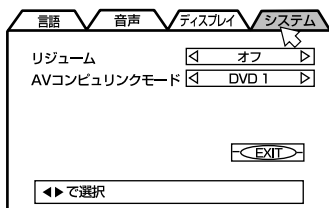
DVDの初期設定をする

初期設定とは、お買い上げ時にすでに設定されている各種設定のことです。
お使いの環境に合わせて設定を変更してください。

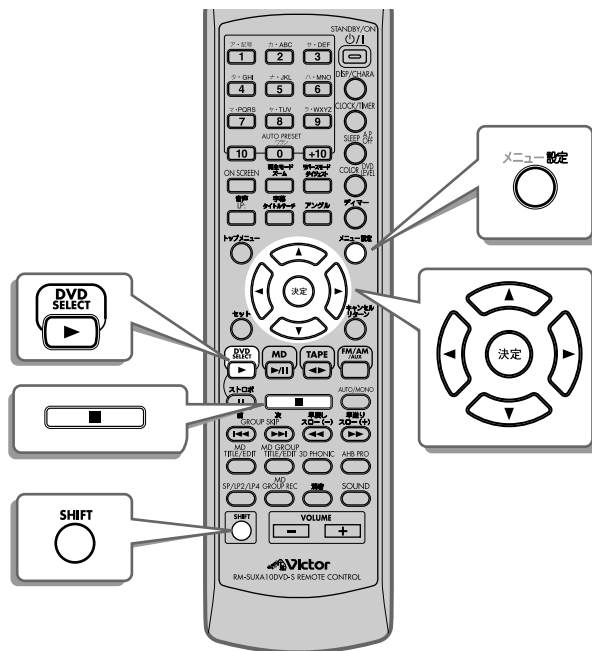
DVDビデオ で使える機能です。

初期設定画面について

初期設定画面には、言語設定画面、音声設定画面、ディスプレイ設定画面、システム設定画面の4つがあり、それぞれに設定項目があります。

言語設定画面

音声設定画面

ディスプレイ設定画面

システム設定画面

お知らせ

- オーディオCDまたはMP3ディスクが本機に入っているときは、初期設定画面が表示できません。
- DVDビデオのディスクを入れてから操作してください。

基本操作

1 **DVD SELECT ►を押してから■ を押す**

ソース（音源）をDVDにし、停止状態にします。

2 **SHIFTを押したまま メニュー/設定を押す**

言語設定画面が表示されます。

3 **カーソル► （または◄）を押して表示したい設定画面を選ぶ**

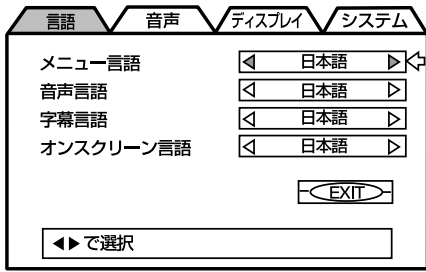
4 **カーソル▲（または▼）を押して設定したい項目を選ぶ**

選んだ項目の色が変わります。

5 **カーソル►（または◄）を押して設定を選ぶ**

6 **カーソル▲（または▼）を押して「EXIT」を選び、決定を押す**

設定が完了し、初期設定画面が消えます。

言語設定画面での設定

お知らせ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
- AA～ZUの言語コードは、下の〈言語コード一覧〉をご覧ください。

メニュー言語

DVD ビデオのメニュー画面に表示される言語を選びます。
お買い上げ時の設定：日本語

カーソル ▶（または ◀）を押すごとに、次のように変わります。

英語⟷スペイン語⟷フランス語⟷中国語⟷ドイツ語⟷イタリア語⟷日本語⟷AA から ZU までの言語コード⟷

音声言語

DVD ビデオの音声言語を選びます。
お買い上げ時の設定：日本語

カーソル ▶（または ◀）を押すごとに、次のように変わります。

英語⟷スペイン語⟷フランス語⟷中国語⟷ドイツ語⟷イタリア語⟷日本語⟷AA から ZU までの言語コード⟷

字幕言語

DVD ビデオの字幕言語を選びます。
お買い上げ時の設定：日本語

カーソル ▶（または ◀）を押すごとに、次のように変わります。

英語⟷スペイン語⟷フランス語⟷中国語⟷ドイツ語⟷イタリア語⟷日本語⟷AA から ZU までの言語コード⟷

オンスクリーン言語

テレビ画面に表示させる言語を選びます。
お買い上げ時の設定：日本語

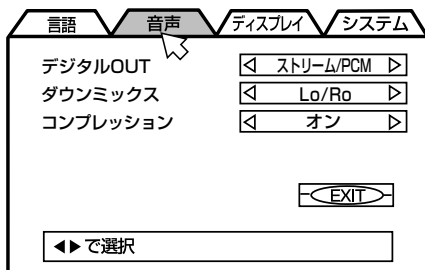
カーソル ▶（または ◀）を押すごとに、日本語と英語に切り換わります。

日本語　オンスクリーン言語 ◁ 日本語 ▷

英語　ON SCREEN LANGUAGE ◁ ENGLISH ▷

〈言語コード一覧〉

コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アファル語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SL	スロベニア語
AB	アブハジア語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SM	サモア 語
AF	アフリカーンス語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SN	ショナ語
AM	アムハラ語	GU	グジャラード語	MN	モンゴル語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	HI	ヒンディー語	MR	マラータ語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HR	クロアチア語	MS	マライ（マレー）語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	ST	セストゥ語
BA	バシキール語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	IA	国際語	NA	ナウル語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	IE	国際語	NE	ネパール語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IN	インドネシア語	NO	ノルウェー語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TG	タジク語
BO	チベット語	IW	ヘブライ語	OM	（アフォン）オロモ語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	JI	イディッシュ語	OR	オリヤー語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	JW	ジャワ語	PA	パンジャブ語	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	KA	グルジア語	PL	ポーランド語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	KK	カザフ語	PS	パシュトー語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	KL	グリーンランド語	PT	ポルトガル語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	KM	カンボジア 語	QU	ケチュア語	TR	トルコ語
DZ	ブータン語	KN	カンナダ語	RM	ラエティ - ロマン語	TS	ツォンガ語
EL	ギリシャ語	KO	韓国（朝鮮）語	RN	キルンディ語	TT	タタール語
EO	エスペラント語	KS	カシミール語	RO	ルーマニア語	TW	トウィ語
ET	エストニア語	KU	クルド語	RU	ロシア語	UK	ウクライナ語
EU	バスク語	KY	キルギス語	RW	キニヤルワンダ語	UR	ウルドゥー語
FA	ペルシャ語	LA	ラテン語	SA	サンスクリット語	UZ	ウズベク語
FI	フィンランド語	LN	リンガラ語	SD	シンド語	VI	ベトナム語
FJ	フィジー語	LO	ラオス語	SG	サンド語	VO	ヴォラピュク語
FO	フェロー語	LT	リトアニア語	SH	セルボアクロアチア語	WO	ウォロフ語
FY	フリジア語	LV	ラトビア語、レット語	SI	シンハラ語	XH	コーサ語
GA	アイルランド語	MG	マダガスカル語	SK	スロバキア語	YO	ヨルバ語
						ZU	ズール語

音声設定画面での設定

デジタルOUT

本機のDVDデジタル出力端子に接続する機器の種類によって、設定します。DVDデジタル出力端子に何も接続しないときは、設定する必要はありません。
設定項目と出力信号の関係は、下の表をご覧ください。
お買い上げ時の設定:ストリーム/PCM

カーソル▶(または◀)を押すごとに、次のように変わります。

PCMのみ⟷DOLBY DIGITAL/PCM⟷ストリーム/PCM⟷

- **PCMのみ:**
  リニアPCMのみ対応しているデジタル端子付きアンプやMDレコーダー、DATデッキなどと接続するとき、この設定にします。
- **DOLBY DIGITAL/PCM:**
  ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。
- **ストリーム/PCM:**
  DTSデコーダー、ドルビーデジタルデコーダー、MPEGデコーダーの機能を備えたアンプ、またはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。

お知らせ

- 本機のDVDデジタル出力端子が、DTSデコーダー搭載以外のアンプと接続されているときは、DTSのオーディオCDは再生しないでください。ノイズによりスピーカーを破損するおそれがあります。
- 96kHzのサンプリング周波数で収録された音声のデジタル出力はできません。

ダウンミックス

接続した機器に合わせて、DVDデジタル出力端子からの信号を切り換えます。「デジタルOUT」を「PCMのみ」にしているとき、設定します。
ドルビーデジタルで収録されているDVDビデオを再生しているとき、働く機能です。
お買い上げ時の設定:Lo/Ro

カーソル▶(または◀)を押すごとに、次のように変わります。

Lt/Rt⟷Lo/Ro

- **Lt/Rt:**
  DVDデジタル出力端子をドルビープロロジックデコーダー内蔵のアンプと接続しているとき、この設定にします。
- **Lo/Ro:**
  本機で音声を聞くとき、この設定にします。

お知らせ

- 3Dフォニックがオンのときは、ダウンミックスは働きません。
- DTSの音声はダウンミックスされません。

コンプレッション

ダイナミックレンジの設定を変えます。
お買い上げ時の設定:オン

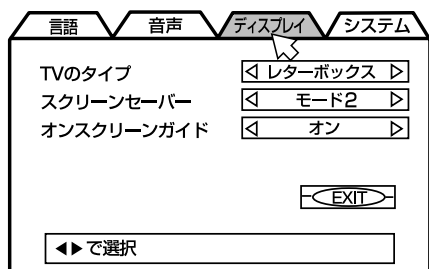
カーソル▶(または◀)を押すごとに、**オフ**と**オン**が切り換わります。

- **オフ:**
  DVDビデオに収録されている通りのダイナミックレンジで再生されます。
- **オン:**
  小音量で映画を楽しみたいときなど、この設定にします。ダイナミックレンジを抑えて聞きやすくなります。

お知らせ

- 3Dフォニックがオンのときは、コンプレッションは働きません。
- コンプレッション機能は、ドルビーデジタルで収録されているディスクに限り働きます。

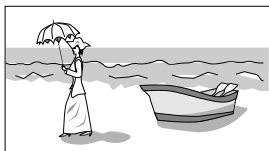
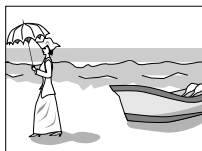
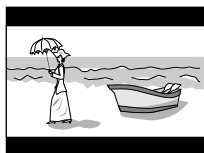
再生ディスク	「デジタルOUT」設定		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVDビデオ	48kHz、16/20/24ビットステレオのリニアPCM		
96kHzリニアPCMのDVDビデオ	出力しない		
DTSのDVDビデオ	DTSビットストリーム	出力しない	
ドルビーデジタルのDVDビデオ	ドルビーデジタルビットストリーム		48kHz、16ビットステレオのリニアPCM
オーディオCD/ビデオCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム		
MP3のCD-R/CD-RW	出力しない		

ディスプレイ設定画面での設定

TVのタイプ

お使いのテレビに合わせて設定します。
お買い上げ時の設定：レターボックス

カーソル ▶（または ◀）を押すごとに、次のように変わります。

ワイド（S1）⟷ パンスキャン ⟷ レターボックス ⟷

- **ワイド（S1）：**
  ワイドテレビ（縦横比16：9のテレビ）と接続しているとき、この設定にします。

- **パンスキャン：**
  通常のテレビ（縦横比4：3）に接続しているとき、この設定にします。
  左右両端が切り取られる状態で映ります。上下に黒い隙間は映りません。

- **レターボックス：**
  通常のテレビ（縦横比4：3）に接続しているとき、この設定にします。
  上下に黒い隙間がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。

お知らせ

- ディスクがパンスキャンに対応していないときは、パンスキャンに設定してもレターボックス表示になります。

スクリーンセーバー

テレビ画面の焼き付きを防ぐスクリーンセーバーを設定します。
お買い上げ時の設定：モード2

カーソル ▶（または ◀）を押すごとに、次のように変わります。

オフ ⟷ モード1 ⟷ モード2 ⟷

- **オフ**　　：スクリーンセーバーは機能しません。
- **モード1**：画像が暗くなります。
- **モード2**：スクリーンセーバー画面が表示され、明るさが変化します。

スクリーンセーバー画面

ご注意

- **スクリーンセーバーを「オフ」にしたときは、モニターの焼き付きには十分ご注意ください。**
- **オーディオCDのときは、スクリーンセーバーが機能しません。**

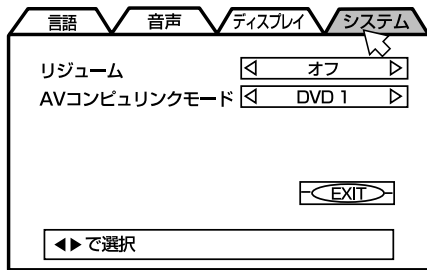
オンスクリーンガイド

DVDビデオを再生中、映像に重ねてマークや文字を表示させるオンスクリーンガイドのオン／オフを設定します。
お買い上げ時の設定：オン

カーソル ▶（または ◀）を押すごとに、**オフ**と**オン**が切り換わります。

- **オフ**：マークや文字は表示されません。
- **オン**：マークや文字が表示されます。

DVDの初期設定をする(つづき)

システム設定画面での設定

リジューム

リジューム機能（➡ 32 ページ参照）を使うか、使わないかを選びます。
お買い上げ時の設定：オフ

カーソル ▶（または ◀）を押すごとに、**オフ**と**オン**が切り換わります。

- **オフ**：リジューム機能は働きません。
- **オン**：リジューム機能が働きます。

AVコンピュリンクモード

ビクターのテレビなどと連動させるとき、接続した機器の入力端子に合わせて設定します（「AV コンピュリンクの活用」➡ 89 ページ参照）。
AV コンピュリンクコードをつながないときは、設定の必要はありません。
- 接続する他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

お買い上げ時の設定：DVD1

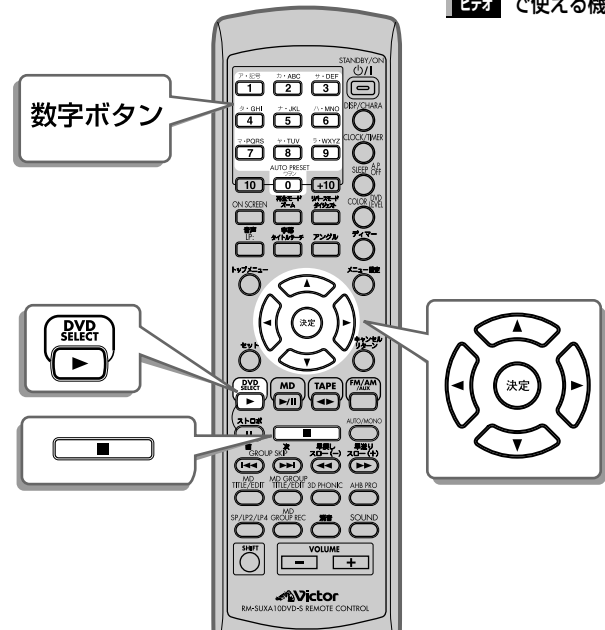
カーソル ▶（または ◀）を押すごとに、次のように変わります。

DVD1⟷DVD2⟷DVD3⟷

- **DVD1**：テレビのビデオ３入力に接続したとき、DVD1 に設定します。
- **DVD2**：テレビのビデオ１入力に接続したとき、DVD2 に設定します。
- **DVD3**：テレビのビデオ２入力に接続したとき、DVD3 に設定します。

視聴制限を設定する

過激なシーンを含むDVDビデオの映画ソフトを再生する場合など、ディスクが対応していると視聴制限［パレンタルロック］機能の設定に応じて過激シーンをカットしたり別のシーンに差し換えることができます。

DVDビデオ で使える機能です。

お知らせ

- 本機にDVDビデオ以外のディスクが入っていると、視聴制限の設定はできません。
DVD ビデオのディスクを入れてから操作してください。

1 DVD SELECT ▶を押してから■を押す

ソース（音源）をDVDにし、停止状態にします。

2 ■ を押したまま決定を押す

パレンタルロック画面が表示されます。

3 カーソル▲(または▼)を押して「カントリーコード」を選んでから、カーソル▶(または◀)を押してカントリーコードを選び、決定を押す

通常は「JP」（Japan：日本）を選びます。
- カントリーコード一覧は、88 ページをご覧ください。

4 カーソル▲(または▼)を押して「セットレベル」を選んでから、カーソル►(または◄)を押してレベルを選ぶ

「1」～「8」と「–」から選びます。「–」が視聴制限が全くしない設定です。

設定したレベル値以上の DVD ビデオが再生できなくなります。したがって、設定したレベル数値が小さいほど制限が厳しくなります。

5 決定を押す

6 数字ボタン(1～9、0)を使って任意のパスワード(4ケタの数字)を入力する

- パスワードを間違えたときは、決定を押す前に入力し直してください。

7 決定を押す

パスワードが設定され、「EXIT」が選ばれます。

8 決定を押す

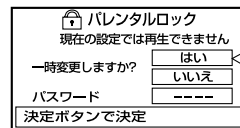
オープニング画面に戻ります。

設定を変更するには

一度設定した視聴制限の設定（カントリーコード、レベル、パスワードを変更することができます。
ソース（音源）が DVD で停止状態のとき操作します。

1. **■を押したまま決定を押す**
   パレンタルロック画面が表示されます。
2. **数字ボタンでパスワードを入力する**
   - パスワードを忘れたときは、「8888」を入力します。
   - パスワードの入力を3回間違えると、「EXIT」が強制的に選ばれ、カーソルを使った操作ができなくなります。決定を押してもう一度最初からやり直してください。
3. **カーソル▲（または▼）を押して変更したい設定項目を選ぶ**
   カーソル►（または◄）を使って「カントリーコード」または「セットレベル」を変更します。
4. **カーソル▲（または▼）を押して「パスワード」を選び、数字ボタンでパスワードを入力してから決定を押す**
   パスワードを変更しないときは、今までのパスワードを入力します。
   パスワードを変更するときは、新たなパスワードを入力します。
   - パスワードを入力して決定を押さないと、設定の変更は有効になりません。
5. **カーソル▲（または▼）を押して「EXIT」を選んでから決定押す**
   視聴制限の設定が変更され、オープニング画面に戻ります。

設定を一時的に変更するには

視聴制限の設定が厳しく設定されていると、再生しようとしても全く見ることができないことがあります。このようなときは、視聴制限を一時変更することができます。
DVD ビデオを入れるとパレンタルロック一時変更画面が表示されます。

パレンタルロック一時変更画面

設定を一時変更してディスクを再生するとき

1. **決定を押す**
2. **数字ボタンでパスワードを入力する**
   視聴制限の設定が一時変更され、ディスクが再生されます。
   - 間違ったパスワードを入力すると「違います。やり直してください。」を表示されます。
   - パスワードの入力を 3 回間違えると、「EXIT」が強制的に選ばれ、カーソルを使った操作ができなくなります。決定を押してディスクを取り出してからもう一度操作してください。

設定を一時変更しないとき

1. **カーソル▲（または▼）を押して「いいえ」を選び、決定を押す**
2. **ディスクを取り出す**

視聴制限を設定する(つづき)

カントリーコード一覧

Code	Country
AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d'Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People's Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People's Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

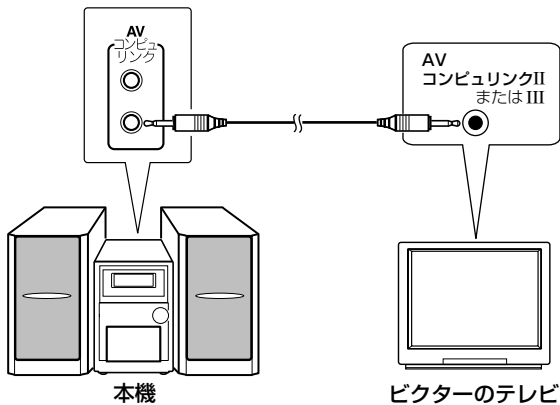
AVコンピュリンクの活用

テレビ、ビデオカセットレコーダー、DVD プレーヤー、レシーバーなどいくつかの機器をつないで、再生するための接続をしても、操作はそれぞれ別々に行わなければならないわずらわしさがあります。ビクター製の機器の操作に連動してほかのビクター製機器を動作させることによって、簡単な操作を実現したものが AV コンピュリンク機能です。

接続と設定をする

モノラルミニプラグ付きの接続コードを使用し、ビクター製の各機器のＡＶ コンピュリンク端子どうしを接続します。機器によっては、AV COMPU LINK 端子と英語で表記されていますが、同様の端子です。
この機能を使うときは、モノラルミニプラグ付きの接続コード:CN-120A をお買い求めのうえご使用ください。
- AV コンピュリンクモードの設定（DVD1 ～ DVD3 の切り換え）は、「システム設定画面」（➡ 86 ページ）で操作します。
- 接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

■ テレビとの AV コンピュリンク接続

- ビデオ３に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます。ただし、ビデオ３が DV ／ムービー入力のときは、この端子には AV コンピュリンクが働きません。

テレビの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
ビデオ１のとき	DVD２
ビデオ2のとき	DVD３

ご注意

- D1 映像出力をテレビにつなぐときは、DVD プレーヤーのAVコンピュリンクモードの設定を「DVD1」にしてください。

操作方法

本機を再生にするだけで音や映像を鑑賞することができます。テレビやレシーバーの入力を切り換えたり、あらかじめ電源を「入」にする操作は必要ありません。

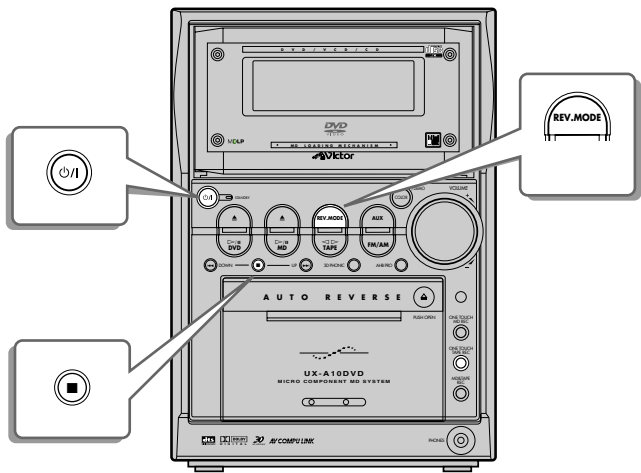
1. テレビの主電源スイッチを「入」にする

2. 本機にディスクを入れる

3. 本機の DVD ▷/II ボタンを押す

次の動作が自動的に行われます。
- テレビの電源が「入」になります。
- テレビの入力切換が本機を接続している外部入力（ビデオ 1、ビデオ 2、またはビデオ 3）になります。
  なお、本機の電源を「切」にしてもテレビの電源は「切」にはなりません。

チャイルドロック機能

MD挿入口とディスクトレイを電子ロックして⏏を押してもMDが出てこないようにしたり、ディスクトレイが開かないようにします。
小さなお子様のいたずら防止などに便利です。

1 電源を「切」にする

電源が「入」のときは ⏻/I を押します。

2 ■を押したままREV. MODEを押す

「LOCKED」と表示され、MD挿入口とCDトレイがロックされます。

LOCKED

- チャイルドロックすると、どの⏏を押しても「LOCKED」と表示され、MDが出てこなくなったりCDトレイが開かなくなります。
- 電源「切」のときに⏏を押すと「LOCKED」と表示されます。電源は「切」のままです。

チャイルドロックを解除する

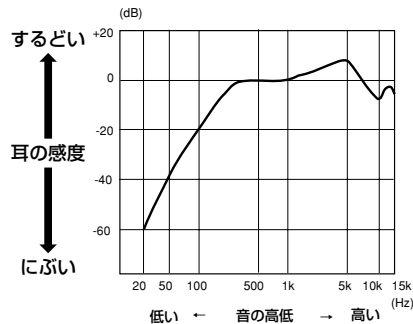
もう一度、手順1と2の操作をします。
「UNLOCKED」と表示され、チャイルドロックが解除されます。

UNLOCKED

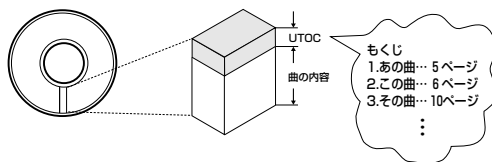
MDの技術解説

ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

（アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング）

MD(ミニディスク)は、従来のCD の約半分のサイズですがCDと同等の時間記録することができます。それは、新しく開発された「音声圧縮技術 (ATRAC)」により可能になりました。「音声圧縮技術 (ATRAC)」では、聴感上聞こえない音の成分をカットすることでデータを小さく圧縮しています。この技術により、記録するデータを元のデータの約 1/5 の量にすることができ、長時間のステレオ録音/再生を可能にしました。さらにATRAC3の場合、LP2で元のデータの約1/10、LP4で約1/20に圧縮しステレオ長時間録音を可能にしています。

UTOC (User Table Of Contents)

（ユーザー テーブル オブ コンテンツ）

録音用MD(ミニディスク)には、曲の内容とは別に、「目次(UTOC)」データが収録されています。これには各曲が記録されている位置、曲の区切り、曲順などが記録されていて、この目次を見ることで、頭出しなどが素早くできます。
また、編集のときは、この「目次(UTOC)」を変更するだけで、曲の内容を録音し直す必要がありません。

MD/ディスクのメッセージ

MDのメッセージ	意　味	処　置
BLANK DISC	何も録音されていないMDが入っている。	新しく録音するとき以外は、録音済みのMDに取り換えてください。
CANNOT ENTRY!	曲を同じグループに登録しようとした。	正しい曲を選んでください(➡ 70 ページ参照)。
CANNOT FORM!	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないよう曲を選んでください(➡ 69 ページ参照)。
CANNOT GROUP!	グループに関する情報量の制限を超えている。(グループに関する情報は、タイトルの領域に記録されます)	それ以上のグループは作れません。(不要なディスク名や曲名は消してください)
CANNOT JOIN	録音モードが異なる曲、または8秒以下の短い曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。
CANNOT TITLE	MDに合計1792文字を超えて入力しようとした。	それ以上のタイトルは入力できません。
READ ERROR	UTOC情報が読み取れない。	電源を入れ直してください。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が254を超える。	他の録音用MDに取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態のまま編集または録音をしようとした。	MDの誤消去防止つまみを閉じてください(➡ 93 ページ参照)。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■ を押していったん停止してから、**MD ⏏**(MD取り出し)を押してMDを取り出し、もう一度操作しなおしてください。
GROUP FULL	100以上のグループを作ろうとした。	グループは99まで作ることができます。
GROUP TRACK	グループ登録されている曲を選んで新しいグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでください(➡ 69 ページ参照)。
LOAD ERROR	MDの入れ方がおかしい。	MDを正しく入れてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
NON-AUDIO CANNOT COPY	DVD-ROMやCD-ROM(ビデオ CD など)をデジタル録音しようとした。	録音を中止してください。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音·編集しようとした。	録音用MDに取り換えてください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW(デジタルオーディオ)のコピーを作ろうとした。	メッセージ表示後、自動でアナログ録音になります。
TRACK PROTECTED	トラックプロテクトがかかっている。	本機では解除できません。プロテクトをかけたときの機器で解除してください。

ディスクのメッセージ	意　味	処　置
ERROR	再生できないディスクまたは傷の多いディスクを再生しようとした。	ディスクを交換してください。
PAL DISC	映像方式がPALのDVDディスクを再生しようとした。	PAL方式のDVDディスクは、本機では再生できません。

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープや DAT とは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

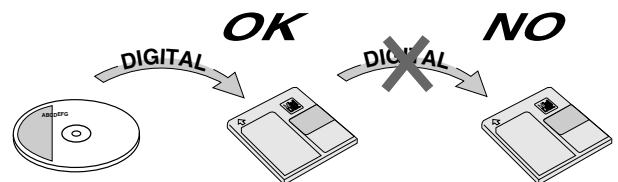
<table>
<tr><th>症　状</th><th>原　因</th></tr>
<tr><td>MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。</td><td>MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。
（録音可能な最大トラック数は254曲まで）</td></tr>
<tr><td>曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。</td><td rowspan="4">部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、１曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。
分けられて8秒以下(SP：標準モード時)の部分ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。
また、その部分は消しても残り時間は増えません。
細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。
また、MDLP規格による録音モードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。</td></tr>
<tr><td>「JOIN」機能が使えない。</td></tr>
<tr><td>曲を消しても残り時間が増えない。</td></tr>
<tr><td>早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。</td></tr>
<tr><td>録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。</td><td>MDは、最低でも12秒間(SP：標準モード時)の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。</td></tr>
</table>

MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル･コピー･マネージメント･システム)といいます。
本機は、この決まりに準拠して設計されています。

SCMS (Serial Copy Management System)

シリアル･コピー･マネージメント･システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

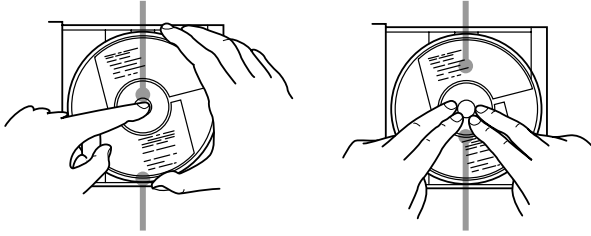
私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03−5353−0336（代）

ご注意
この規定により、一度デジタル録音されたMDからは、他の機器へデジタル録音することはできません。

ディスク、MD、テープの取り扱いについて

ディスクの取り扱いかた

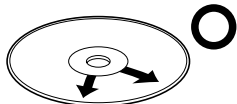
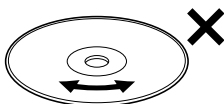
• ケースからの出し入れ

① センターホルダーを押さえ
② 演奏面(虹色に光っている面)に触れないように持って出す。

① 文字のある面を上にして…
② 上から押さえて入れる。

• ディスクにテープやシールなどを張ったり、字を書いたりしないでください。
• ディスクは曲げないでください。

• ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

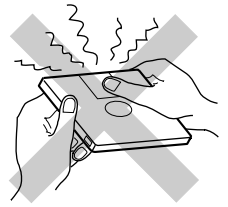
ディスクのお手入れ

再生する前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

• シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

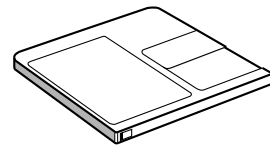
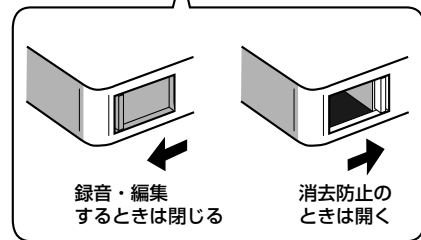
MD の取り扱いかた

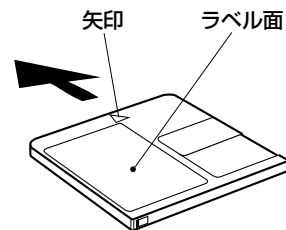
シャッターは開けないで

シャッターは開かないようにロックされています。
無理に開けようとするとディスクがこわれます。

定期的にお手入れを

MDにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

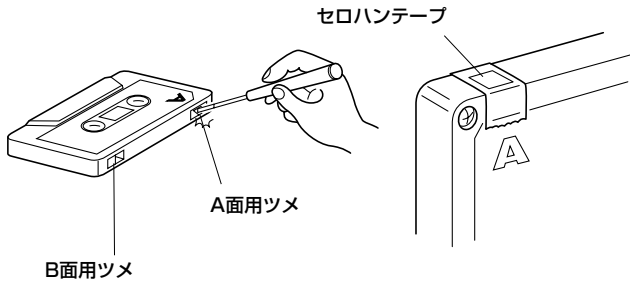
大切な録音を消さないために

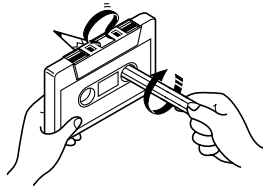
録音用 MD には、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

お知らせ

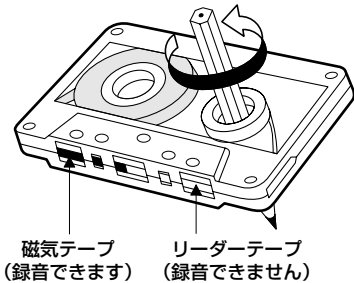
• 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
• MDは ⇨ や ▻ などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

CD、MD、テープの取り扱いについて（つづき）

大切な録音を消さないために

カセットテープには誤消去防止用のツメ(タブ)がついています。

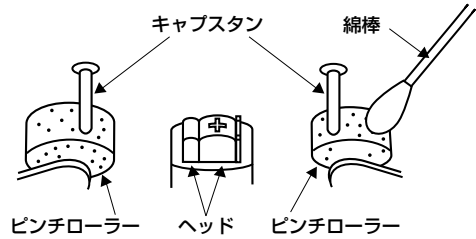
- ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。
- 再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。

カセットテープの取り扱いかた

- テープに**たるみ**がありますと、機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにして**たるみ**を取り除いてください。また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。
- **C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。**
  長時間録音や再生ができて便利ですが、テープが薄く伸びやすいため機器内部に巻き込まれる原因となります。

お知らせ

リーダーテープについて
テープの始まりと終わりには、録音できない部分(リーダーテープ)があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきましょう。

ご注意

- ハイポジション（TYPE II）やメタルテープ（TYPE IV）に対応しておりませんので、使用しないでください。
  再生しても正しい音質にはなりません。

テープデッキのヘッド部の清掃

- **ヘッド部の清掃**
  音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃します。

市販のクリーニングキット(綿棒とクリーニング液)を使うと便利です。

- **ヘッドの消磁**
  ヘッドが磁気を帯びると、高音が聞こえにくくなったり雑音が多くなります。このようなときは、市販のヘッド消磁器で消磁してください。

本体表面のお手入れ

- キャビネット表面の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンでふかないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

Q & A(よくあるご質問)

Q (ご質問)	A (回答)

ディスクについて

海外で購入したDVD ビデオやビデオCDのディスクを再生することができますか?	DVDビデオの場合は、リージョン番号(ローカル番号)が「ALL」、または「2」を含んでいて、映像方式がNTSCであれば再生できます。 ビデオCDの場合は、映像方式がNTSCまたはPAL であれば再生できます。 ディスクのジャケットをご確認ください。
リージョン番号(ローカル番号)がないDVD ビデオを再生することができますか?	リージョン番号(ローカル番号)はディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていないDVDビデオは再生できません。

音声について

Dolby Digital EXと印刷されたディスクは再生できますか?	ドルビーデジタルと再生互換があるため、再生できます。 ただし、本来の効果を得たい場合は、対応のサラウンドデコーダー/デコーダー内蔵のアンプやレシーバーに、本機のデジタル音声出力端子を用いてつなぐ必要があります。その際、本機の音声設定画面の中の[デジタルOUT]設定を「ストリーム/PCM」に設定してください。
DTS ESと印刷されたディスクは再生できますか?	本機ではお楽しみ頂けませんが、DTS ES対応のサラウンドデコーダー/デコーダー内蔵のアンプやレシーバーに、本機のDVDデジタル出力端子を用いてつなげばお楽しみいただけます。その際、本機の音声設定画面の中の[デジタルOUT]設定を「ストリーム/PCM」に設定してください。
THXと印刷されているディスクは、どういうディスクですか?本機で再生できますか?	再生できます。 「THX」は、米国ルーカスフィルム社が設けた、高品位な映像·音声収録、または再生における独自の部門及び基準の名称で、その基準に適合したディスクや機器を表すものであり、収録フォーマット自体をさすものではありません。
MP3とオーディオCDの両方のフォーマットが一枚のディスクに録音されているときは、両方とも再生できますか?	そのような場合は、データCDフォーマットで収録されているため、オーディオCDのトラックは再生できません。MP3のトラックのみ再生できます。
ドルビーデジタルのディスクには、5.1chサラウンドとドルビーサラウンドという2種類のサラウンド音声が収録されていることがありますが、どう違いますか?	いずれもアメリカ·ドルビー研究所が開発したサラウンド音声の規格です。 ドルビーサラウンドは、サラウンド成分(2ch)を、通常のアナログステレオ音声(左/右)に重ねて記録し、ドルビーサラウンド、およびドルピープロロジックデコーダーによって音声を分離·再生します。 ドルビーデジタルは、最大でフロント左、フロント右、センター、リア左、リア右、LFE(Low Frequency Effect:サブウーハーなどの低音信号用)の計6ch分の音声をデジタル化、圧縮した上で独立して記録し、ドルビーデジタルデコーダーによって再生します。 収録状況にもよりますが、一般的にはドルビーデジタルのほうがより優れた音場効果が得られます。

映像について

DVD ビデオやビデオ CD の映像に、細かいモザイクのようなものが出るのですが、これは故障ですか?	デジタル収録された動画特有のもの (ブロックノイズ) であり、本機の故障ではありません。

その他

本取扱説明書の操作通りに機能しません。	コンテンツ作成者の意図や構造上の制約等により、本機の操作を受け付けない場合があります。
DVDビデオの映像をビデオテープに録画することはできますか?	ほとんどのDVDビデオ はコピー禁止処理がされてるので、ビデオテープへの録画はできません。
本機で録画はできますか?	録画はできません。

故障かな？と思う前に

修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
映像/音が出ない。	接続をまちがえている。	「準備と接続」のページをご覧になり、正しく接続する。	17～20
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。	—
時刻表示が点滅している。	停電または、電源コードを抜いていたため。	時計を合わせ直す。	23
ディスク/MDの演奏が始まらない。	ディスク/MDが裏返しに入っている。	文字のある面が上になるように正しく入れる。	28 50
	レンズが結露している。	電源を「入」にしたまま1～2時間待ち、乾いてから使う。	8
特定の箇所が正常に演奏できない。	ディスクに傷や汚れがある。 MDにエラーが発生した。	ディスク/MDをクリーニングするか、または交換する。 MDを録音し直す。	93
入れたMDが出てきてしまう。	MDの入れ方が不完全なため。 すでにMDが入っている。	本体に水平な状態にして、軽くMDを押して入れ直す。 MDを取り出してから操作する。	50
MD/テープの録音ができない。	誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。 テープの誤消去防止用ツメをセロハンテープなどでふさぐ。	93 94
テープの再生音が小さい。	ヘッドやキャプスタンが汚れている。	ヘッドやキャプスタンを清掃する。	94
雑音が多くて、放送がうまく受信できない。	アンテナの接続・設置が悪い。	アンテナの接続・設置をし直す。	16
ブーンという雑音がでる。	テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離す。	8
タイマーがうまく働かない。	現在時刻が正しく合っていない。	正しい時刻に設定し直す。	23
	タイマーが解除されている。	タイマー表示 ⏻ を確認して、設定し直す。	78～81
リモコンが操作できない。	リモコンの電池が消耗している。	新しい乾電池(単3形)と交換する。	11
電源を入れてもすぐに切れてしまう。	スピーカーコード(端子)がショートしてアンプに負担がかかりすぎている。	スピーカーコード(端子)がショートしていないか確認する。 それでも正しく動作しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

- 上記の処置をしても正しく動作しないときは
  本機はマイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

お願い

- 本機の故障または不測の事態により、録音･再生およびディスク/MDの再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管しておいてください。

保　証　期　間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

マイクロコンポーネントMDシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または98ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

96ページの**「故障かな?と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合が発生したディスクなどのメディアも、一緒にご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	マイクロコンポーネントMDシステム
型　　名	UX-A10DVD-M
お買い上げ	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　－

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ビクターサービス窓口案内 (ビクターサービスエンジニアリング株式会社)

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
	北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0155)24-0797	080-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
	東北			
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)673-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
	関東・甲信越			
新潟	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越 S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋 S.C	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	宇都宮 S.C	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦 S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸 S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	東海・北陸			
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31
	沼津 S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂曙3-10-12
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
	近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
	中国			
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター（松江・米子担当）	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
	四国			
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	九州・沖縄			
福岡	福岡 S.C.	(092)-431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S	(0942)-39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097)543-1422	870-0882	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S	(0982)35-7707	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 0902

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様 —本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。—

■ MD/DVDレシーバー （CA-UXA10DVD-M）

アンプ部

実用最大出力	37 W+37 W (JEITA/ 6 Ω)
入力端子	＜アナログ＞
	AUX×1系統、
	500 mV/47 kΩ：LEVEL1
	200 mV/47 kΩ：LEVEL2
	＜デジタル＞
	デジタル光入力×1、
	−23dBm〜−15dBm
	（光角型ジャック）
	（サンプリング周波数32kHz/44.1kHz/48kHzに対応）
出力端子	＜アナログ＞
	スピーカー×1系統、37 W/6 Ω
	適合インピーダンス 6 Ω〜16 Ω
	ヘッドホン(×1)、15 mW/32 Ω
	適合インピーダンス 16 Ω〜1 kΩ
	＜デジタル＞
	DVDデジタル光出力×1
	−23dBm〜−15dBm
	（光角型ジャック）
	＜その他＞
	AVコンピュリンク×2（φ3.5）
ビデオ出力部	映像出力×1
	1.0 V(p-p)/75 Ω、同期負
	S1映像出力×1
	Y出力：1.0 V(p-p)/75 Ω、同期負
	C出力：0.286 V(p-p)/75 Ω
	D1映像出力×1
	Y出力：1.0 V(p-p)/75 Ω
	CB/CR出力：0.7 V(p-p)/75 Ω
映像信号方式	JEITA標準、NTSCカラーテレビジョン方式

チューナー部

受信周波数	FM：76.0〜108.0 MHz
	AM：531〜1,629 kHz
アンテナ	FM：75 Ω不平衡型
	AM：ループアンテナ

タイマー部

タイマー形式	1日2動作 (DAILY、REC)
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120分 (オートディマー)
時刻表示	24時間表示

DVDプレーヤー部

再生可能ディスク	DVDビデオ、オーディオCD、ビデオCD CD-R/CD-RW（オーディオCD、ビデオCD、MP3フォーマット）
周波数特性	20 Hz〜20 kHz ±1dB（JEITA）

MDレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生時間	録音モードＳＰ　：80分
(MD80使用)	録音モードＬＰ2　：160分
	録音モードＬＰ4　：320分
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3(MDLP)方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20 Hz〜20 kHz ±1dB（JEITA）

カセットデッキ部

形式	コンパクトカセットステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	交流消去
ヘッド	消去（2ギャップフェライト）} コンビネーション×1
	録音･再生（ハードパーマロイ）}
早巻き時間	約145秒（C-60）
周波数範囲	60 Hz〜14 kHz (ノーマルテープ)

共通部

電源電圧	AC 100 V(50 Hz/60 Hz共用)
消費電力	電源「入」時 95 W
	電源「待機」時11 W(表示窓「点灯」)
	電源「待機」時 1.0 W(表示窓「消灯」)
最大外形寸法	幅185mm × 高さ265 mm × 奥行316 mm
質量	約 6.9 kg

■ スピーカー：1本当たり （SP-UXA10DVD-M）

形式	2ウェイバスレフ型、防磁形
使用スピーカー	低音用　：　11 cm 丸形 ×2
	中高音用 ：　4 cm 丸形 ×1
定格インピーダンス	6 Ω
再生周波数帯域	45 Hz〜20 kHz
出力音圧レベル	87.5 dB/W・m
最大外形寸法	幅 175 mm × 高さ 324 mm × 奥行 221.5 mm
質量	約 4 kg（1本）

■ マイクロコンポーネントMDシステム （UX-A10DVD-M）

総　合

最大外形寸法	幅 535mm × 高さ 324 mm × 奥行316mm
質量	約 14.9 kg

- JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

付属品（➡ 8 ページ参照）

- AMループアンテナ 1
- FM簡易型アンテナ 1
- リモコン（RM-SUXA10DVD-S） 1
- 単3形乾電池（リモコン動作確認用） 2
- ビデオコード 1
- スピーカーコード 2

用語集

英字・数字

ch (チャンネル)
出力される音声の位置や種類を表します。
ドルビーデジタル5．1ｃｈの場合を例にとると、フロント(Ｌ(左)/Ｒ(右))、リア(L/R)、センター及びサブウーハーの6つありますが、サブウーハーは出力される音声全体に占める低音の割合から、1ｃｈと数えず0.1chで数えられます。

DTS (Digital Theater System)
サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じ最大5.1ch です。音声圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのあるノイズの少ない再生が可能です。

D端子
映像信号（Y、C_B、C_R）と、映像信号のフォーマットを識別する制御信号を一つのコネクタで接続できる端子です。
映像フォーマットの対応度に応じていくつかの規格があり、本機はD1 端子を備え、D1～D4 端子付きのデジタルテレビに接続することができます。

MPEG (Moving Picture Experts Group)
動画情報圧縮フォーマットの一つで、音声信号も含まれます。いくつかの規格があり、ビデオCDではMPEG-1、DVDビデオではMPEG-2が用いられています。

MP3(MPEG-1 Audio Layer-3)
音声情報圧縮の国際規格で、音声データを元の音質を大きく損なうことなく、約1/10に圧縮することができるフォーマットです。このMP3フォーマットで記録したCD-R/CD-RW ディスクを、本取扱説明書では「MP3 ディスク」と呼んでいます。

NTSC
日本やアメリカで採用されているテレビ／ビデオ方式です。ヨーロッパなどでは別の方式（PAL あるいはSECAM ）を採用しています。フレーム数や走査線数が異なるため、方式間の互換性はありません。

S映像信号
映像信号形式の一つで、信号を明るさの要素（輝度:Y）と色(C)の要素に分けて伝送するため、鮮明で色のにじみが少ない映像が楽しめます。これに、テレビ側でフルモード(縦長の映像) を自動判別信号を加えたのがS1映像信号です。

3Dフォニック
従来のステレオ2 スピーカー（前面の2 スピーカー）のみで、迫力あるデジタル立体音場の"ドルビーデジタル"を再生する当社独自の技術です。当社の立体音像定位技術「3D-PHONIC」を応用することにより、前面のステレオ2 スピーカーのみでリスナーを自然に取り巻くような立体のサラウンド音場効果をつくりだし、リアスピーカー、センタースピーカーやアンプの追加、配置、配線、調整が不要なシンプルな構成で"ドルビーデジタル"サラウンドを再生します。

あ

アスペクト比
表示される映像の縦横比のことです。通常のテレビの横：縦の比は4：3、ワイドテレビ、およびHDテレビの横：縦の比は16：9の比率をもっています。

エンコード
アナログ音声信号を圧縮デジタル音声信号に変換すること。一般的には、信号をある規則に合わせて変換する過程や操作をさします。

か

カーソル
一般的には数字などの挿入ポイントのことをいいます。

コンポジット映像信号
映像信号形式の一つで、従来から使われています。信号の明るさの要素（輝度）と色の要素を周波数多重技術で複合し、これに色の基準となるバースト信号、同期信号を加えたものを一つの信号線で伝送します。

コンポーネント映像信号
ビデオ信号方式の一つで、光の3 原色の信号（G/B/R）や、それを規準により効率よく返還された映像信号（色差信号:Y/C_B/C_R）をさします。各々別々の信号線で伝送するため、高画質で伝送することができます。

さ

サラウンド
視聴者の周囲にスピーカーを複数配置し、臨場感あふれる立体音場を作りだすシステムをいいます。

サンプリング周波数
アナログ音声をデジタル信号に変換する場合、もとになるアナログ信号を、1秒間に何回という割合で細かく区切ります。この過程を「サンプリング」といい、サンプリングに使われる周波数をさします。

た

タイトル
ＤＶＤ ビデオの構成単位で、カテゴリやジャンル別での大きなくくりを指します。一般にDVD ビデオは、いくつかの「タイトル」に区切られています。

ダイナミックレンジ
音声レベルの1番大きい部分と1番小さいレベルの差をいいます。

ダウンミックス
サラウンド方式（3 チャンネル以上）で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ2 チャンネル音声にミックスして再生する機能をいいます。

チャプター
DVD ビデオの各タイトル内を、個別のシーンなどの小さなくくり（チャプター）で区切った単位です。

デコード
圧縮されたデジタル音声信号を、アナログ音声信号に戻すこと。一般的には、ある規則に合わせて変換された信号を、もとの信号に戻す過程や操作をさします。

転送レート
1 秒間に送りだすデジタルデータのデータ量のこと。DVDビデオでは可変転送レート方式を採用し、信号を効率よく記録しています。

トラック
CDやMP3ディスクの記録単位で、主に一つの楽曲をさします。

ドルビーサラウンド／ドルビープロロジック
サラウンド方式の一つ。ドルビーサラウンドはフロント･リア計4ch分の音声信号を、いったん2chで記録し、専用のデコーダーを通し再生時にはもとの4chに戻します。2ch記録のためステレオ機器につないでも違和感のない再生が可能な方式です。
これにデコーダー側の処理で方向性強調回路（音の出ていないチャンネルのレベルを下げたり，逆に特定チャンネルの音量レベルを上げる）を取り入れて立体感を強調し、さらにセリフを中心に再生するセンタースピーカーを加え，その結果各チャンネルの分離精度（＝セパレーション）を向上させたのがドルビープロロジックです。

ドルビーデジタル
サラウンド方式の一つ。最大フロント3ch、リア2ch、およびサブウーハー0.1ch の5.1chまで対応しています。

は

パレンタルロック
年齢の若い視聴者に対して好ましくない内容を含んだＤＶＤビデオの場合、あらかじめソフトに視聴可能なレベルが設定されています。このレベルに応じてプレーヤー側のレベルを設定し、見せたくないシーンなどを再生できなくしたり、別のシーンに変えたりすることができるようにする機能のことをいいます。

パンスキャン
映画などの横長の画像をアスペクト比4：3のテレビに映し出す方法の一つ。横長画面の左右両端が切りとられた状態で映ります。

ビットストリーム
ドルビーデジタルなどのように、圧縮されたデジタル音声信号のこと。一般的には各種エンコード作業によって作成されたデジタルデータをさします。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号。PBC 対応ビデオCD に記録されているメニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。

メニュー
DVD ビデオに複数記録されたタイトルの映像や音声、字幕、マルチアングル等を選ぶために用意された画面をいいます。

リニアPCM 音声
アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全くしない方式。

リジューム再生
一度再生を中断したあと、中断した場所から再び再生を開始することをいいます。

リージョン番号(再生可能地域管理)
あらかじめ設定された地域(リージョン)についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。世界各国を6つの地域に分け、これに番号（リージョン番号）をつけ識別します。ディスクに設定されたリージョン番号と、DVDプレーヤーのリージョン番号が合わない場合、再生することはできません。

レターボックス
映画などの横長の画像、アスペクト比 4：3 のテレビに欠けることなく映し出す方法。画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長画像を映し出します。画面が文字通りレターボックス（郵便受け）に似ていることから名付けられています。

用語索引

ボタンについては、12～15ページの「各部の名前と働き」をご覧ください。

英字・数字

ア

カ

サ

タ

別売りのオプション品

- オーディオコード : CN-510E
- 光デジタルケーブル : XN-110SA
- S ビデオコード : VC-S110E
- コンポーネントビデオコード : VX-DS110（D プラグ～ D プラグ）
VX-DS210（D プラグ～ピンプラグ× 3）
- CD レンズクリーナー : CL-CDL
- MD レンズクリーナー : CL-ML
- カセットデッキ用ヘッドクリーナー : CK-6
- 変換器 : VZ-71A（75 Ω /300 Ω）
- レコードプレーヤー : AL-E350
- フォノイコライザー : AC-S100J
- FM フィーダーアンテナ : CN-511A（300 Ω）

別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
98 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	東京 ☎ (03) 5684-9311 FAX(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪 ☎ (06) 6765-4161 FAX(06) 6765-4891 〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

パーソナル＆モビールネットワークビジネスユニット
〒371-8543　前橋市大渡町一丁目10番地の1　☎（027）254-8952

0902TNMNATJEM